

# 武蔵野市生涯学習市民意識調査

～市民の学びに関するアンケート調査～

## 報 告 書

平成21年 3 月

武蔵野市教育委員会



# 目 次

<b>I 調査の概要</b>	3
1 調査の目的	3
2 調査の対象	3
3 調査の方法	3
4 調査の期間	3
5 回収結果	3
6 調査項目	4
(1) 一般の調査項目	4
(2) 団体の調査項目	5
7 報告書の見方など	6
<b>II 一般の調査結果</b>	9
1 回答者の属性	9
(1) 年齢	9
(2) 性別	10
(3) 地区	11
(4) 居住年数	12
(5) 通勤・通学先	13
2 現状	14
(1) 「生涯学習」の認知度	14
(2) 「生涯学習」のイメージ	15
(3) 活動をおこなっている生涯学習	17
(4) 生涯学習をおこなっていない理由	18
(5) 生涯学習をおこなっている頻度・主な活動場所	20
(6) 生涯学習をおこなうきっかけ	23
(7) 生涯学習をおこなっている理由・目的	24
(8) 生涯学習をおこなううえで困っていること	25
(9) 市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの	26
3 今後のニーズなど	27
(1) 生涯学習をする場合に興味があること	27
(2) 生涯学習をおこなう理由・目的	29
(3) 生涯学習をおこなう場合に利用したい機会	30
(4) 生涯学習をおこなうために必要な情報	32
(5) 生涯学習に関する情報の入手方法	34
(6) 生涯学習で身につけたことの活かし方	36
(7) 市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること	37
(8) 市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること	38

4	子どもにとっての生涯学習	39
	(1) 年齢と性別	39
	(2) 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会	41
5	市に望む取組	43
	(1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組	43
<b>Ⅲ</b>	<b>団体の調査結果</b>	<b>49</b>
1	団体の属性	49
	(1) 活動年数	49
	(2) 会員の多い年代	50
	(3) 会員数	51
	(4) 活動テーマ	52
2	現状	53
	(1) 団体ができたきっかけ	53
	(2) 活動形態や活動方法	54
	(3) 活動の頻度・時間帯・場所	55
	(4) 生涯学習をしている一番の目的	61
	(5) 活動成果などの活かし方	62
	(6) 活動をおこなううえで困っていること	63
3	今後のニーズなど	65
	(1) 今後の生涯学習に関する活動(会員数・活動の内容・活動の地域)	65
	(2) 地域の他の団体や個人との交流	68
	(3) 地域の団体等と協力(協働)しながら、してみたい生涯学習に関する活動	69
	(4) 市と協力(協働)しながら、してみたい生涯学習に関する活動	70
	(5) 生涯学習を進めていくために必要な情報	71
	(6) 生涯学習に関する情報の入手方法	72
	(7) 市の支援で、知っているもの、または利用したことがあるもの	73
4	市に望む取組	74
	(1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組	74
<b>Ⅳ</b>	<b>自由意見</b>	<b>79</b>
1	「武蔵野らしさ」のイメージ	79
2	武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望	85
<b>Ⅴ</b>	<b>調査票</b>	<b>93</b>
1	一般の調査票	93
2	団体の調査票	100

# I 調査の概要



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

市民の生涯にわたっての学びを一層促進するために、日頃の取組や生涯をつうじて学びたいこと、持続した学びのために必要だと思われることなどについて、生涯学習の実態や今後のニーズを把握するとともに、平成21年度に予定している「生涯学習計画（仮称）」の策定に向けた基礎資料として活用することを目的として調査を実施した。

## 2 調査の対象

- (1) 一般：市内在住の16歳以上の男女2,000人（無作為抽出）
- (2) 団体：武蔵野市に登録している社会教育関係団体200団体（無作為抽出）

## 3 調査の方法

一般、団体とも郵送による配布および回収

## 4 調査の期間

- (1) 一般：平成20年11月26日（水）～12月10日（水）
- (2) 団体：平成21年 1月15日（木）～ 1月27日（火）

## 5 回収結果

	配布数	回収数（有効回答数）	回収率
一般	2,000票	682票	34.1%
団体	200票	154票	77.0%

## 6 調査項目

アンケート調査票の項目は、以下のとおりである。

### (1) 一般の調査項目

大項目	小項目	設問
◆ 回答者の属性	年齢	F1
	性別	F2
	地区	F3
	居住年数	F4
	通勤・通学先	F5
◆ 現状	「生涯学習」の認知度	問1
	「生涯学習」のイメージ	問2
	活動をおこなっている生涯学習	問3
	生涯学習をおこなっていない理由	問4
	生涯学習をおこなっている頻度・主な活動場所	問5
	生涯学習をおこなうきっかけ	問6
	生涯学習をおこなっている理由・目的	問7
	生涯学習をおこなううえで困っていること	問8
	市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの	問9
◆ 今後のニーズなど	生涯学習をする場合に興味があること	問10
	生涯学習をおこなう理由・目的	問11
	生涯学習をおこなう場合に利用したい機会	問12
	生涯学習をおこなうために必要な情報	問13
	生涯学習に関する情報の入手方法	問14
	生涯学習で身につけたことの活かし方	問15
	市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること	問16
	市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること	問17
	「武蔵野らしさ」のイメージ [自由記述]	問18
◆ 子どもにとっての生涯学習	年齢と性別	問19
	子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会	問20
◆ 市に望む取組	生涯学習を活発にするために市に望む取組	問21
◆ その他	武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望 [自由記述]	問22



(2) 団体の調査項目

大項目	小項目	設問
◆ 団体の属性	活動年数	F1
	会員の多い年代	F2
	会員数	F3
	活動テーマ	F4
◆ 現状	団体ができたきっかけ	問1
	活動形態や活動方法	問2
	活動の頻度・時間帯・場所	問3
	生涯学習をしている一番の目的	問4
	活動成果などの活かし方	問5
	活動をおこなううえで困っていること	問6
◆ 今後のニーズなど	今後の生涯学習に関する活動（会員数・活動の内容・活動の地域）	問7
	地域の他の団体や個人との交流	問8
	地域の団体等と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動	問9
	市と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動	問10
	「武蔵野らしさ」のイメージ [自由記述]	問11
	生涯学習を進めていくために必要な情報	問12
	生涯学習に関する情報の入手方法	問13
	市の支援で、知っているもの、または利用したことがあるもの	問14
◆ 市に望む取組	生涯学習を活発にするために市に望む取組	問15
◆ その他	武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望 [自由記述]	問16

## 7 報告書の見方など

集計結果の回答割合は、有効回答（一般：682、団体：154）を分母として小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで表示した。四捨五入して表示しているため、これらの数値の合計が100%にならない場合もある。

また、複数回答を可能とした設問では、回答者数を分母として回答割合を算出しているため、数値の合計が100%を超えることがある。

クロス集計の表およびグラフでは、クロス集計した設問どうしを × でつなぎ、グラフのタイトルに表示した。

また、複数回答のクロス集計の表は、傾向を把握しやすくするため、表側（下記の例では「年齢ごと」）の構成比のうち、無回答を除く各項目の上位3つを網掛けで表示した。

（例）問2.「生涯学習」のイメージ×F1 年齢

問2. 「生涯学習」のイメージ 【複数回答】		上段：集計値 下段：構成比 (%)										
	幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと	趣味・教養を高めること	職業上必要な知識・技能を身につけること	生きがいを充実すること	心を豊かにすること	自分の住んでいるまちや地域について知ること	講座や教室等の学習活動への参加	健康・体力づくりをすること	その他	無回答	全体	
全体	375 55.0%	368 54.0%	58 8.5%	382 56.0%	395 57.9%	100 14.7%	282 41.3%	156 22.9%	8 1.2%	9 1.3%	682 100.0%	
年齢	16歳～19歳	32 65.3%	19 38.8%	3 6.1%	18 36.7%	19 38.8%	5 10.2%	7 14.3%	7 14.3%	-	1 2.0%	49 100.0%
	20歳～29歳	34 58.6%	33 56.9%	6 10.3%	27 46.6%	28 48.3%	5 8.6%	19 32.8%	9 15.5%	-	-	58 100.0%
	30歳～39歳	58 63.7%	57 62.6%	10 11.0%	49 53.8%	51 56.0%	8 8.8%	39 42.9%	8 8.8%	1 1.1%	-	91 100.0%
	40歳～49歳	63 58.9%	62 57.9%	6 5.6%	65 60.7%	72 67.3%	8 7.5%	47 43.9%	14 13.1%	-	-	107 100.0%
	50歳～59歳	57 49.6%	62 53.9%	6 5.2%	71 61.7%	75 65.2%	14 12.2%	51 44.3%	27 23.5%	1 0.9%	1 0.9%	115 100.0%
	60歳～69歳	60 51.7%	60 51.7%	9 7.8%	73 62.9%	69 59.5%	18 15.5%	61 52.6%	38 32.8%	1 0.9%	3 2.6%	116 100.0%
	70歳～79歳	48 51.6%	55 59.1%	11 11.8%	52 55.9%	54 58.1%	29 31.2%	42 45.2%	35 37.6%	3 3.2%	1 1.1%	93 100.0%
	80歳以上	22 42.3%	20 38.5%	7 13.5%	27 51.9%	27 51.9%	13 25.0%	16 30.8%	18 34.6%	2 3.8%	3 5.8%	52 100.0%
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%

\* 構成比 (%) の見方：選択肢の集計値を表側各項目の全体の集計値で割り返して表示。

例) 「16歳～19歳」の「幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと」の構成比 (%) では、当該項目の集計値32を「16歳～19歳」全体の49で割り返し、小数点第2位を四捨五入して表示。

\* 網掛けでの表示：構成比 (%) のうち、各項目の上位3つ（同率のものも含む）を網掛けで表示。

例) 「16歳～19歳」の上位3つ：65.3%（1位）、38.8%（2位）、38.8%（2位）

「80歳以上」の上位3つ：51.9%（1位）、51.9%（1位）、42.3%（3位）

## Ⅱ 一般の調査結果



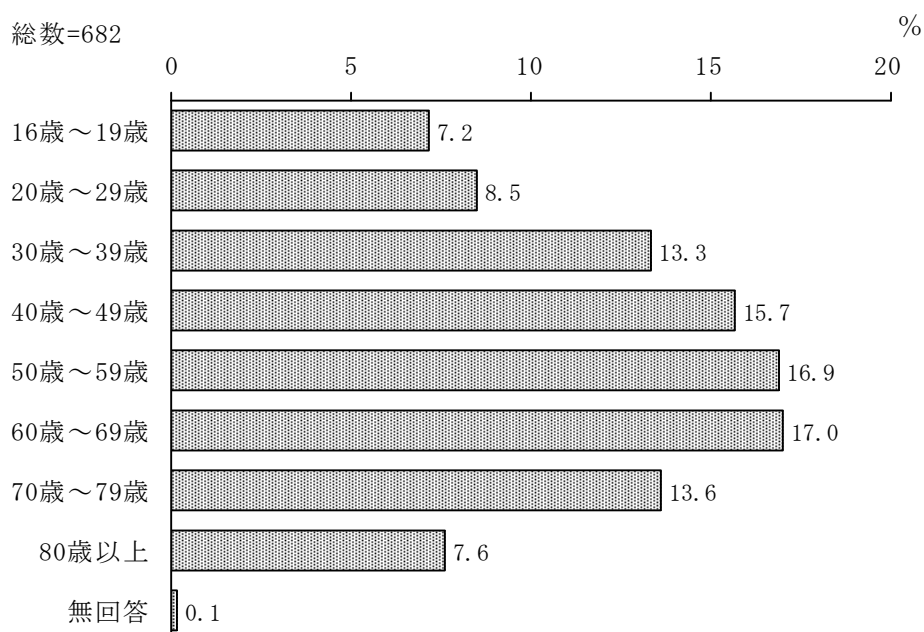
## Ⅱ 一般の調査結果

### 1 回答者の属性

#### (1) 年齢

F1 あなたの年齢をお答えください。 (○は1つだけ) [平成20年11月1日現在]

#### ■ F1 年齢



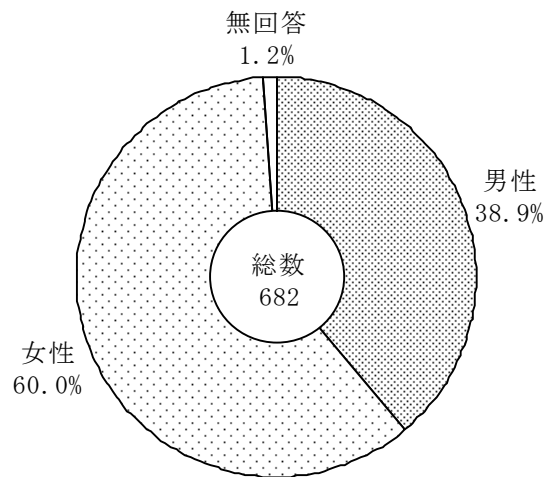
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
16歳～19歳	49	7.2
20歳～29歳	58	8.5
30歳～39歳	91	13.3
40歳～49歳	107	15.7
50歳～59歳	115	16.9
60歳～69歳	116	17.0
70歳～79歳	93	13.6
80歳以上	52	7.6
無回答	1	0.1

回答者の年齢は、「16歳～19歳」(7.2%)、「20歳～29歳」(8.5%)、「30歳～39歳」(13.3%)、「40歳～49歳」(15.7%)、「50歳～59歳」(16.9%)、「60歳～69歳」(17.0%)、「70歳～79歳」(13.6%)、「80歳以上」(7.6%)となっており、「16歳～19歳」「20歳～29歳」「80歳以上」以外は、全体の10%以上で集計値も100近くに達している。

## (2) 性別

F2 あなたの性別をお答えください。 (○は1つだけ)

### ■ F2 性別



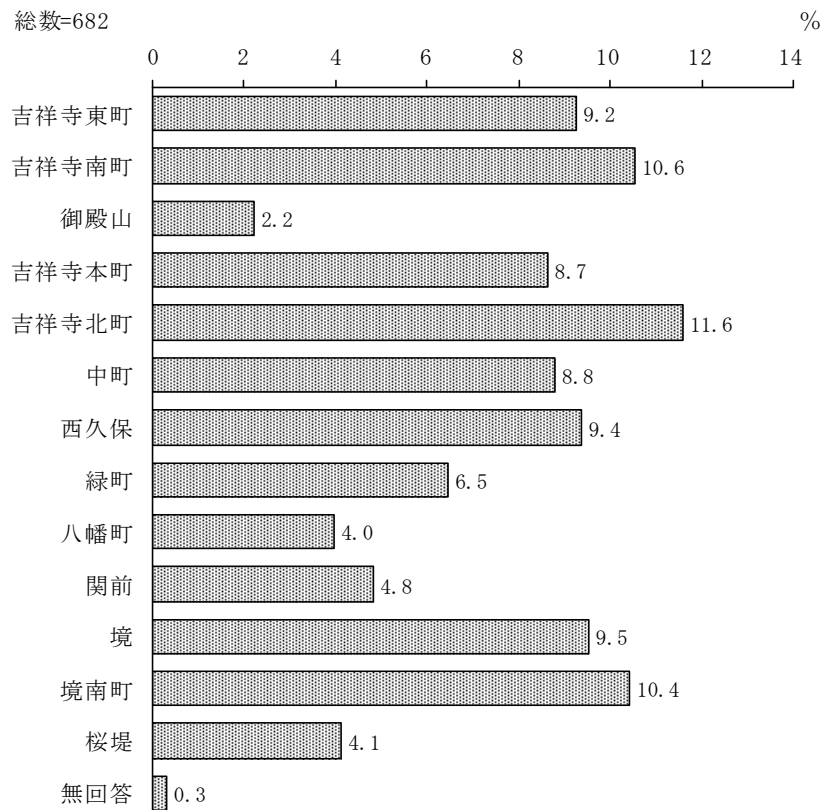
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
男性	265	38.9
女性	409	60.0
無回答	8	1.2

アンケート回答者は、男性は4割弱、女性が6割を占めている。

### (3) 地区

F3 現在お住まいの地区は、次のうちどれですか。 (〇は1つだけ)

#### ■ F3 地区



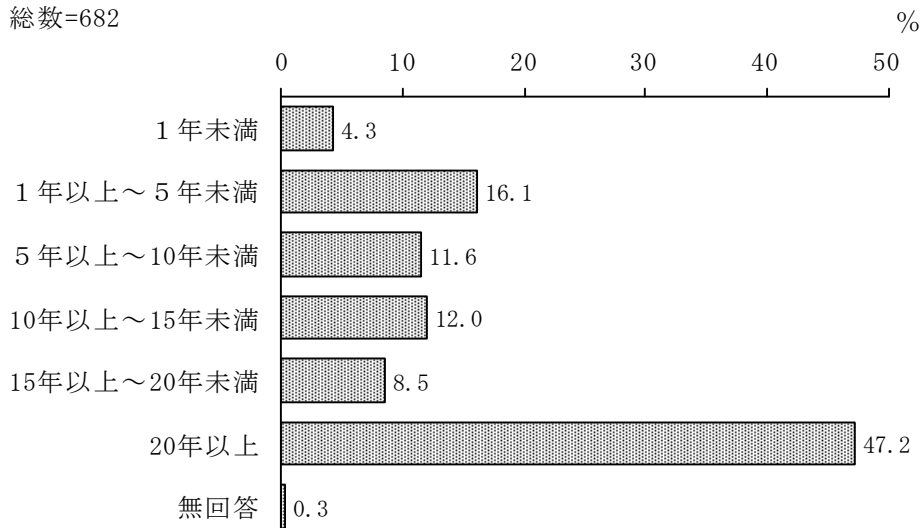
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
吉祥寺東町	63	9.2
吉祥寺南町	72	10.6
御殿山	15	2.2
吉祥寺本町	59	8.7
吉祥寺北町	79	11.6
中町	60	8.8
西久保	64	9.4
緑町	44	6.5
八幡町	27	4.0
関前	33	4.8
境	65	9.5
境南町	71	10.4
桜堤	28	4.1
無回答	2	0.3

アンケート回答者の居住地区は、「吉祥寺北町」(11.6%)、「吉祥寺南町」(10.6%)、「境南町」(10.4%)、「境」(9.5%)、「西久保」(9.4%)、「吉祥寺東町」(9.2%)、「中町」(8.8%)、「吉祥寺本町」(8.7%)、「緑町」(6.5%)、「関前」(4.8%)、「桜堤」(4.1%)、「八幡町」(4.0%)、「御殿山」(2.2%)となっている。

#### (4) 居住年数

F4 武蔵野市に住み始めてからの年数をお答えください。 (○は1つだけ)

##### ■ F4 居住年数



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
1年未満	29	4.3
1年以上～5年未満	110	16.1
5年以上～10年未満	79	11.6
10年以上～15年未満	82	12.0
15年以上～20年未満	58	8.5
20年以上	322	47.2
無回答	2	0.3

アンケート回答者の居住年数については、「20年以上」(47.2%)が最も高い割合であり、居住年数の長い人が多い傾向がみてとれる。

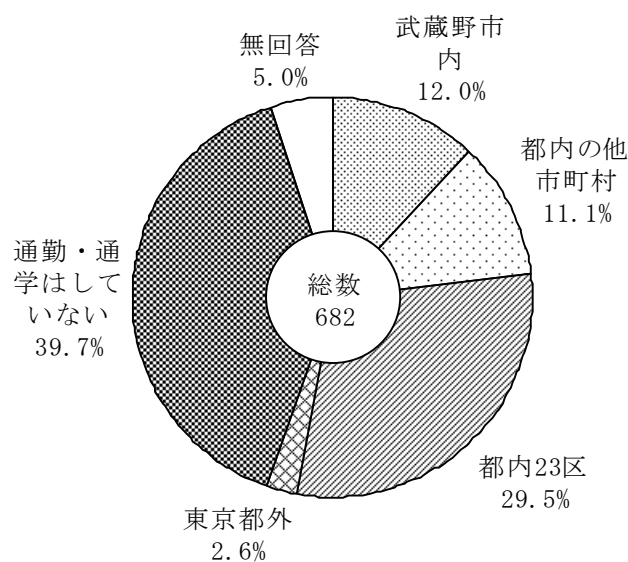
また、次に高いのは「1年以上～5年未満」(16.1%)であり、社会的な流動人口が一定程度あることがうかがえる。



## (5) 通勤・通学先

F5 どちらかへ通勤、通学をされていますか。通勤、通学をされている場合、あなたの従業地・通学地をお答えください。 (〇は1つだけ)

### ■ F5 通勤・通学先



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野市内	82	12.0
都内の他市町村	76	11.1
都内23区	201	29.5
東京都外	18	2.6
通勤・通学はしていない	271	39.7
無回答	34	5.0

アンケート回答者の通勤・通学先について、「通勤・通学はしていない」(39.7%)が最も高い割合となっている。

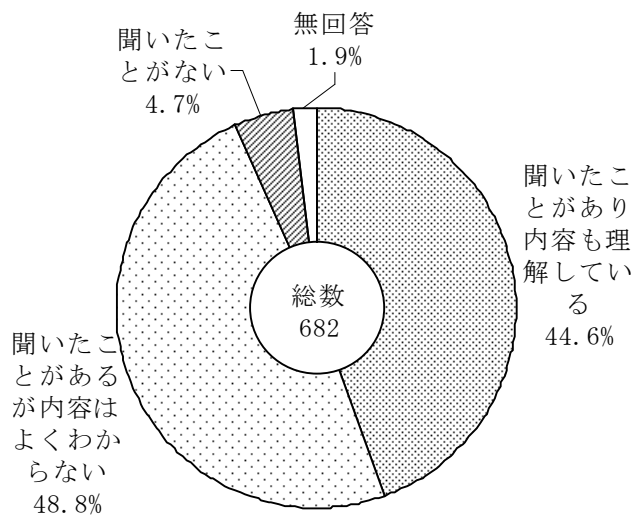
また、「通勤・通学はしていない」(39.7%)と「武蔵野市内」(12.0%)を合わせた約5割が日常的に市内にいる人であることがみとれる。同じように「都内23区」(29.5%)、「都内の他市町村」(11.1%)、「東京都外」(2.6%)を合わせた4割以上が市外に通勤・通学している人であり、仕事が終わってからの時間や休日の利用などにも配慮することが必要と思われる。

## 2 現状

### (1) 「生涯学習」の認知度

問1 「生涯学習」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。 (○は1つだけ)

#### ■問1 「生涯学習」の認知度



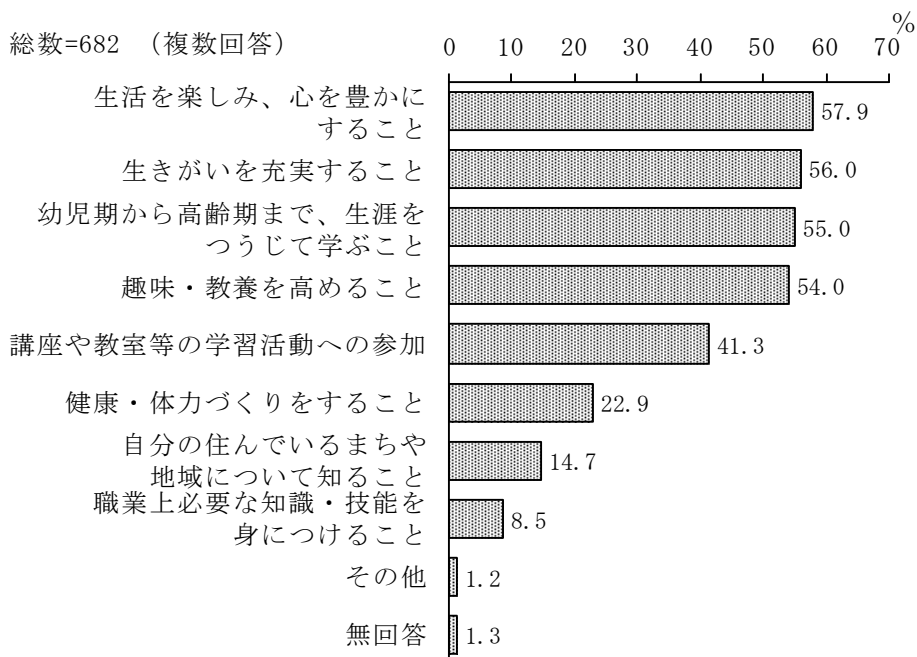
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
聞いたことがあります内容も理解している	304	44.6
聞いたことがあるが内容はよくわからない	333	48.8
聞いたことがない	32	4.7
無回答	13	1.9

「生涯学習」という言葉については、「聞いたことがあります内容も理解している」の割合が44.6%である一方、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」(48.8%)と「聞いたことがない」(4.7%)を合すると5割を超えており、「生涯学習」について、ほとんどの人は聞いたことはあるが、内容を理解している人は過半数に満たない現状である。

## (2) 「生涯学習」のイメージ

問2 「生涯学習」と聞いて、あなたが思い浮かぶイメージについて、お答えください。  
 (あてはまるものすべてに○)

### ■問2 「生涯学習」のイメージ



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
生活を楽しみ、心を豊かにすること	395	57.9
生きがいを充実すること	382	56.0
幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと	375	55.0
趣味・教養を高めること	368	54.0
講座や教室等の学習活動への参加	282	41.3
健康・体力づくりをすること	156	22.9
自分の住んでいるまちや地域について知ること	100	14.7
職業上必要な知識・技能を身につけること	58	8.5
その他	8	1.2
無回答	9	1.3

「生涯学習」のイメージについて、「生活を楽しみ、心を豊かにすること」(57.9%)、「生きがいを充実すること」(56.0%)、「幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと」(55.0%)、「趣味・教養を高めること」(54.0%)などいずれも5割を超えている。

また、「健康・体力づくりをすること」(22.9%)や「自分の住んでいるまちや地域について知ること」(14.7%)なども認知されていることがうかがえる。

全体的に、「生涯学習」のイメージを幅広く持っていることがみてとれる。

■問2 「生涯学習」のイメージ×F1 年齢

上段：集計値  
下段：構成比（%）

問2. 「生涯学習」のイメージ 【複数回答】

		幼児期から高齢期まで つうじて学ぶこと 生涯を	趣味・教養を高めること	職業上必要な知識・技能を 身につけること	生きがいを充実すること	生活を 豊かに すること	自分の住んでいるまちや 地域について知ること	講座や教室等の学習活動 への参加	健康・体力づくりをすること	その他	無回答	全体
全体		375 55.0%	368 54.0%	58 8.5%	382 56.0%	395 57.9%	100 14.7%	282 41.3%	156 22.9%	8 1.2%	9 1.3%	682 100.0%
年齢	16歳～19歳	32 65.3%	19 38.8%	3 6.1%	18 36.7%	19 38.8%	5 10.2%	7 14.3%	7 14.3%	-	1 2.0%	49 100.0%
	20歳～29歳	34 58.6%	33 56.9%	6 10.3%	27 46.6%	28 48.3%	5 8.6%	19 32.8%	9 15.5%	-	-	58 100.0%
	30歳～39歳	58 63.7%	57 62.6%	10 11.0%	49 53.8%	51 56.0%	8 8.8%	39 42.9%	8 8.8%	1 1.1%	-	91 100.0%
	40歳～49歳	63 58.9%	62 57.9%	6 5.6%	65 60.7%	72 67.3%	8 7.5%	47 43.9%	14 13.1%	-	-	107 100.0%
	50歳～59歳	57 49.6%	62 53.9%	6 5.2%	71 61.7%	75 65.2%	14 12.2%	51 44.3%	27 23.5%	1 0.9%	1 0.9%	115 100.0%
	60歳～69歳	60 51.7%	60 51.7%	9 7.8%	73 62.9%	69 59.5%	18 15.5%	61 52.6%	38 32.8%	1 0.9%	3 2.6%	116 100.0%
	70歳～79歳	48 51.6%	55 59.1%	11 11.8%	52 55.9%	54 58.1%	29 31.2%	42 45.2%	35 37.6%	3 3.2%	1 1.1%	93 100.0%
	80歳以上	22 42.3%	20 38.5%	7 13.5%	27 51.9%	27 51.9%	13 25.0%	16 30.8%	18 34.6%	2 3.8%	3 5.8%	52 100.0%
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

「生涯学習」のイメージを年齢別にみると、30歳代までは、「幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと」が最も割合が高く、「趣味・教養を高めること」、「生活を楽しみ、心を豊かにすること」も高い割合となっている。

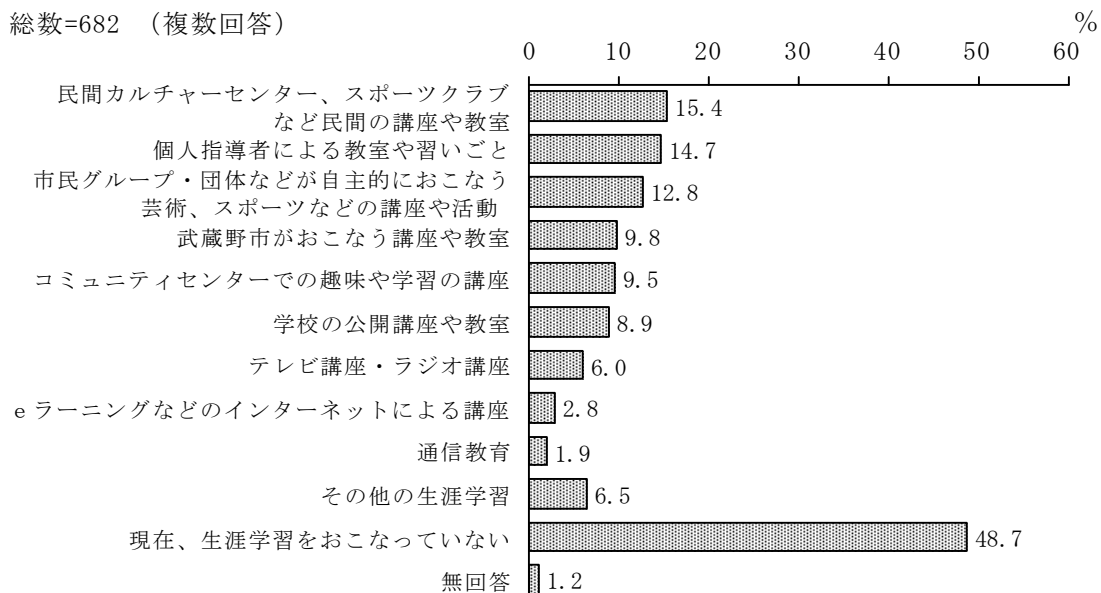
40歳代から50歳代では、「生活を楽しみ、心を豊かにすること」が最も割合が高く、60歳代では、「生きがいを充実すること」、70歳代では、「趣味・教養を高めること」などの割合が高くなり、年齢が上がるにつれて、「生涯学習」のイメージについて、より目的意識をもった具体的なものとなる傾向がうかがえる。

また、「自分の住んでいるまちや地域について知ること」は、70歳を超えると割合が高くなっている。

### (3) 活動をおこなっている生涯学習

問3 あなたは現在、下記のような生涯学習のうち、どのような活動をおこなっていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

#### ■問3 活動をおこなっている生涯学習



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
民間カルチャーセンター、スポーツクラブ など民間の講座や教室	105	15.4
個人指導者による教室や習いごと	100	14.7
市民グループ・団体などが自主的におこなう 芸術、スポーツなどの講座や活動	87	12.8
武蔵野市がおこなう講座や教室	67	9.8
コミュニティセンターでの趣味や学習の講座	65	9.5
学校の公開講座や教室	61	8.9
テレビ講座・ラジオ講座	41	6.0
eラーニングなどのインターネットによる講座	19	2.8
通信教育	13	1.9
その他の生涯学習	44	6.5
現在、生涯学習をおこなっていない	332	48.7
無回答	8	1.2

現在、活動をしている生涯学習について、「現在、生涯学習をおこなっていない」(48.7%)が全体の5割弱を占めており、こうした人々への何らかの取組が必要と思われる。

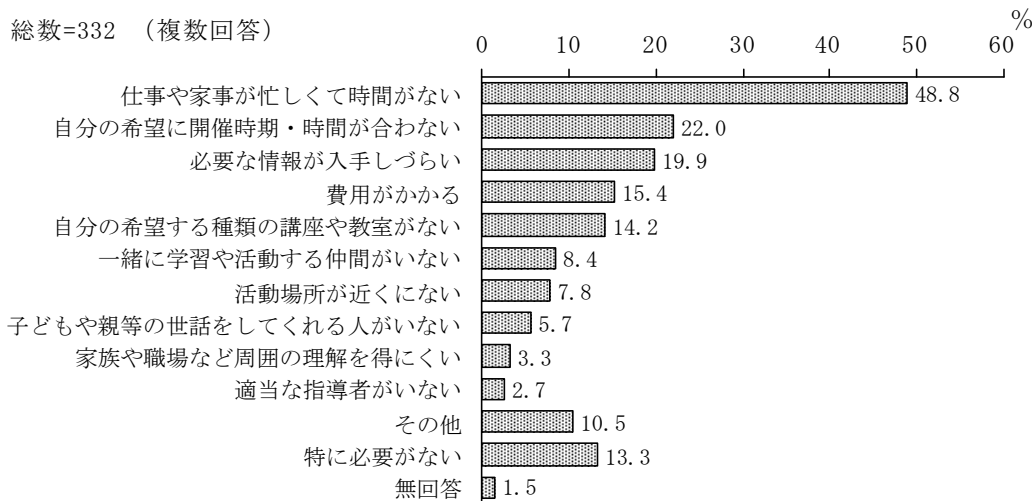
具体的な活動として、「民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室」(15.4%)、「個人指導者による教室や習いごと」(14.7%)、「市民グループ・団体などが自主的におこなう芸術、スポーツなどの講座や活動」(12.8%)、「武蔵野市がおこなう講座や教室」(9.8%)、「コミュニティセンターでの趣味や学習の講座」(9.5%)、「学校(高等学校、専修学校、各種学校、大学、大学院など)の公開講座や教室」(8.9%)、「テレビ講座・ラジオ講座」(6.0%)などの幅広い生涯学習をおこなっていることがみてとれる。

#### (4) 生涯学習をおこなっていない理由

問3で、「現在、生涯学習をおこなっていない」と回答された方対象。

問4 現在、生涯学習をおこなっていない方にうかがいます。生涯学習をしていない理由を選んでください。 **(あてはまるものすべてに○)**

#### ■問4 生涯学習をおこなっていない理由



項目名 【11個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	332	100.0
仕事や家事が忙しくて時間がない	162	48.8
自分の希望に開催時期・時間が合わない	73	22.0
必要な情報が入手しづらい	66	19.9
費用がかかる	51	15.4
自分の希望する種類の講座や教室がない	47	14.2
一緒に学習や活動する仲間がない	28	8.4
活動場所が近くにない	26	7.8
子どもや親等の世話をしてくれる人がいない	19	5.7
家族や職場など周囲の理解を得にくい	11	3.3
適当な指導者がいない	9	2.7
その他	35	10.5
特に必要がない	44	13.3
無回答	5	1.5

現在、生涯学習をおこなっていない理由は、「仕事や家事が忙しくて時間がない」(48.8%)が最も高く5割近くを占めている。

これ以外の選択肢の項目を【機会】【情報】【人】【場所】の視点から分類整理してみると、【機会】に関することは、「自分の希望に開催時期・時間が合わない」(22.0%)、「自分の希望する種類の講座や教室がない」(14.2%)である。【情報】に関することは、「必要な情報が入手しづらい」(19.9%)で2割弱の回答がみられ、情報提供のあり方について検討する必要があると思われる。【人】に関することは、「一緒に学習や活動する仲間がない」(8.4%)と「適当な指導者がいない」(2.7%)があげられる。【場所】に関することは、「活動場所が近くにない」(7.8%)である。

■問4 生涯学習をおこなっていない理由×F1 年齢

上段：集計値  
下段：構成比(%)

問4. 生涯学習を行っていない理由 【11個までの複数回答】

	費用がかかる	仕事や家事が忙しくて時間がない	自分の分講の希望や望みや教室の種類	自分の希望に合わない開催時期	活動場所以が近くにない	適切な指導者がいない	一緒に学ばない活動	話をしていなくても親等の人	家族の理解を得にくく	必要な情報が入手しづらい	その他	特に必要がない	無回答	全体	
全体	51 15.4%	162 48.8%	47 14.2%	73 22.0%	26 7.8%	9 2.7%	28 8.4%	19 5.7%	11 3.3%	66 19.9%	35 10.5%	44 13.3%	5 1.5%	332 100.0%	
年齢	16歳～19歳	5 20.0%	12 48.0%	3 12.0%	1 4.0%	-	3 12.0%	-	-	2 8.0%	5 20.0%	4 16.0%	1 4.0%	25 100.0%	
	20歳～29歳	9 22.5%	20 50.0%	5 12.5%	9 22.5%	2 5.0%	5 12.5%	3 7.5%	1 2.5%	11 27.5%	3 7.5%	9 22.5%	-	40 100.0%	
	30歳～39歳	6 13.0%	38 82.6%	6 13.0%	14 30.4%	6 13.0%	-	3 6.5%	5 10.9%	-	8 17.4%	1 2.2%	2 4.3%	46 100.0%	
	40歳～49歳	14 22.2%	42 66.7%	14 22.2%	13 20.6%	5 7.9%	2 3.2%	3 4.8%	7 11.1%	3 4.8%	12 19.0%	3 4.8%	4 6.3%	63 100.0%	
	50歳～59歳	8 14.5%	33 60.0%	8 14.5%	14 25.5%	3 5.5%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	3 5.5%	11 20.0%	3 5.5%	6 10.9%	55 100.0%	
	60歳～69歳	6 12.5%	11 22.9%	6 12.5%	16 33.3%	5 10.4%	3 6.3%	4 8.3%	1 2.1%	3 6.3%	11 22.9%	7 14.6%	5 10.4%	2 4.2%	48 100.0%
	70歳～79歳	1 3.0%	4 12.1%	1 3.0%	4 12.1%	1 3.0%	1 3.0%	6 18.2%	1 3.0%	1 3.0%	8 24.2%	5 15.2%	8 24.2%	2 6.1%	33 100.0%
	80歳以上	1 4.8%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%	3 14.3%	1 4.8%	2 9.5%	-	-	3 14.3%	8 38.1%	6 28.6%	-	21 100.0%
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習をおこなっていない理由を年齢別にみると、全体的な傾向と変わらない傾向がうかがえる。「50歳～59歳」では、「仕事や家事が忙しくて時間がない」の割合が最も高く、「60歳～69歳」では、「自分の希望に開催時期・時間が合わない」の割合が高いことがみてとれる。また、「必要な情報が入手しづらい」は、ほとんどの年齢層で高い傾向がうかがえる。

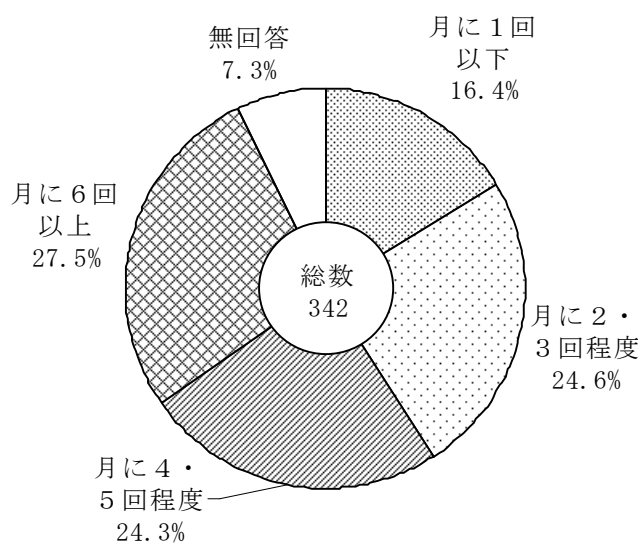


## (5) 生涯学習をおこなっている頻度・主な活動場所

問3で、選択肢「1.~10.」に○をつけられた方（何らかの生涯学習をしている方）対象。

問5 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。月平均でどのくらいおこなっていますか。複数の学習をおこなっている方は、合計した回数をお答えください。また、主な活動場所はどこですか。 **(○は1つずつ)**

### ■問5 生涯学習をおこなっている頻度

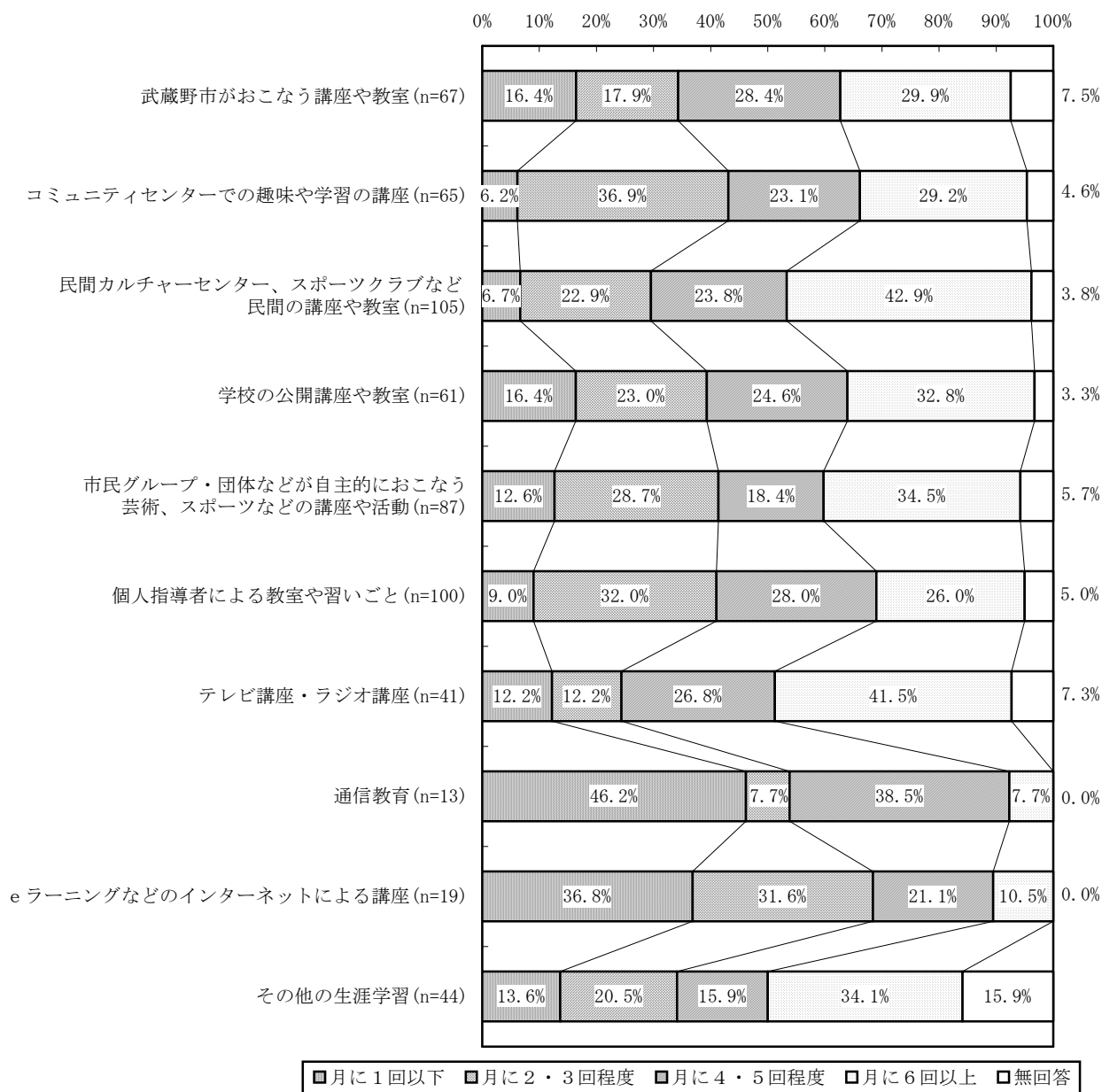


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
月に1回以下	56	16.4
月に2・3回程度	84	24.6
月に4・5回程度	83	24.3
月に6回以上	94	27.5
無回答	25	7.3

生涯学習をおこなっている頻度は、週に1回程度は生涯学習をおこなっていると思われる「月に6回以上」(27.5%)と「月に4・5回程度」(24.3%)を合すると5割以上ある。さらに、隔週の頻度で生涯学習をおこなっていると思われる「月に2・3回程度」(24.6%)を加えると7割以上であることがみてとれる。

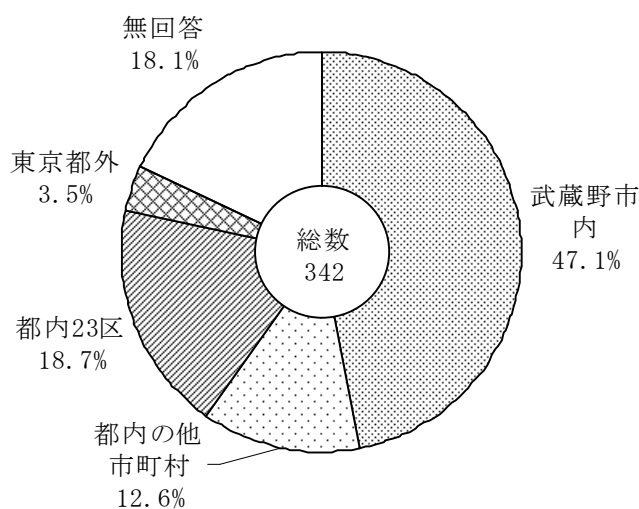


■問5 生涯学習をおこなっている頻度×問3 活動をおこなっている生涯学習



生涯学習の活動頻度を活動の内容別で見ると、頻度が「月に6回以上」で4割を超えるものは、「民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室」と「テレビ講座・ラジオ講座」であり、3割を超えるものは、「学校の公開講座や教室」と「市民グループ・団体などが自主的におこなう芸術、スポーツなどの講座や活動」、「その他の生涯学習」である。

■問5 生涯学習をおこなっている主な活動場所



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
武蔵野市内	161	47.1
都内の他市町村	43	12.6
都内23区	64	18.7
東京都外	12	3.5
無回答	62	18.1

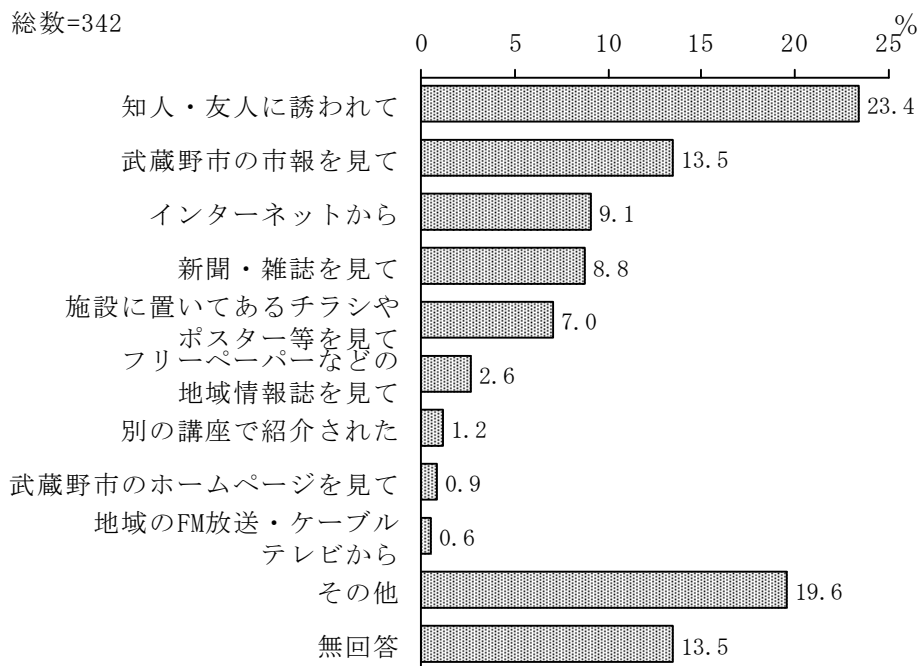
生涯学習をおこなっている主な活動場所は、「武蔵野市内」が5割弱を占めており、身近な場所での活動が高い傾向がうかがえる。

一方で、市外も「都内23区」(18.7%)と「都内の他市町村」(12.6%)、「東京都外」(3.5%)を合すると3割以上の利用があることから、行政区域を越えた活動をしていることがうかがえる。

## (6) 生涯学習をおこなうきっかけ

問6 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。あなたが生涯学習をおこなうようになったきっかけは何ですか。 (〇は1つだけ)

### ■問6 生涯学習をおこなうきっかけ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
知人・友人に誘われて	80	23.4
武蔵野市の市報を見て	46	13.5
インターネットから	31	9.1
新聞・雑誌を見て	30	8.8
施設に置いてあるチラシやポスター等を見て	24	7.0
フリーペーパーなどの地域情報誌を見て	9	2.6
別の講座で紹介された	4	1.2
武蔵野市のホームページを見て	3	0.9
地域のFM放送・ケーブルテレビから	2	0.6
その他	67	19.6
無回答	46	13.5

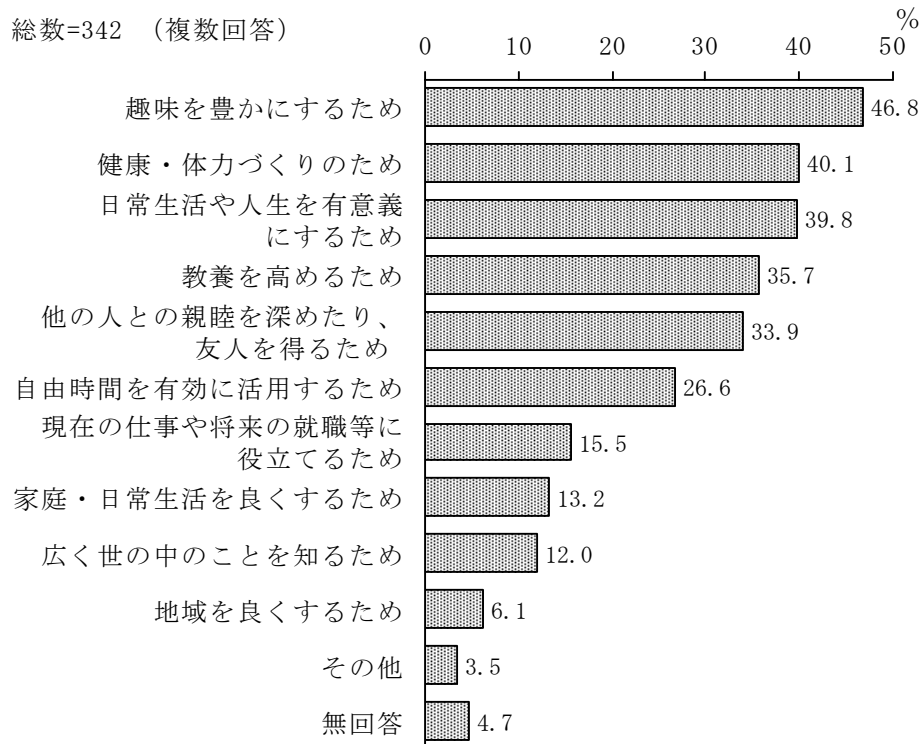
生涯学習をおこなうきっかけは、「知人・友人に誘われて」(23.4%)が最も高く、身近な人から直接誘われることが強い傾向にあり、「武蔵野市の市報を見て」(13.5%)は2番目に高い。それ以外の情報誌紙は、「新聞・雑誌を見て」(8.8%)と「施設に置いてあるチラシやポスター等を見て」(7.0%)、「フリーペーパーなどの地域情報誌を見て」(2.6%)を合すると2割弱あることが分かる。

また、「その他」(19.6%)を含め、「インターネットから」(9.1%)、「別の講座で紹介された」(1.2%)、「武蔵野市のホームページを見て」(0.9%)、「地域のFM放送・ケーブルテレビから」(0.6%)など多様なきっかけがあることがみてとれる。

(7) 生涯学習をおこなっている理由・目的

問7 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。生涯学習をしている理由、目的は何ですか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

■問7 生涯学習をおこなっている理由・目的



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
趣味を豊かにするため	160	46.8
健康・体力づくりのため	137	40.1
日常生活や人生を有意義にするため	136	39.8
教養を高めるため	122	35.7
他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	116	33.9
自由時間を有効に活用するため	91	26.6
現在の仕事や将来の就職等に役立てるため	53	15.5
家庭・日常生活を良くするため	45	13.2
広く世の中のことを知るため	41	12.0
地域を良くするため	21	6.1
その他	12	3.5
無回答	16	4.7

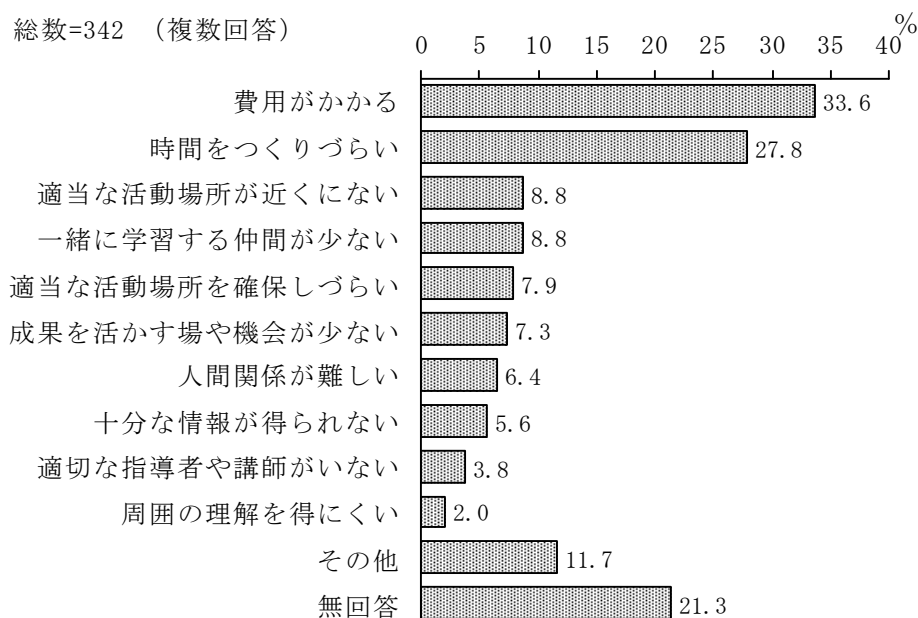
生涯学習をしている理由、目的は、「趣味を豊かにするため」(46.8%)、「健康・体力づくりのため」(40.1%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(39.8%)、「教養を高めるため」(35.7%) など個人の人生や暮らしを充実していくことが大きな理由、目的であることが分かる。

一方で、仲間づくりや地域貢献に関する「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」(33.9%) や「地域を良くするため」(6.1%) などのニーズがあることがうかがえる。

## (8) 生涯学習をおこなううえで困っていること

問8 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。生涯学習をおこなううえで困っていることがありますか。次のなかから、あてはまることを選びください。(あてはまるものすべてに○)

### ■問8 生涯学習をおこなううえで困っていること



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	342	100.0
費用がかかる	115	33.6
時間をつくりづらい	95	27.8
適当な活動場所が近くにない	30	8.8
一緒に学習する仲間が少ない	30	8.8
適当な活動場所を確保しづらい	27	7.9
成果を活かす場や機会が少ない	25	7.3
人間関係が難しい	22	6.4
十分な情報が得られない	19	5.6
適切な指導者や講師がいない	13	3.8
周囲の理解を得にくい	7	2.0
その他	40	11.7
無回答	73	21.3

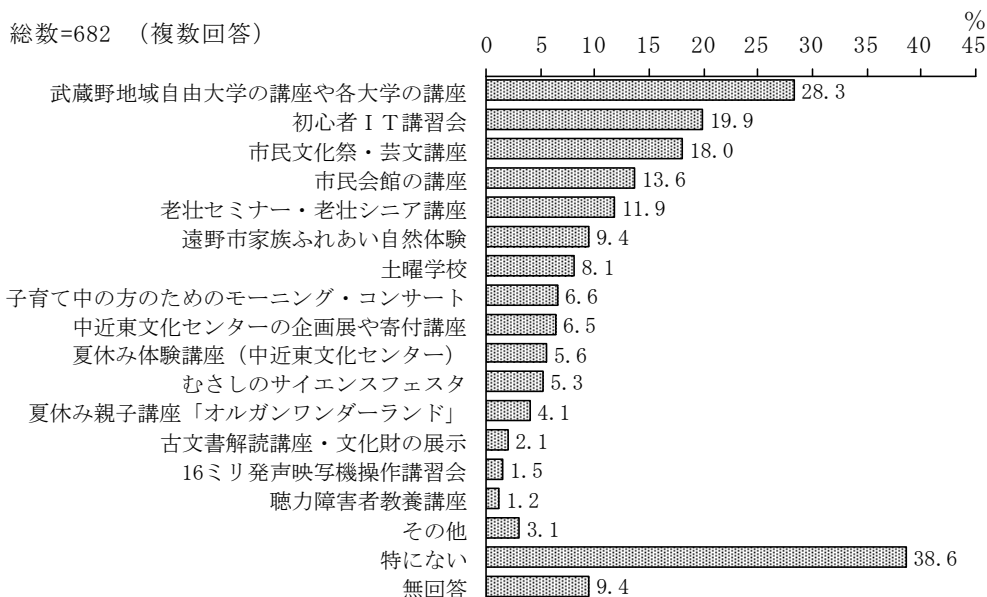
生涯学習をおこなううえで困っていることは、「費用がかかる」(33.6%)、「時間をつくりづらい」(27.8%)が高く約3割となっている。

これら以外の選択肢の項目を【人】【場所】【機会】【情報】の視点から分類整理してみると、【人】に関することは、「一緒に学習する仲間が少ない」(8.8%)や「人間関係が難しい」(6.4%)、「適切な指導者や講師がいない」(3.8%)があげられる。【場所】に関することは、「適当な活動場所が近くにない」(8.8%)と「適当な活動場所を確保しづらい」(7.9%)である。【機会】に関することは、「成果を活かす場や機会が少ない」(7.3%)、【情報】に関することは、「十分な情報が得られない」(5.6%)があげられる。

(9) 市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの

問9 市では、現在、生涯学習に関する事業を主催または他団体等との共催でおこなっています。次のうち、知っているもの、または参加・利用したことがあるものをお選びください。  
**(あてはまるものすべてに○)**

■問9 市の事業で知っているもの、または参加・利用したことがあるもの



項目名 【16個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野地域自由大学の講座や各大学の講座	193	28.3
初心者 I T 講習会	136	19.9
市民文化祭・芸文講座	123	18.0
市民会館の講座	93	13.6
老壮セミナー・老壮シニア講座	81	11.9
遠野市家族ふれあい自然体験	64	9.4
土曜学校	55	8.1
子育て中の方のためのモーニング・コンサート	45	6.6
中近東文化センターの企画展や寄付講座	44	6.5
夏休み体験講座 (中近東文化センター)	38	5.6
むさしのサイエンスフェスタ	36	5.3
夏休み親子講座「オルガンワンダーランド」	28	4.1
古文書解読講座・文化財の展示	14	2.1
16 ミリ発声映写機操作講習会	10	1.5
聴力障害者教養講座	8	1.2
その他	21	3.1
特にない	263	38.6
無回答	64	9.4

市の生涯学習の事業について、いずれも3割未満の認知、または参加・利用となっていることがみてとれる。

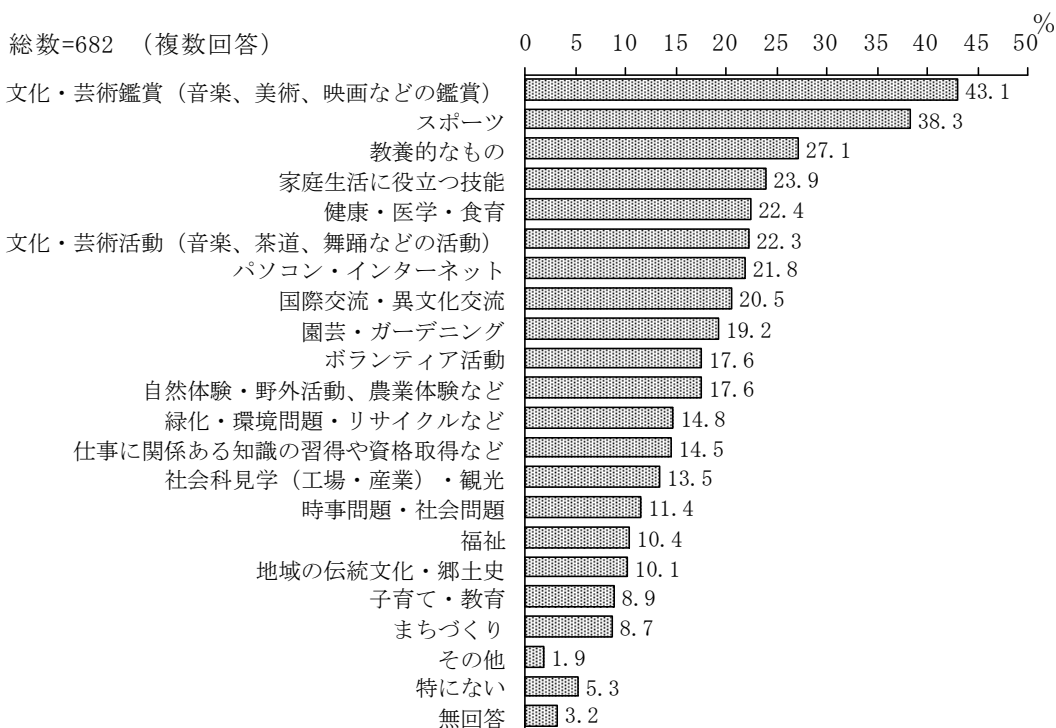
一方で、「特にない」(38.6%)が4割弱となっており、周知や参加・利用の促進を図ることが求められていると思われる。

### 3 今後のニーズなど

#### (1) 生涯学習をする場合に興味があること

問10 今後、生涯学習をする場合、どのようなことに興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

#### ■問10 生涯学習をする場合に興味があること



項目名 【20個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
文化・芸術鑑賞 (音楽、美術、映画などの鑑賞)	294	43.1
スポーツ	261	38.3
教養的なもの	185	27.1
家庭生活に役立つ技能	163	23.9
健康・医学・食育	153	22.4
文化・芸術活動 (音楽、茶道、舞踊などの活動)	152	22.3
パソコン・インターネット	149	21.8
国際交流・異文化交流	140	20.5
園芸・ガーデニング	131	19.2
ボランティア活動	120	17.6
自然体験・野外活動、農業体験など	120	17.6
緑化・環境問題・リサイクルなど	101	14.8
仕事に関係ある知識の習得や資格取得など	99	14.5
社会科見学 (工場・産業)・観光	92	13.5
時事問題・社会問題	78	11.4
福祉	71	10.4
地域の伝統文化・郷土史	69	10.1
子育て・教育	61	8.9
まちづくり	59	8.7
その他	13	1.9
特にない	36	5.3
無回答	22	3.2

今後、生涯学習をする場合にどんなことに興味があるかについて、「文化・芸術鑑賞（音楽、美術、映画などの鑑賞）」（43.1%）と「スポーツ」（38.3%）が約4割と高い割合となっている。それ以外の興味については、いずれも1割弱から2割台の間であり、幅広い関心があることがうかがえる。

また、問9「市の生涯学習に関する事業の認知、または参加・利用」では、「特にない」（38.6%）が4割弱となっているが、今後の興味では、「特にない」（5.3%）が減少しており、市の事業に参加・利用したことがなくても、生涯学習には興味があることがみてとれる。

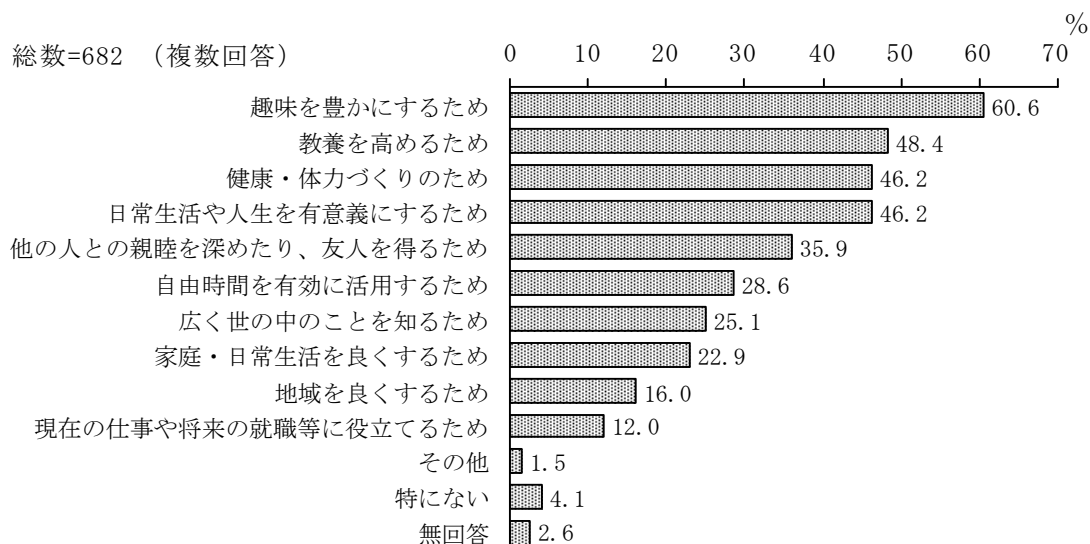
それら以外の選択肢の項目を【身近な緑、自然、環境問題】【地域】【健康】【文化芸術】の視点から分類整理してみると、【身近な緑、自然、環境問題】に関することは、「園芸・ガーデニング」（19.2%）や「自然体験・野外活動・農業体験」（17.6%）、「緑化・環境問題・リサイクル」（14.8%）があげられる。【地域】に関することは、「社会科見学（工場・産業）・観光」（13.5%）や「地域の伝統文化・郷土史」（10.1%）、「まちづくり」（8.7%）である。【健康】に関することは、「健康・医学・食育」（22.4%）、【文化芸術】に関することは、「文化・芸術活動（音楽、茶道、舞踊などの活動）」（22.3%）であり、いずれも関心の高いテーマであることが分かる。



## (2) 生涯学習をおこなう理由・目的

問11 今後、生涯学習をする場合、おこなう理由・目的はどのようなことですか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

### ■問11 生涯学習をおこなう理由・目的



項目名 【11個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
趣味を豊かにするため	413	60.6
教養を高めるため	330	48.4
健康・体力づくりのため	315	46.2
日常生活や人生を有意義にするため	315	46.2
他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	245	35.9
自由時間を有効に活用するため	195	28.6
広く世の中のことを知るため	171	25.1
家庭・日常生活を良くするため	156	22.9
地域を良くするため	109	16.0
現在の仕事や将来の就職等に役立てるため	82	12.0
その他	10	1.5
特にない	28	4.1
無回答	18	2.6

今後、生涯学習をおこなう理由や目的について、「趣味を豊かにするため」(60.6%)が問7の「現在、生涯学習をしている理由・目的」と同様に一番高い割合を示している。「教養を高めるため」(48.4%)、「健康・体力づくりのため」(46.2%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(46.2%)など個人の人生や暮らしを充実していくことが大きな理由、目的であることがみてとれる。

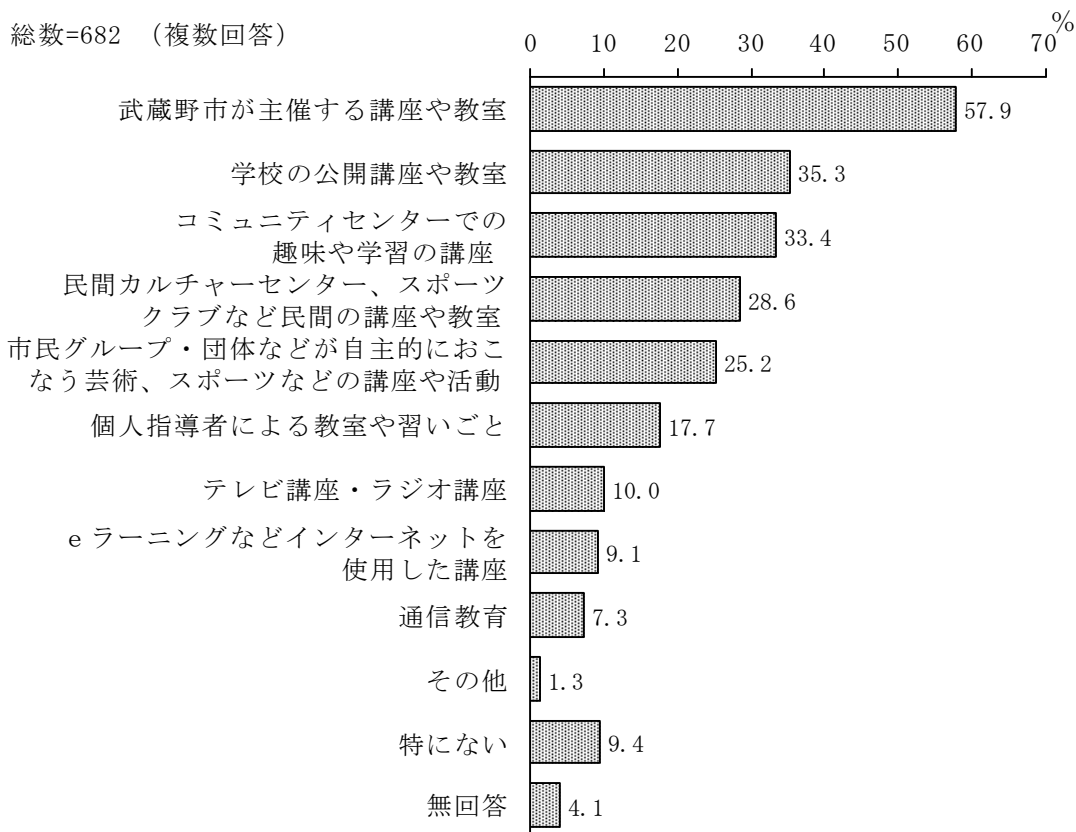
また、問7でも「趣味を豊かにするため」(46.8%)、「健康・体力づくりのため」(40.1%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(39.8%)、「教養を高めるため」(35.7%)が高い割合を示しており、全体をつうじて、現在と今後で生涯学習をおこなう理由や目的については、問11で現在、生涯学習をおこなっていない人も含めた結果をみても、同じような傾向であることがうかがえる。

仲間づくりや地域貢献のニーズは、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」(35.9%)と「地域を良くするため」(16.0%)であることから、問7でみた現在のニーズよりも今後のほうが高い傾向であることがうかがえる。

### (3) 生涯学習をおこなう場合に利用したい機会

問12 今後、生涯学習をする場合、どのような機会を利用したいですか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

#### ■問12 生涯学習をおこなう場合に利用したい機会



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野市が主催する講座や教室	395	57.9
学校の公開講座や教室	241	35.3
コミュニティセンターでの 趣味や学習の講座	228	33.4
民間カルチャーセンター、スポーツ クラブなど民間の講座や教室	195	28.6
市民グループ・団体などが自主的に おこなう芸術、スポーツなどの講座や活動	172	25.2
個人指導者による教室や習いごと	121	17.7
テレビ講座・ラジオ講座	68	10.0
eラーニングなどインターネットを 使用した講座	62	9.1
通信教育	50	7.3
その他	9	1.3
特にない	64	9.4
無回答	28	4.1

今後、生涯学習をおこなう場合に利用したい機会は、「武蔵野市が主催する講座や教室」(57.9%)が最も高い割合を示しており、全体としては6割弱から1割台まで幅広いニーズがあることがうかがえる。

3割台のものは、「学校の公開講座や教室」(35.3%)と「コミュニティセンターでの趣味や学習の講座」(33.4%)である。

2割台のものは、「民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど民間の講座や教室」(28.6%)と「市民グループ・団体などが自主的にこなう芸術、スポーツなどの講座や活動」(25.2%)である。

1割台のものは、「個人指導者による教室や習いごと」(17.7%)と「テレビ講座・ラジオ講座」(10.0%)である。

1割未満のものは、「eラーニングなどインターネットを使用した講座」(9.1%)と「通信教育」(7.3%)である。

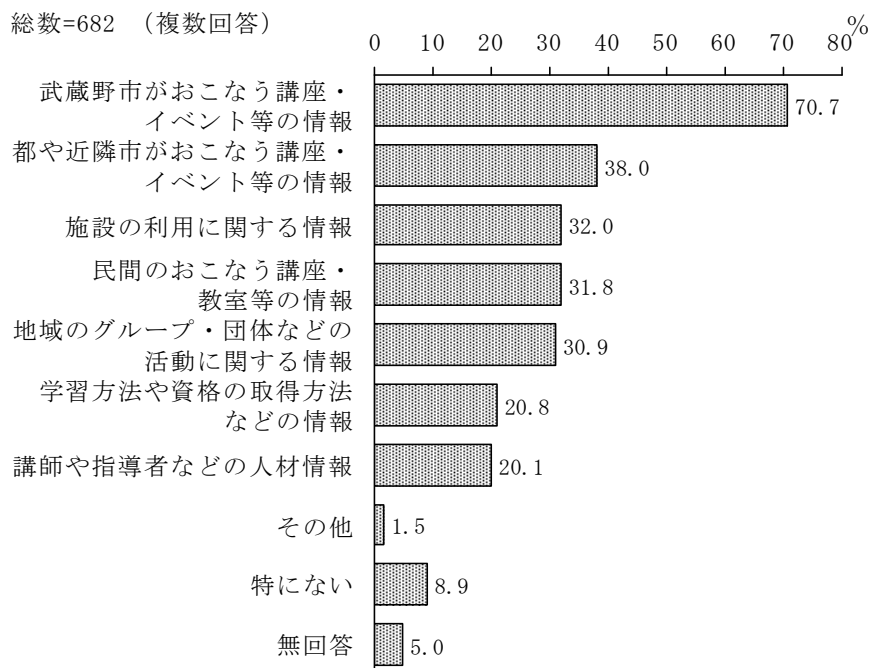
問3の「現在、活動をしている生涯学習」と比べると、問3では4番目であった「武蔵野市が主催する講座や教室」(57.9%)が、今後利用したい機会では一番高い割合であり、市の主催する講座や教室に対するニーズが高いことがうかがえる。

また、問3では、「現在、生涯学習をおこなっていない」人の割合は、48.7%と5割弱を占めていたが、本設問の今後利用したい機会では、「特にない」(9.4%)は1割弱になっており、現在、生涯学習をおこなっていない人でも関心があることがみてとれる。

#### (4) 生涯学習をおこなうために必要な情報

問13 生涯学習をするために、どのような情報が必要だと思いますか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

##### ■問13 生涯学習をおこなうために必要な情報



項目名 【8つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報	482	70.7
都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報	259	38.0
施設の利用に関する情報	218	32.0
民間のおこなう講座・教室等の情報	217	31.8
地域のグループ・団体などの活動に関する情報	211	30.9
学習方法や資格の取得方法などの情報	142	20.8
講師や指導者などの人材情報	137	20.1
その他	10	1.5
特にない	61	8.9
無回答	34	5.0

生涯学習をおこなうために必要な情報は、「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」(70.7%) が7割を超え最も高い割合を示している。市外や民間の講座等の情報は、「都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報」(38.0%) や「民間のおこなう講座・教室等の情報」(31.8%) があげられる。地域の団体や人材など人に関する情報としては、「地域のグループ・団体などの活動に関する情報」(30.9%) や「講師や指導者などの人材情報」(20.1%) があげられ関心のあることがうかがえる。施設利用に関する情報は、「施設の利用に関する情報」(32.0%) となっている。

■問13 生涯学習をおこなうために必要な情報×F1 年齢

上段：集計値  
下段：構成比（%）

問13. 生涯学習をおこなうために必要な情報 【8つまでの複数回答】

		武蔵野市が おこなう 講座・イ ンフォ メーシ ョ ン	都や近 隣市が おこな う講座 ・イ ンフォ メーシ ョ ン	民間の おこな う講座 ・教室 等の情 報	地域の グルー プ・団 体など の活動 に関する 情報	講師や 指導者 などの 人材情 報	施設に 関する 情報	学習方 法や資 格の取 得方法 などの 情報	その他	特にな い	無回 答	全 体
全体		482 70.7%	259 38.0%	217 31.8%	211 30.9%	137 20.1%	218 32.0%	142 20.8%	10 1.5%	61 8.9%	34 5.0%	682 100.0%
年齢	16歳～19歳	28 57.1%	16 32.7%	11 22.4%	12 24.5%	12 24.5%	18 36.7%	18 36.7%	-	8 16.3%	-	49 100.0%
	20歳～29歳	39 67.2%	23 39.7%	17 29.3%	15 25.9%	10 17.2%	21 36.2%	25 43.1%	2 3.4%	3 5.2%	-	58 100.0%
	30歳～39歳	67 73.6%	47 51.6%	43 47.3%	27 29.7%	19 20.9%	31 34.1%	29 31.9%	3 3.3%	4 4.4%	1 1.1%	91 100.0%
	40歳～49歳	81 75.7%	48 44.9%	45 42.1%	27 25.2%	25 23.4%	37 34.6%	24 22.4%	1 0.9%	6 5.6%	1 0.9%	107 100.0%
	50歳～59歳	93 80.9%	50 43.5%	41 35.7%	47 40.9%	21 18.3%	31 27.0%	26 22.6%	1 0.9%	8 7.0%	6 5.2%	115 100.0%
	60歳～69歳	87 75.0%	45 38.8%	37 31.9%	49 42.2%	25 21.6%	38 32.8%	17 14.7%	1 0.9%	7 6.0%	7 6.0%	116 100.0%
	70歳～79歳	64 68.8%	23 24.7%	20 21.5%	20 21.5%	21 22.6%	33 35.5%	3 3.2%	2 2.2%	11 11.8%	8 8.6%	93 100.0%
	80歳以上	23 44.2%	7 13.5%	3 5.8%	14 26.9%	4 7.7%	9 17.3%	-	-	13 25.0%	11 21.2%	52 100.0%
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習をおこなうために必要な情報を年齢別でみると、「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」はどの年齢層でも最も高い割合を占めており、「都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報」や「民間のおこなう講座・教室等の情報」も含めて、講座・イベントに関する情報が高い傾向がうかがえる。

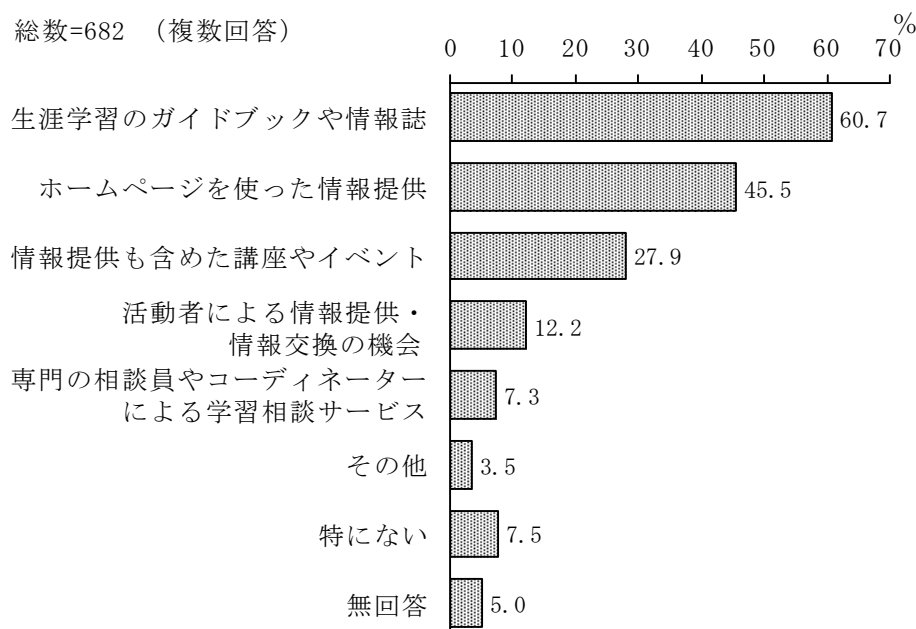
30歳代から40歳代では、「民間のおこなう講座・教室等の情報」が他の世代よりも高い傾向がみとれる。

50歳代から60歳代では、「地域のグループ・団体などの活動に関する情報」が他の世代よりも高い傾向にあり、地域に関する情報を求めている世代であることがみとれる。

## (5) 生涯学習に関する情報の入手方法

問14 生涯学習に関する情報を入手するためには、どのようなものがあるとよいと思いますか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

### ■問14 生涯学習に関する情報の入手方法



項目名 【6つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
生涯学習のガイドブックや情報誌	414	60.7
ホームページを使った情報提供	310	45.5
情報提供も含めた講座やイベント	190	27.9
活動者による情報提供・情報交換の機会	83	12.2
専門の相談員やコーディネーターによる学習相談サービス	50	7.3
その他	24	3.5
特にない	51	7.5
無回答	34	5.0

生涯学習に関する情報の入手方法は、「生涯学習のガイドブックや情報誌」(60.7%)と「ホームページを使った情報提供」(45.5%)の割合が高く充実が求められている。

また、「情報提供も含めた講座やイベント」(27.9%)など、イベント時を活用した情報の入手方法についても高い傾向にあることがうかがえる。

これら以外の「活動者による情報提供・情報交換の機会」(12.2%)、「専門の相談員やコーディネーターによる学習相談サービス」(7.3%)などを含め、情報の入手方法について、多様なニーズがあることがみとれる。

■問14 生涯学習に関する情報の入手方法×F1 年齢

上段：集計値  
下段：構成比（%）

問14. 生涯学習に関する情報の入手方法 【6つまでの複数回答】

		生涯学習のガイドブックや情報誌	ホームページを使った情報提供	ネットサービスによる学習相談	専門の相談員やコーディネーターによる学習相談	情報提供も含めた講座やイベント	活動者による情報提供・情報交換の機会	その他	特になし	無回答	全体
全体		414 60.7%	310 45.5%	50 7.3%	190 27.9%	83 12.2%	24 3.5%	51 7.5%	34 5.0%	682 100.0%	
年齢	16歳～19歳	27 55.1%	30 61.2%	2 4.1%	9 18.4%	5 10.2%	2 4.1%	6 12.2%	-	49 100.0%	
	20歳～29歳	35 60.3%	42 72.4%	4 6.9%	11 19.0%	3 5.2%	5 8.6%	1 1.7%	-	58 100.0%	
	30歳～39歳	60 65.9%	62 68.1%	6 6.6%	23 25.3%	9 9.9%	4 4.4%	1 1.1%	-	91 100.0%	
	40歳～49歳	68 63.6%	64 59.8%	5 4.7%	30 28.0%	13 12.1%	1 0.9%	4 3.7%	2 1.9%	107 100.0%	
	50歳～59歳	73 63.5%	62 53.9%	6 5.2%	38 33.0%	13 11.3%	5 4.3%	6 5.2%	4 3.5%	115 100.0%	
	60歳～69歳	79 68.1%	33 28.4%	15 12.9%	40 34.5%	20 17.2%	2 1.7%	10 8.6%	6 5.2%	116 100.0%	
	70歳～79歳	54 58.1%	13 14.0%	9 9.7%	34 36.6%	15 16.1%	3 3.2%	11 11.8%	10 10.8%	93 100.0%	
	80歳以上	17 32.7%	4 7.7%	3 5.8%	5 9.6%	5 9.6%	2 3.8%	12 23.1%	12 23.1%	52 100.0%	
	無回答	1 100.0%	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0%	

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習に関する情報の入手方法を年齢別にみると、ほとんどの年代で「生涯学習のガイドブックや情報誌」の割合が高いことが分かる。

そのうち、「ホームページを使った情報提供」は、「20歳～29歳」をピークに年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向にあるものの、40歳代までは、「生涯学習のガイドブックや情報誌」と同程度の割合を占めている。

「情報提供も含めた講座やイベント」は、年齢が高くなるにつれて、徐々に割合が高くなる傾向がうかがえる。

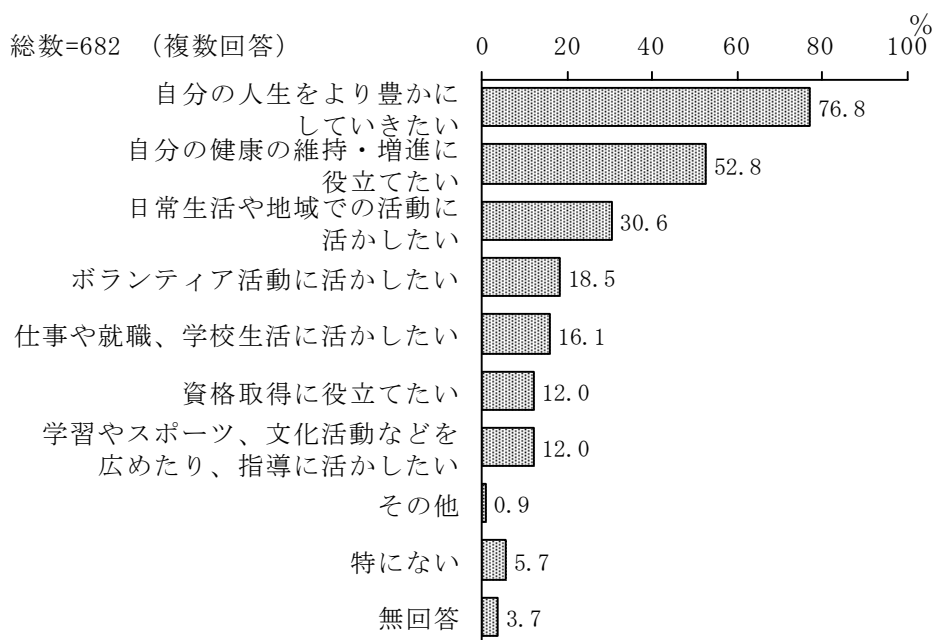


## (6) 生涯学習で身につけたことの活かし方

問15 生涯学習をつうじて身につけたことをどのように活かしたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

### ■問15 生涯学習で身につけたことの活かし方



項目名 【8つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
自分の人生をより豊かにしていきたい	524	76.8
自分の健康の維持・増進に役立てたい	360	52.8
日常生活や地域での活動に活かしたい	209	30.6
ボランティア活動に活かしたい	126	18.5
仕事や就職、学校生活に活かしたい	110	16.1
資格取得に役立てたい	82	12.0
学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしたい	82	12.0
その他	6	0.9
特にない	39	5.7
無回答	25	3.7

生涯学習で身につけたことの活かし方について、「自分の人生をより豊かにしていきたい」(76.8%)が最も高く、「自分の健康の維持・増進に役立てたい」(52.8%)などを含め、個人の人生を充実したものとしたいという傾向が高いことがみてとれる。

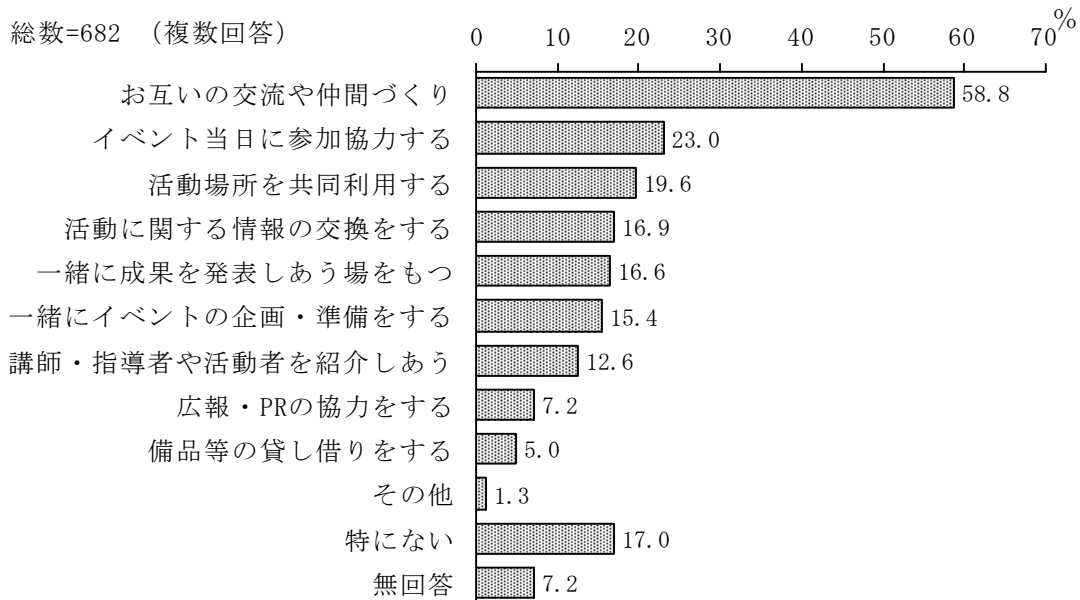
また、地域活動やボランティア活動に関する「日常生活や地域での活動に活かしたい」(30.6%)と「ボランティア活動に活かしたい」(18.5%)や、学習成果の指導・普及促進に関する「学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしたい」(12.0%)のように、直接自分自身ではなく、社会に働きかけることについても関心があることがうかがえる。



(7) 市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること

問16 生涯学習に関する活動をつうじて、市民どうしで協力（協働）しながら、どのようなことをしてみたいですか。また、できると思いますか。**（あてはまるものすべてに○）**

■問16 市民どうしが協力（協働）して、してみたいことやできること



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
お互いの交流や仲間づくり	401	58.8
イベント当日に参加協力する	157	23.0
活動場所を共同利用する	134	19.6
活動に関する情報の交換をする	115	16.9
一緒に成果を発表しあう場をもつ	113	16.6
一緒にイベントの企画・準備をする	105	15.4
講師・指導者や活動者を紹介しあう	86	12.6
広報・PRの協力をする	49	7.2
備品等の貸し借りをする	34	5.0
その他	9	1.3
特にない	116	17.0
無回答	49	7.2

市民どうしが協力（協働）したいことは、「お互いの交流や仲間づくり」（58.8%）が最も高い割合を示している。

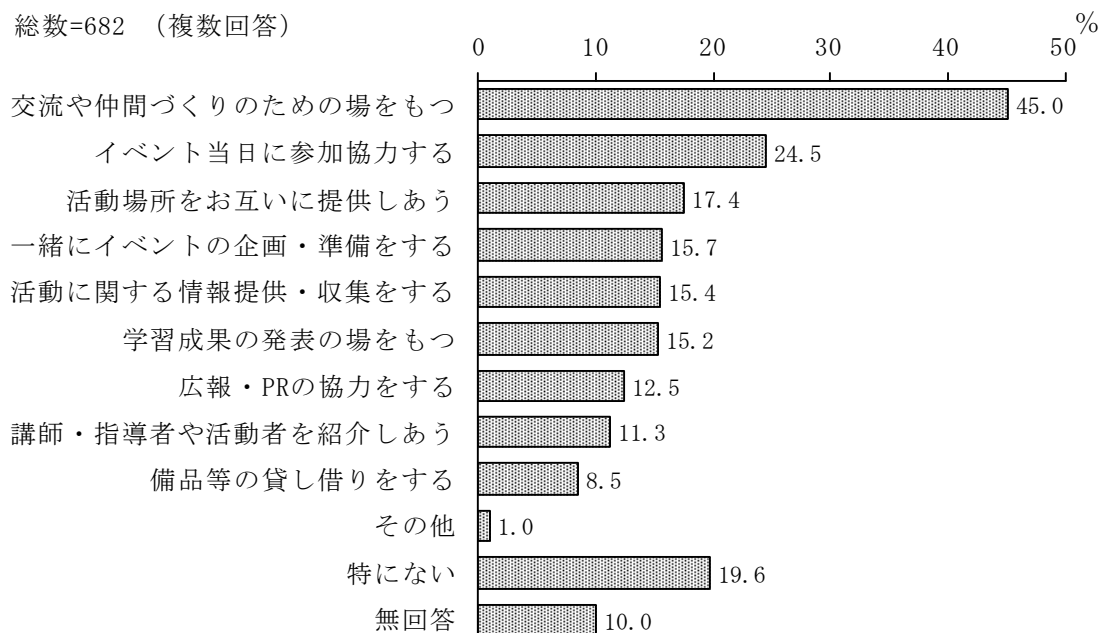
それ以外の選択肢の項目を【人・交流】【イベント】【情報】【場所】の視点から分類整理してみると、【人・交流】に関しては、「一緒に成果を発表しあう場をもつ」（16.6%）と「講師・指導者や活動者を紹介しあう」（12.6%）があげられ、人的な交流や仲間づくりといったニーズがあることが分かる。【イベント】に関することは、「イベント当日に参加協力する」（23.0%）と「一緒にイベントの企画・準備をする」（15.4%）である。【情報】に関することは、「活動に関する情報の交換をする」（16.9%）と「広報・PRの協力をする」（7.2%）があげられる。【場所】に関することは、「活動場所を共同利用する」（19.6%）である。

(8) 市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること

問17 生涯学習に関する活動をつうじて、市と協力（協働）しながら、どのようなことをしてみたいですか。また、できると思いますか。 **(あてはまるものすべてに○)**

■問17 市と協力（協働）しながら、してみたいことやできること

総数=682 (複数回答)



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
交流や仲間づくりのための場をもつ	307	45.0
イベント当日に参加協力する	167	24.5
活動場所をお互いに提供しあう	119	17.4
一緒にイベントの企画・準備をする	107	15.7
活動に関する情報提供・収集をする	105	15.4
学習成果の発表の場をもつ	104	15.2
広報・PRの協力をする	85	12.5
講師・指導者や活動者を紹介しあう	77	11.3
備品等の貸し借りをする	58	8.5
その他	7	1.0
特にない	134	19.6
無回答	68	10.0

市と協力（協働）しながらしてみたいことは、「交流や仲間づくりのための場をもつ」（45.0%）が最も高い割合を示しており、その他の回答も含めて問16「市民どうしが協力（協働）して、してみたいこと」と全体的に同じような傾向にあることがうかがえる。

そのうち、「一緒にイベントの企画・準備をする」（15.7%）は、問16の市民どうしの協力（協働）の集計値（15.4%）とほぼ同じであり、イベントについては、「市民どうしが協力（協働）」、「市と協力（協働）」のいずれも一定の関心があることがみてとれる。

## 4 子どもにとっての生涯学習

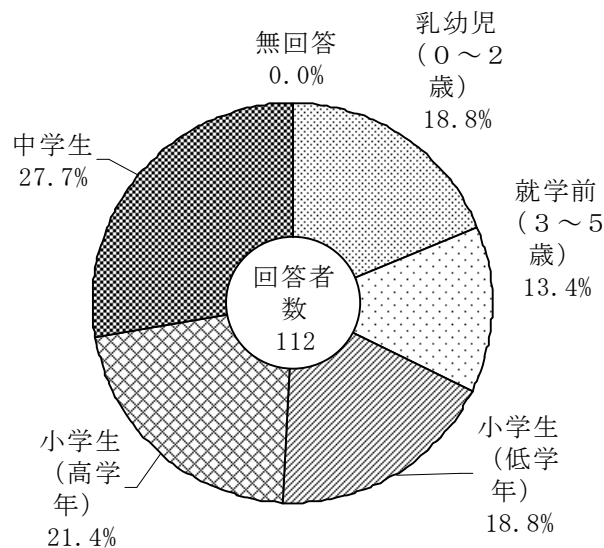
### (1) 年齢と性別

中学生以下のお子さんがいる方が対象。

お子さんが複数いる方は、該当する一番年長のお子さんについて回答。

問19 お子さんの年齢と性別について、それぞれお答えください。 (〇は1つずつ)

#### ■問19 子どもの年齢

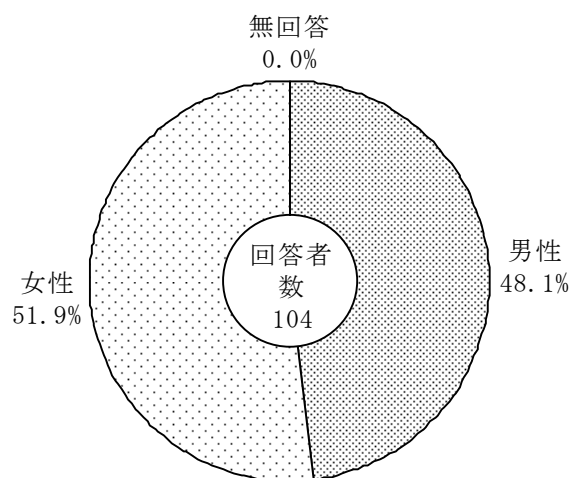


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	—
回答者数	112	100.0
乳幼児 (0~2歳)	21	18.8
就学前 (3~5歳)	15	13.4
小学生 (低学年)	21	18.8
小学生 (高学年)	24	21.4
中学生	31	27.7
無回答	570	—

※構成比 (%) = 集計値 (回答数) / [全体 (682) - 無回答 (570)]

中学生以下の子どもがいる回答者に聞いた結果、子どもの年齢については、「乳幼児 (0~2歳)」(18.8%)、「就学前 (3~5歳)」(13.4%)、「小学生 (低学年)」(18.8%)、「小学生 (高学年)」(21.4%)、「中学生」(27.7%)となっている。

■問19 子どもの性別



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	682	—
回答者数	104	100.0
男性	50	48.1
女性	54	51.9
無回答	578	—

※構成比 (%) = 集計値 (回答数) / [全体 (682) - 無回答 (578)]

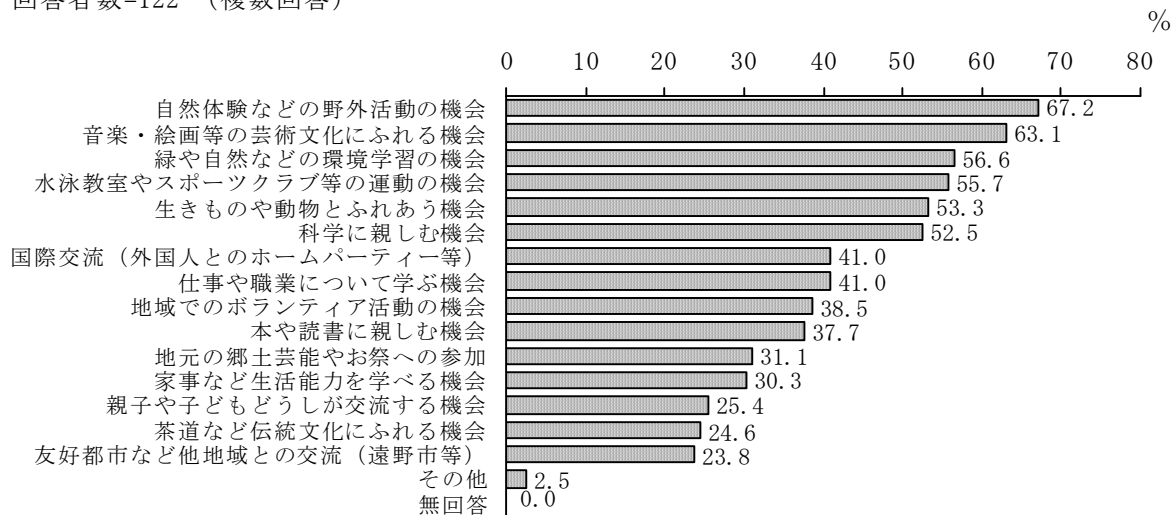
中学生以下の子どもがいる回答者に聞いた結果、子どもの性別については、「女性」(51.9%)、「男性」(48.1%)となっている。

## (2) 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会

問20 お子さんにとってあると良いと思う生涯学習の機会についてうかがいます。  
**(あてはまるものすべてに○)**

### ■問20 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会

回答者数=122 (複数回答)



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	—
回答者数	122	100.0
自然体験などの野外活動の機会	82	67.2
音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会	77	63.1
緑や自然などの環境学習の機会	69	56.6
水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会	68	55.7
生きものや動物とふれあう機会	65	53.3
科学に親しむ機会	64	52.5
国際交流 (外国人とのホームパーティー等)	50	41.0
仕事や職業について学ぶ機会	50	41.0
地域でのボランティア活動の機会	47	38.5
本や読書に親しむ機会	46	37.7
地元の郷土芸能やお祭への参加	38	31.1
家事など生活能力を学べる機会	37	30.3
親子や子どもどうしが交流する機会	31	25.4
茶道など伝統文化にふれる機会	30	24.6
友好都市など他地域との交流 (遠野市等)	29	23.8
その他	3	2.5
無回答	560	—

※構成比 (%) = 集計値 (回答数) / [全体 (682) - 無回答 (560)]

子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会については、6割台から2割台で幅広いニーズがあることがうかがえる。

6割を超えるものは、「自然体験などの野外活動の機会」(67.2%)と「音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会」(63.1%)である。5割を超えるものは、「緑や自然などの環境学習の機会」(56.6%)や「水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会」(55.7%)、「生きものや動物とふれあう機会」(53.3%)、「科学に親しむ機会」(52.5%)があげられる。4割を超えるものは、「国際交流」(41.0%)や「仕事や職業について学ぶ機会」(41.0%)である。

■問20 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会×問19 子どもの年齢

問20. 子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会 【複数回答】 上段：集計値 下段：構成比(%)

		音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会	茶道など伝統文化にふれる機会	緑や自然などの環境学習の機会	科学に親しむ機会	自然体験などの野外活動の機会	生きものや動物とふれあう機会	本や読書に親しむ機会	水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会	地元の郷土芸能やお祭への参加	地域でのボランティア活動の機会	国際交流（外国人とのホームパーティー等）	友好都市など他地域との交流（遠野市等）	仕事や職業について学ぶ機会	親子や子どもどうしが交流する機会	家事など生活能力を学べる機会
全体		77 63.1%	30 24.6%	69 56.6%	64 52.5%	82 67.2%	65 53.3%	46 37.7%	68 55.7%	38 31.1%	47 38.5%	50 41.0%	29 23.8%	50 41.0%	31 25.4%	37 30.3%
子どもの年齢	乳幼児（0～2歳）	15 71.4%	4 19.0%	15 71.4%	6 28.6%	17 81.0%	15 71.4%	11 52.4%	16 76.2%	8 38.1%	6 28.6%	10 47.6%	5 23.8%	5 23.8%	15 71.4%	4 19.0%
	就学前（3～5歳）	9 60.0%	6 40.0%	9 60.0%	10 66.7%	12 80.0%	9 60.0%	5 33.3%	10 66.7%	10 66.7%	9 60.0%	9 60.0%	5 33.3%	5 40.0%	6 13.3%	3 20.0%
	小学生（低学年）	13 61.9%	5 23.8%	13 61.9%	13 61.9%	18 85.7%	13 61.9%	3 14.3%	12 57.1%	7 33.3%	7 33.3%	9 42.9%	4 19.0%	9 42.9%	5 23.8%	8 38.1%
	小学生（高学年）	14 58.3%	9 37.5%	15 62.5%	13 54.2%	18 75.0%	13 54.2%	13 54.2%	13 54.2%	6 25.0%	8 33.3%	7 29.2%	7 29.2%	12 50.0%	4 16.7%	11 45.8%
	中学生	21 70.0%	5 16.7%	12 40.0%	18 60.0%	15 50.0%	12 40.0%	10 33.3%	16 53.3%	6 20.0%	14 46.7%	11 36.7%	6 20.0%	17 56.7%	5 16.7%	9 30.0%
	無回答	5 45.5%	1 9.1%	5 45.5%	4 36.4%	2 18.2%	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	4 36.4%	2 18.2%	1 9.1%	-	2 18.2%

		その他	無回答	全体
全体		3 2.5%	-	122 100.0%
子どもの年齢	乳幼児（0～2歳）	-	-	21 100.0%
	就学前（3～5歳）	-	-	15 100.0%
	小学生（低学年）	1 4.8%	-	21 100.0%
	小学生（高学年）	1 4.2%	-	24 100.0%
	中学生	1 3.3%	-	30 100.0%
	無回答	-	-	11 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

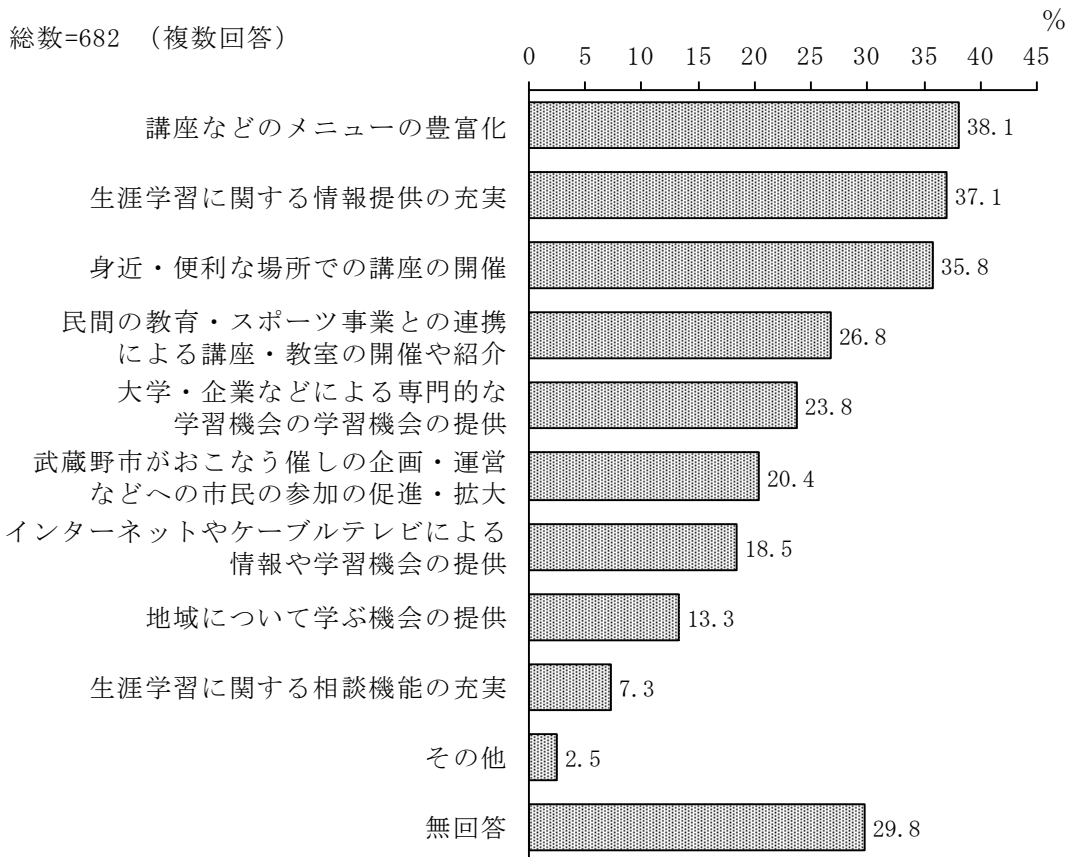
子どもにとってあると良いと思う生涯学習の機会を子どもの年齢別でみると、就学前までと小学生では、「自然体験などの野外活動の機会」の割合が最も高く、中学生になると「音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会」の割合が高いことがみてとれる。

## 5 市に望む取組

### (1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組

問21 今後、生涯学習に関する活動を活発にするために、市にどのような取組を望みますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

#### ■問21 生涯学習を活発にするために市に望む取組



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	682	100.0
講座などのメニューの豊富化	260	38.1
生涯学習に関する情報提供の充実	253	37.1
身近・便利な場所での講座の開催	244	35.8
民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	183	26.8
大学・企業などによる専門的な学習機会の学習機会の提供	162	23.8
武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大	139	20.4
インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供	126	18.5
地域について学ぶ機会の提供	91	13.3
生涯学習に関する相談機能の充実	50	7.3
その他	17	2.5
無回答	203	29.8

生涯学習を活発にするために市が取り組むべきことについては、3割台から1割台で幅広いニーズがあることがうかがえる。

3割台のものは、「講座などのメニューの豊富化」(38.1%)と「生涯学習に関する情報提供の充実」(37.1%)、「身近・便利な場所での講座の開催」(35.8%)があげられる。

2割台のものは、「民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介」(26.8%)、「大学・企業などによる専門的な学習機会の提供」(23.8%)、「武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大」(20.4%)で、1割台のものは、「インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供」(18.5%)である。

また、選択肢の項目を【講座の内容】【情報】【民間や大学等の学習の機会】【場所】【地域】の視点から分類整理してみると、【講座の内容】に関することは、「講座などのメニューの豊富化」(38.1%)と「武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大」(20.4%)があげられる。

【情報】に関しては、「生涯学習に関する情報提供の充実」(37.1%)と「インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供」(18.5%)である。

【民間や大学等の学習機会】に関することでは、「民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介」(26.8%)と「大学・企業などによる専門的な学習機会の学習機会の提供」(23.8%)があげられる。

【場所】に関することでは、「身近・便利な場所での講座の開催」(35.8%)、【地域】に関することは、「地域について学ぶ機会」(13.3%)である。



■問21 生涯学習を活発にするために市に望む取組×F1 年齢

問21. 生涯学習を活発にするために市に望む取組 【複数回答】 上段：集計値 下段：構成比（%）

		講座などのメニューの豊富化	地域について学ぶ機会の提供	身近・便利な場所での講座の開催	大学・企業などによる専門的な学習機会の提供	民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大	インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供	生涯学習に関する情報提供の充実	生涯学習に関する相談機能の充実	その他	無回答	全体
全体		260 38.1%	91 13.3%	244 35.8%	162 23.8%	183 26.8%	139 20.4%	126 18.5%	253 37.1%	50 7.3%	17 2.5%	203 29.8%	682 100.0%
年齢	16歳～19歳	13 26.5%	1 2.0%	16 32.7%	12 24.5%	10 20.4%	10 20.4%	9 18.4%	14 28.6%	4 8.2%	1 2.0%	18 36.7%	49 100.0%
	20歳～29歳	22 37.9%	8 13.8%	19 32.8%	10 17.2%	13 22.4%	12 20.7%	18 31.0%	21 36.2%	2 3.4%	-	13 22.4%	58 100.0%
	30歳～39歳	36 39.6%	11 12.1%	33 36.3%	29 31.9%	29 31.9%	14 15.4%	30 33.0%	48 52.7%	6 6.6%	5 5.5%	17 18.7%	91 100.0%
	40歳～49歳	50 46.7%	4 3.7%	45 42.1%	35 32.7%	43 40.2%	25 23.4%	23 21.5%	43 40.2%	5 4.7%	1 0.9%	17 15.9%	107 100.0%
	50歳～59歳	53 46.1%	26 22.6%	44 38.3%	34 29.6%	34 29.6%	24 20.9%	21 18.3%	45 39.1%	10 8.7%	5 4.3%	29 25.2%	115 100.0%
	60歳～69歳	38 32.8%	20 17.2%	39 33.6%	22 19.0%	29 25.0%	27 23.3%	14 12.1%	41 35.3%	9 7.8%	-	48 41.4%	116 100.0%
	70歳～79歳	35 37.6%	15 16.1%	38 40.9%	13 14.0%	19 20.4%	20 21.5%	9 9.7%	29 31.2%	11 11.8%	1 1.1%	37 39.8%	93 100.0%
	80歳以上	12 23.1%	6 11.5%	9 17.3%	6 11.5%	6 11.5%	6 11.5%	2 3.8%	11 21.2%	3 5.8%	4 7.7%	24 46.2%	52 100.0%
	無回答	1 100.0%	-	1 100.0%	1 100.0%	-	1 100.0%	-	1 100.0%	-	-	-	1 100.0%

※無回答を除く各年齢層の回答の上位3つを網掛けで表示。

生涯学習を活発にするために市が取り組むべきことを年齢別でみると、「講座などのメニューの豊富化」や「生涯学習に関する情報提供の充実」、「身近・便利な場所での講座の開催」がどの年代でも割合が高い。

「30歳～39歳」では、「生涯学習に関する情報提供の充実」が5割を超えており、全体の各年代と比較しても一番高い割合を占めている。

40歳代から50歳代では、「講座などのメニューの豊富化」の割合が高くなっている。



### Ⅲ 団体の調査結果



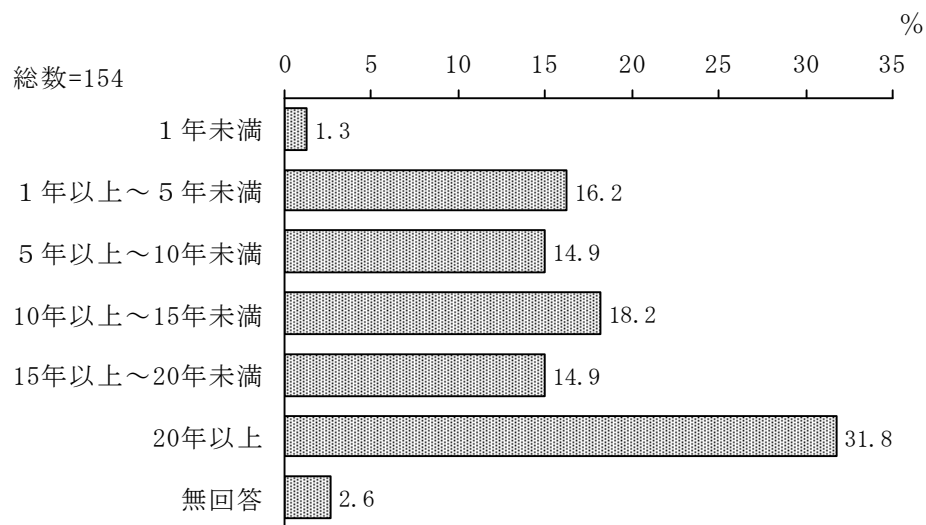
### Ⅲ 団体の調査結果

#### 1 団体の属性

##### (1) 活動年数

F 1 あなたが所属している団体の活動年数をお答えください。 **(〇は1つだけ)**  
[平成21年1月1日現在]

■ F 1 活動年数



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
1年未満	2	1.3
1年以上～5年未満	25	16.2
5年以上～10年未満	23	14.9
10年以上～15年未満	28	18.2
15年以上～20年未満	23	14.9
20年以上	49	31.8
無回答	4	2.6

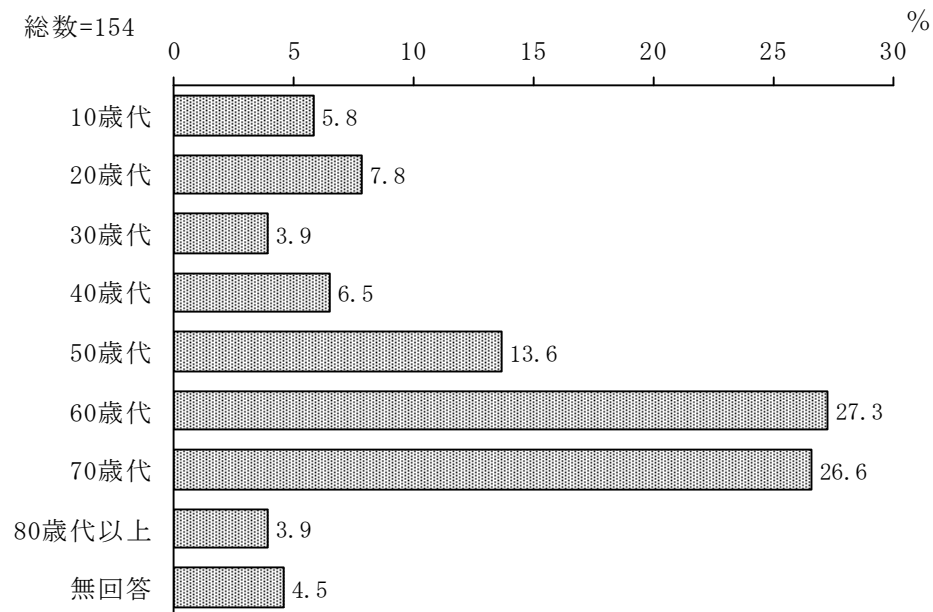
回答した団体の活動年数については、「20年以上」（31.8%）が最も割合が高く、「1年未満」（1.3%）の団体は、1割台で最も低い割合である。

これら以外の1年以上から20年未満の団体は、1割以上から2割未満の割合でほぼ同じような傾向であり、幅広い活動年数の団体が存在していることがうかがえる。

## (2) 会員の多い年代

F2 あなたが所属している団体の会員には、おおよそどの年代の方が多ですか。 (○は1つだけ)

■ F2 会員の多い年代



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
10歳代	9	5.8
20歳代	12	7.8
30歳代	6	3.9
40歳代	10	6.5
50歳代	21	13.6
60歳代	42	27.3
70歳代	41	26.6
80歳代以上	6	3.9
無回答	7	4.5

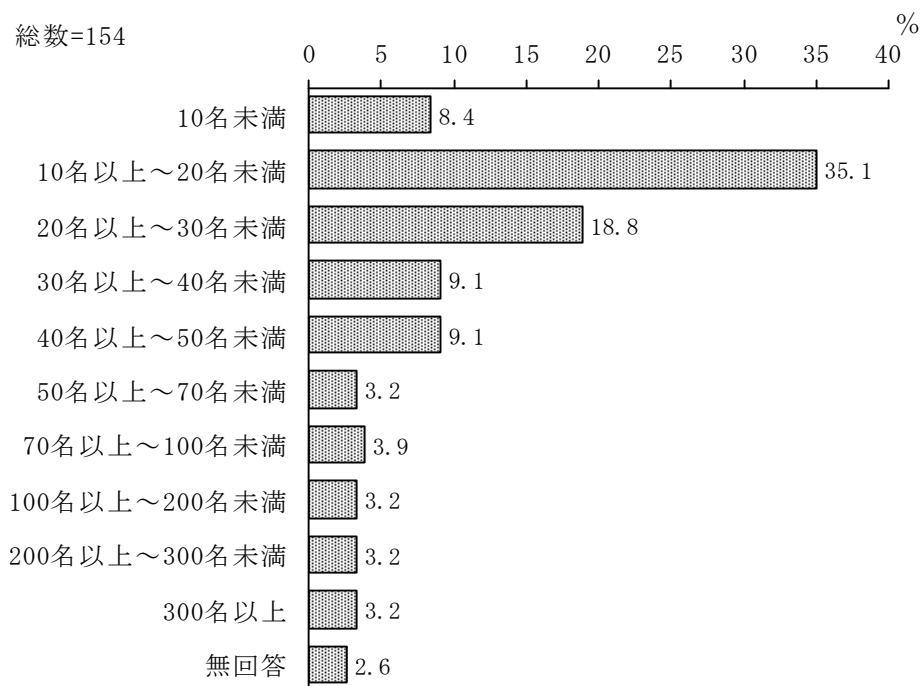
団体の会員の年代は、「60歳代」(27.3%)が最も割合が高く、「70歳代」(26.6%)を合すると53.9%と5割以上を占めており、年代が高い傾向がみてとれる。

また、「10歳代」から「40歳代」は、いずれも1割未満であり、「50歳代」(13.6%)では約2倍になっている。さらに、「60歳代」(27.3%)や「70歳代」(26.6%)は、「50歳代」(13.6%)の約2倍の割合となっていることが分かる。

### (3) 会員数

F3 あなたが所属している団体の会員数は、現在、次のうちどのくらいですか。 (○は1つだけ)

#### ■ F3 会員数



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
10名未満	13	8.4
10名以上～20名未満	54	35.1
20名以上～30名未満	29	18.8
30名以上～40名未満	14	9.1
40名以上～50名未満	14	9.1
50名以上～70名未満	5	3.2
70名以上～100名未満	6	3.9
100名以上～200名未満	5	3.2
200名以上～300名未満	5	3.2
300名以上	5	3.2
無回答	4	2.6

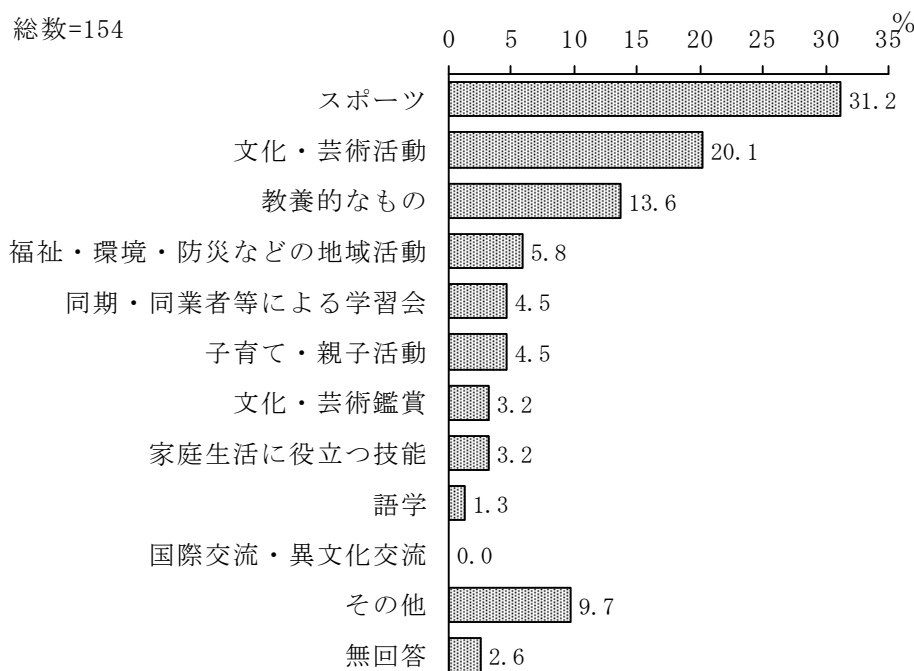
団体の会員数は、「10名以上～20名未満」(35.1%)が最も高い割合となっている。次に高い「20名以上～30名未満」(18.8%)は、一番高い「10名以上～20名未満」のほぼ1/2の割合となっている。さらに、「10名未満」(8.4%)や「30名以上～40名未満」(9.1%)、「40名以上～50名未満」(9.1%)の割合は、「20名以上～30名未満」のほぼ1/2の割合となっている。

また、10名未満から30名未満の割合を合すると6割以上あることがみてとれる。一方で、100名以上の大規模な会員数は、100名以上から300名以上を合しても1割未満であることが分かる。

#### (4) 活動テーマ

F 4 あなたが所属する団体は、次のように分類した場合、最も多く活動をしているテーマ(分野)はなんですか。 (〇は1つだけ)

##### ■ F 4 活動テーマ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
スポーツ	48	31.2
文化・芸術活動	31	20.1
教養的なもの	21	13.6
福祉・環境・防災などの地域活動	9	5.8
同期・同業者等による学習会	7	4.5
子育て・親子活動	7	4.5
文化・芸術鑑賞	5	3.2
家庭生活に役立つ技能	5	3.2
語学	2	1.3
国際交流・異文化交流	0	0.0
その他	15	9.7
無回答	4	2.6

団体の活動しているテーマは、「スポーツ」(31.2%)が最も高い割合を示しており、次に高いのは、「文化・芸術活動」(20.1%)や「教養的なもの」(13.6%)であり、これら3つで6割を超えていることが分かる。

これら以外でも「その他」(9.7%)が1割弱あることや、「福祉・環境・防災・などの地域活動」(5.8%)、「同期・同業者等による学習会」(4.5%)、「子育て・親子活動」(4.5%)、「文化・芸術鑑賞」(3.2%)、「家庭生活に役立つ技能」(3.2%)、「語学」(1.3%)など幅広いテーマで活動していることがみてとれる。

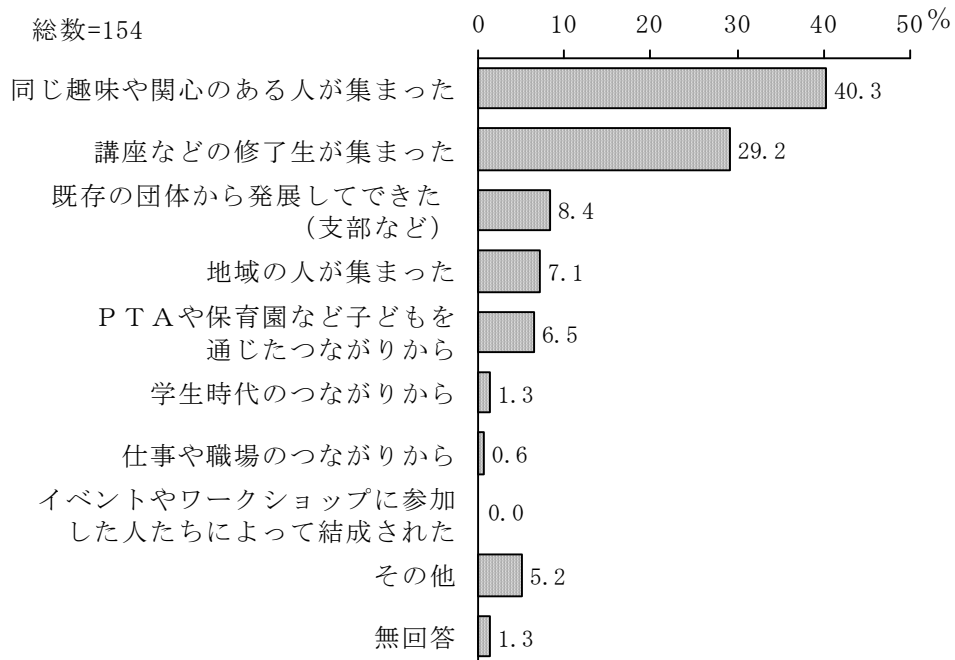


## 2 現状

### (1) 団体ができたきっかけ

問1 あなたが所属する団体ができたきっかけは何ですか。 (○は1つだけ)

#### ■問1 団体ができたきっかけ



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
同じ趣味や関心のある人が集まった	62	40.3
講座などの修了生が集まった	45	29.2
既存の団体から発展してできた (支部など)	13	8.4
地域の人が集まった	11	7.1
P T Aや保育園など子どもを通じたつながりから	10	6.5
学生時代のつながりから	2	1.3
仕事や職場のつながりから	1	0.6
イベントやワークショップに参加した人たちによって結成された	0	0.0
その他	8	5.2
無回答	2	1.3

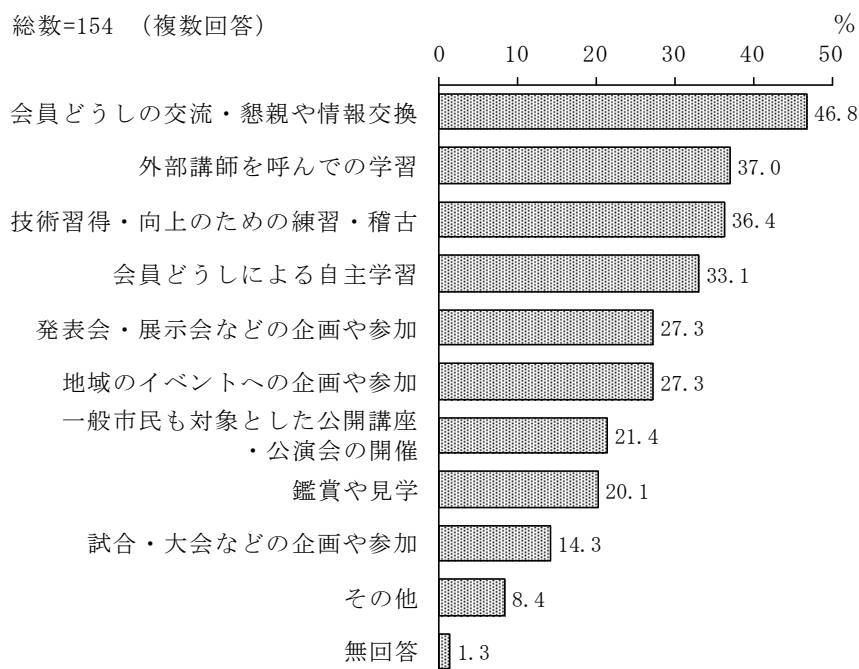
団体ができたきっかけは、「同じ趣味や関心のある人が集まった」(40.3%)が最も高い割合を占めている。次に割合の高い「講座などの修了生が集まった」(29.2%)を合すると69.5%となることから、全体の7割弱が共通のテーマや関心のもとに集まることをきっかけとしていることが分かる。

一方で、地域や子どもをつうじて集まることをきっかけとする割合は、「地域の人が集まった」(7.1%)と「PTAや保育園など子どもを通じたつながりから」(6.5%)を合すると13.6%となっている。「その他」(5.2%)も含め、多様なきっかけがあることがうかがえる。

## (2) 活動形態や活動方法

問2 あなたが所属する団体は、現在、主にどのような形態や方法で活動をおこなっていますか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

### ■問2 活動形態や活動方法



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
会員どうしの交流・懇親や情報交換	72	46.8
外部講師を呼んでの学習	57	37.0
技術習得・向上のための練習・稽古	56	36.4
会員どうしによる自主学習	51	33.1
発表会・展示会などの企画や参加	42	27.3
地域のイベントへの企画や参加	42	27.3
一般市民も対象とした公開講座 ・公演会の開催	33	21.4
鑑賞や見学	31	20.1
試合・大会などの企画や参加	22	14.3
その他	13	8.4
無回答	2	1.3

団体の活動形態や活動方法は、「会員どうしの交流・懇親や情報交換」(46.8%)が最も高く、4割以上を占めており、これ以外にも3割台、2割台と幅広い活動形態や方法があることがみてとれる。

3割台のものは、「外部講師を呼んでの学習」(37.0%)と「技術習得・向上のための練習・稽古」(36.4%)、「会員どうしによる自主学習」(33.1%)である。

2割台のものは、「発表会・展示会などの企画や参加」(27.3%)と「地域のイベントへの企画や参加」(27.3%)、「一般市民も対象とした公開講座・講演会の開催」(21.4%)、「鑑賞や見学」(20.1%)である。

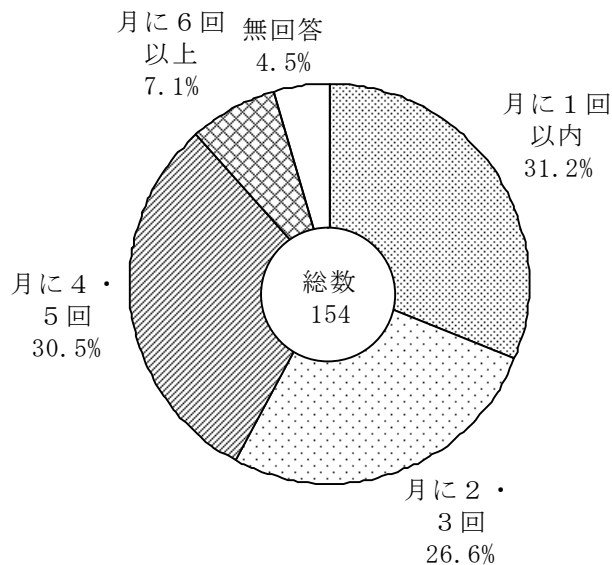
1割台のものは、「試合・大会などの企画や参加」(14.3%)である。

### (3) 活動の頻度・時間帯・場所

問3 あなたが所属する団体は、下記の活動について、それぞれどのような場所で、どのくらい活動をおこなっていますか。 (〇はそれぞれ1つつ)

#### ①日常的な活動（練習、イベントの準備など）「頻度」

##### ■問3① 日常的な活動（練習、イベントの準備など）「頻度」



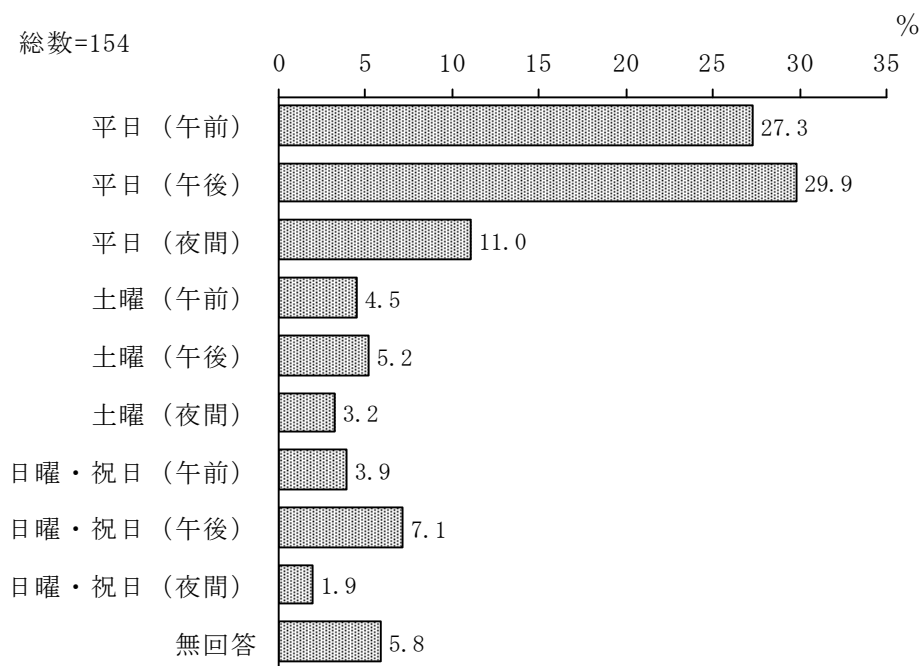
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
月に1回以内	48	31.2
月に2・3回	41	26.6
月に4・5回	47	30.5
月に6回以上	11	7.1
無回答	7	4.5

練習、イベントの準備などの日常的な活動頻度は、「月に1回以内」(31.2%)が一番高い割合を占めている。

また、週に1回程度は活動をおこなっていると思われる「月に4・5回」(30.5%)と「月に6回以上」(7.1%)を合わせると3割以上の団体があり、さらに隔週以上の頻度で活動をおこなっていると思われる「月に2・3回」(26.6%)を加えると6割以上の団体があることがみてとれる。

①日常的な活動（練習、イベントの準備など）「時間帯」

■問3① 日常的な活動（練習、イベントの準備など）「時間帯」



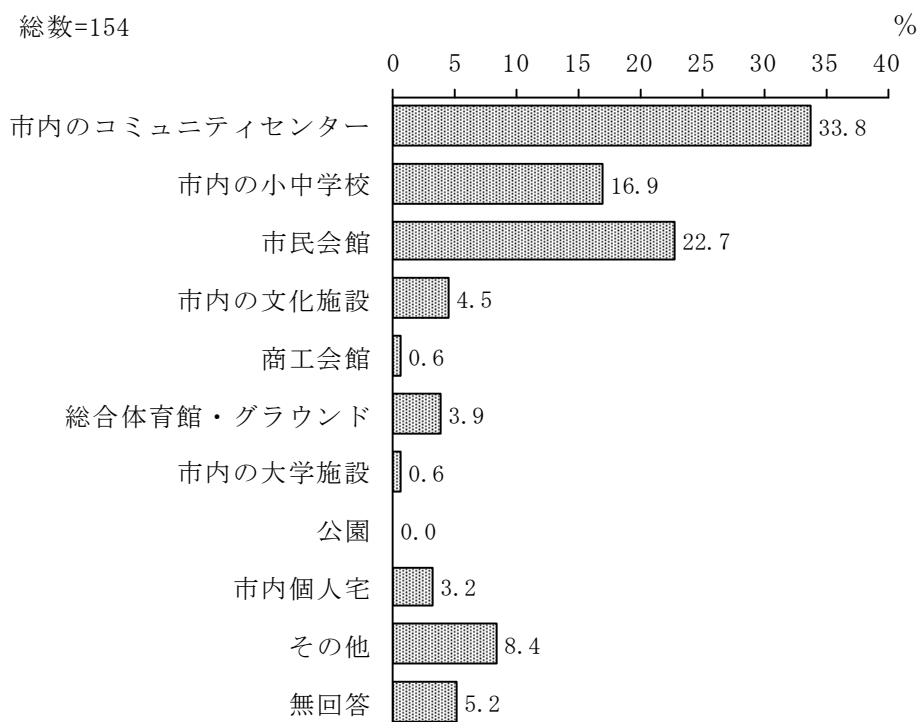
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
平日 (午前)	42	27.3
平日 (午後)	46	29.9
平日 (夜間)	17	11.0
土曜 (午前)	7	4.5
土曜 (午後)	8	5.2
土曜 (夜間)	5	3.2
日曜・祝日 (午前)	6	3.9
日曜・祝日 (午後)	11	7.1
日曜・祝日 (夜間)	3	1.9
無回答	9	5.8

練習、イベントの準備などの日常的な活動時間帯は、曜日別で見ると、平日の「午前」(27.3%)、「午後」(29.9%)、「夜間」(11.0%)のこれら3つで68.2%となり、全体の7割弱が平日に活動していることがみてとれる。土曜日の「午前」(4.5%)、「午後」(5.2%)、「夜間」(3.2%)と日曜日・祝日の「午前」(3.9%)、「午後」(7.1%)、「夜間」(1.9%)は、いずれの曜日も3つの時間帯を合わせると12.9%となっている。

さらに、時間帯別で見ると、平日、土曜日、日曜日・祝日のどの曜日でも午後の時間帯の活動が高いことが分かる。その一方で、いずれの曜日も夜間の時間帯の活動が低いことが分かる。

①日常的な活動（練習、イベントの準備など）「場所」

■①日常的な活動（練習、イベントの準備など）「場所」



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
市内のコミュニティセンター	52	33.8
市内の小中学校	26	16.9
市民会館	35	22.7
市内の文化施設	7	4.5
商工会館	1	0.6
総合体育館・グラウンド	6	3.9
市内の大学施設	1	0.6
公園	0	0.0
市内個人宅	5	3.2
その他	13	8.4
無回答	8	5.2

練習、イベントの準備などの日常的な活動場所は、地域に身近にある「市内のコミュニティセンター」(33.8%)が3割を超えて最も高い割合を占めているほか、3割台から1割未満まで幅広い場所で活動をおこなっていることがうかがえる。

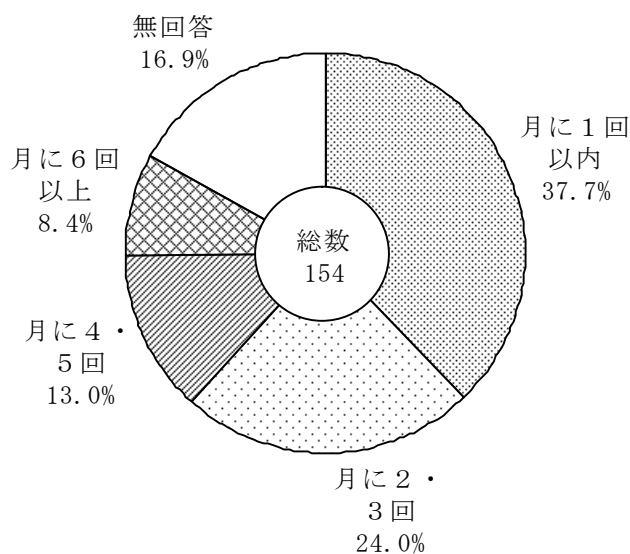
2割台のものは、「市民会館」(22.7%)であり、1割台のものは、「市内の小中学校」(16.9%)である。

1割未満のものは、「その他」(8.4%)、「市内の文化施設」(4.5%)、「総合体育館・グラウンド」(3.9%)、「市内個人宅」(3.2%)があげられる。

そのうち、「市内のコミュニティセンター」(33.8%)や「市内の小中学校」(16.9%)は、利用頻度が高く、地域ごとの活動拠点が利用されていることがうかがえる。

②イベント的な活動（発表会・大会など）「頻度」

■②イベント的な活動（発表会・大会など）「頻度」



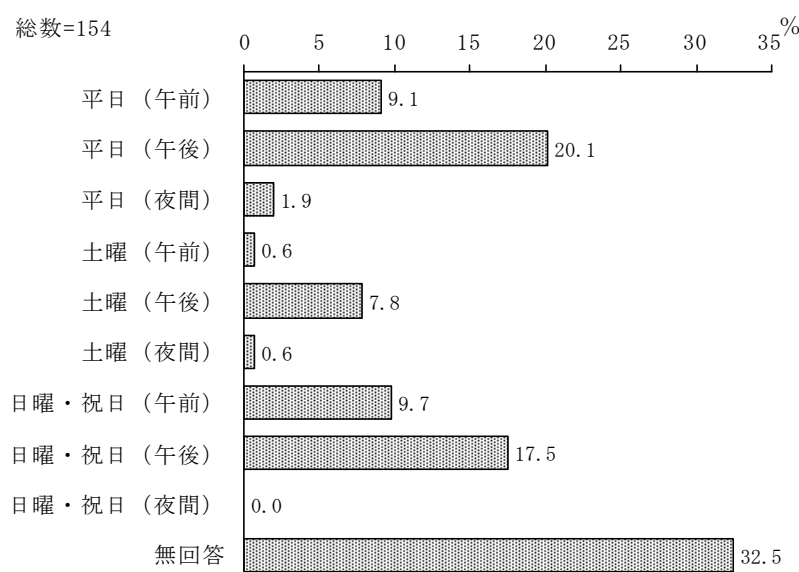
項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
月に1回以内	58	37.7
月に2・3回	37	24.0
月に4・5回	20	13.0
月に6回以上	13	8.4
無回答	26	16.9

発表会、大会などのイベント的な活動頻度は、「月に1回以内」（37.7%）が一番高い割合を占めている。

また、週に1回程度は活動をおこなっていると思われる「月に4・5回」（13.0%）と「月に6回以上」（8.4%）を合すると2割以上の団体があり、さらに隔週以上の頻度で活動をおこなっていると思われる「月に2・3回」（24.0%）を加えると4割以上の団体があることがみてとれる。

②イベント的な活動（発表会・大会など）「時間帯」

■②イベント的な活動（発表会・大会など）「時間帯」



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
平日 (午前)	14	9.1
平日 (午後)	31	20.1
平日 (夜間)	3	1.9
土曜 (午前)	1	0.6
土曜 (午後)	12	7.8
土曜 (夜間)	1	0.6
日曜・祝日 (午前)	15	9.7
日曜・祝日 (午後)	27	17.5
日曜・祝日 (夜間)	0	0.0
無回答	50	32.5

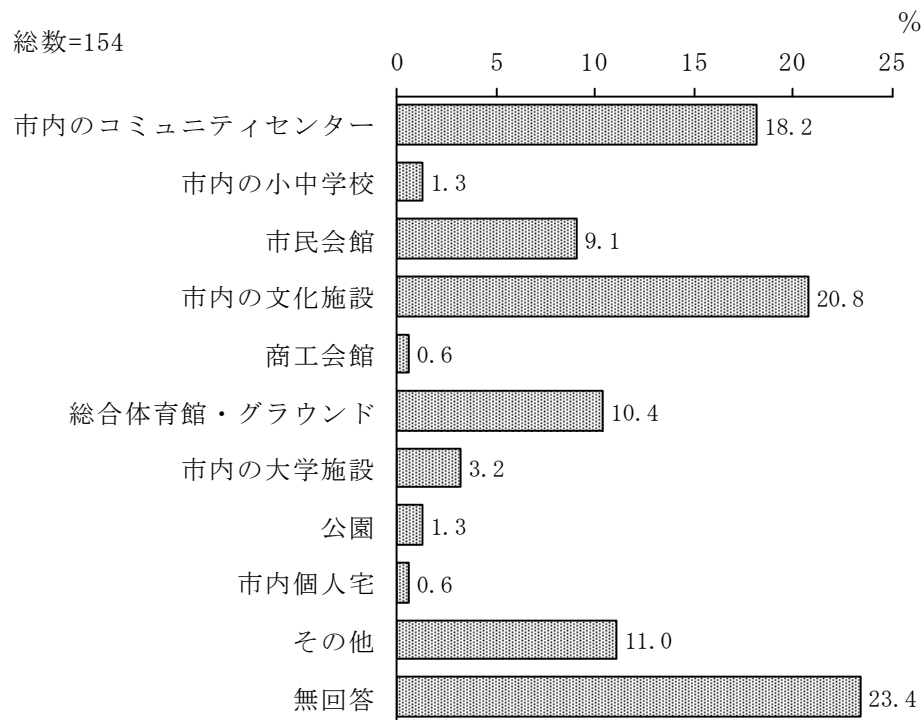
発表会、大会などのイベント的な活動時間帯は、曜日別で見ると、平日の「午前」(9.1%)、「午後」(20.1%)、「夜間」(1.9%)のこれら3つで31.1%となることから、3割以上が平日に活動していることがみてとれる。日曜日・祝日は、「午前」(9.7%)、「午後」(17.5%)、「夜間」(0.0%)の時間帯を合すると27.2%となることから、全体の3割弱を占めており、平日と同じくらいの活動をおこなっていることがうかがえる。土曜日は、「午前」(0.6%)、「午後」(7.8%)、「夜間」(0.6%)の時間帯を合すると9%で全体の1割弱であることがみてとれる。

問3①の日常的な活動（練習、イベント準備など）の曜日別と比べると、発表会、大会などのイベント的な活動は、日曜日・祝日の時間帯の割合がより高くなっている。

さらに、時間帯別で見ると、平日、土曜日、日曜日・祝日のどの曜日でも午後の時間帯の活動が高いことが分かる。その一方で、いずれの曜日でも夜間の時間帯の活動が低いことが分かる。

②イベント的な活動（発表会・大会など）「場所」

■②イベント的な活動（発表会・大会など）「場所」



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
市内のコミュニティセンター	28	18.2
市内の小中学校	2	1.3
市民会館	14	9.1
市内の文化施設	32	20.8
商工会館	1	0.6
総合体育館・グラウンド	16	10.4
市内の大学施設	5	3.2
公園	2	1.3
市内個人宅	1	0.6
その他	17	11.0
無回答	36	23.4

発表会・大会などのイベント的な活動場所は、「市内の文化施設」（20.8%）が2割を超えて最も高い利用頻度であり、そのほか幅広い場所で活動がおこなわれていることがうかがえる。

1割台のものは、「市内のコミュニティセンター」（18.2%）、「その他」（11.0%）、「総合体育館・グラウンド」（10.4%）である。

1割未満のものは、「市民会館」（9.1%）、「市内の大学施設」（3.2%）、「市内の小中学校」（1.3%）、「公園」（1.3%）、「商工会館」（0.6%）、「市内個人宅」（0.6%）があげられる。

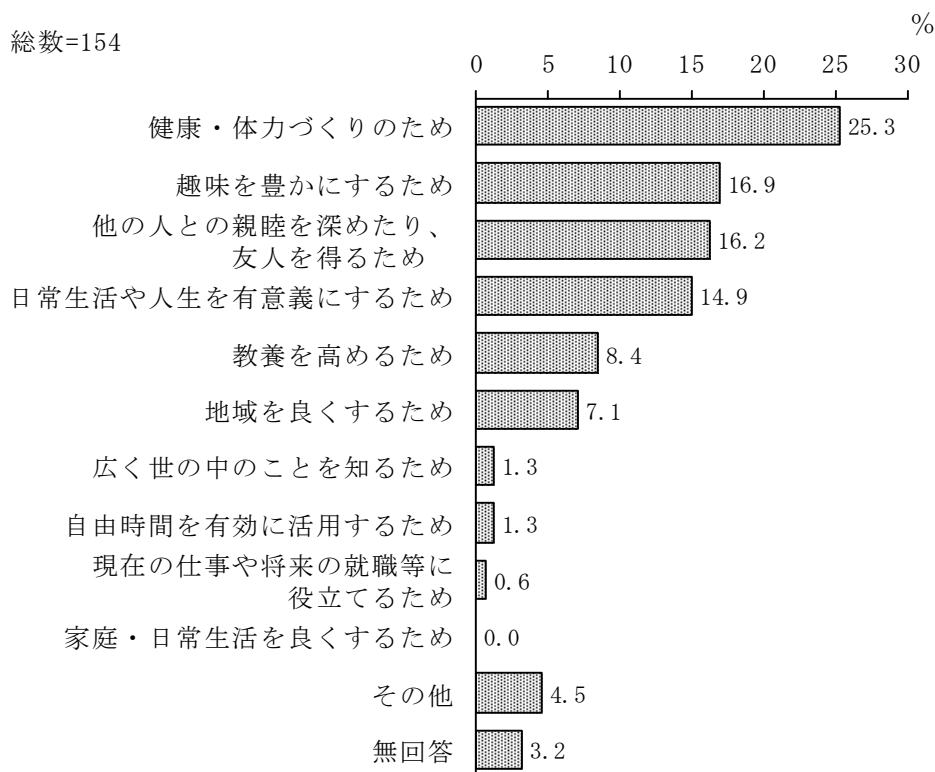
問3①の日常的な活動（練習、イベントなど）の場所と比べると、日常的な活動（練習、イベント準備など）では、「市内のコミュニティセンター」（33.8%）が最も高い割合であるが、イベント的な活動（発表会・大会など）では、「市内の文化施設」（20.8%）が最も割合が高く、よく利用されていることが分かる。



#### (4) 生涯学習をしている一番の目的

問4 あなたが所属している団体が、生涯学習をしている一番の目的は何ですか。 (○は1つだけ)

##### ■問4 生涯学習をしている一番の目的



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
健康・体力づくりのため	39	25.3
趣味を豊かにするため	26	16.9
他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	25	16.2
日常生活や人生を有意義にするため	23	14.9
教養を高めるため	13	8.4
地域を良くするため	11	7.1
広く世の中のことを知るため	2	1.3
自由時間を有効に活用するため	2	1.3
現在の仕事や将来の就職等に役立てるため	1	0.6
家庭・日常生活を良くするため	-	-
その他	7	4.5
無回答	5	3.2

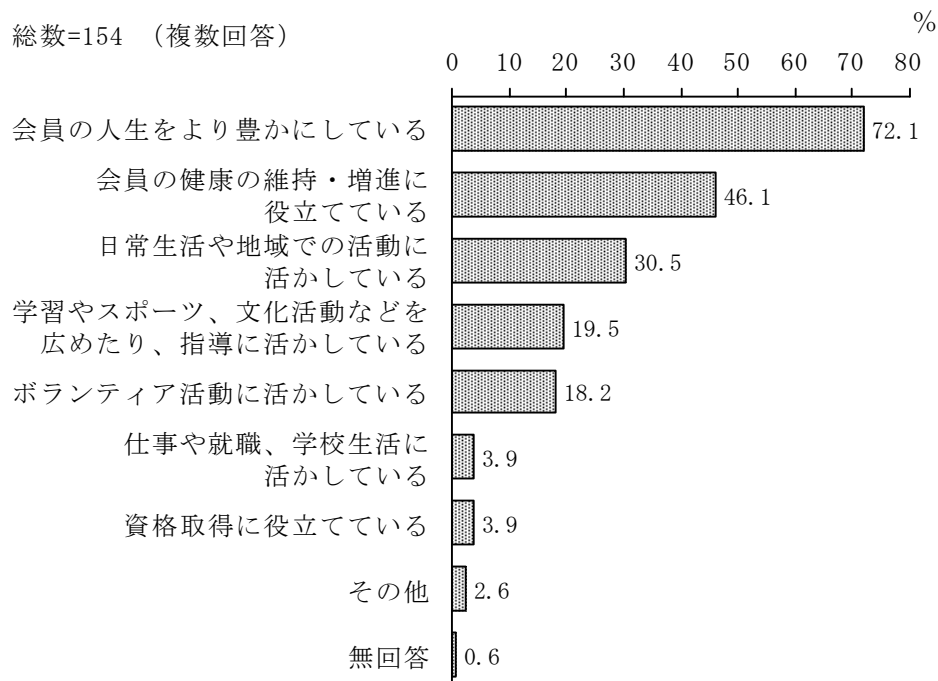
生涯学習をしている一番の目的は、「健康・体力づくりのため」(25.3%)、「趣味を豊かにするため」(16.9%)、「日常生活や人生を有意義にするため」(14.9%)、「教養を高めるため」(8.4%) など会員個人の人生や暮らしを充実していくことが高い傾向であることが分かる。

一方で、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」(16.2%) や「地域を良くするため」(7.1%) のように仲間づくりや地域貢献などへの関心もみてとれる。

## (5) 活動成果などの活かし方

問5 あなたが所属する団体は、生涯学習をつうじて身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。 **(あてはまるものすべてに○)**

### ■問5 活動成果などの活かし方



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
会員の人生をより豊かにしている	111	72.1
会員の健康の維持・増進に役立っている	71	46.1
日常生活や地域での活動に活かしている	47	30.5
学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしている	30	19.5
ボランティア活動に活かしている	28	18.2
仕事や就職、学校生活に活かしている	6	3.9
資格取得に役立っている	6	3.9
その他	4	2.6
無回答	1	0.6

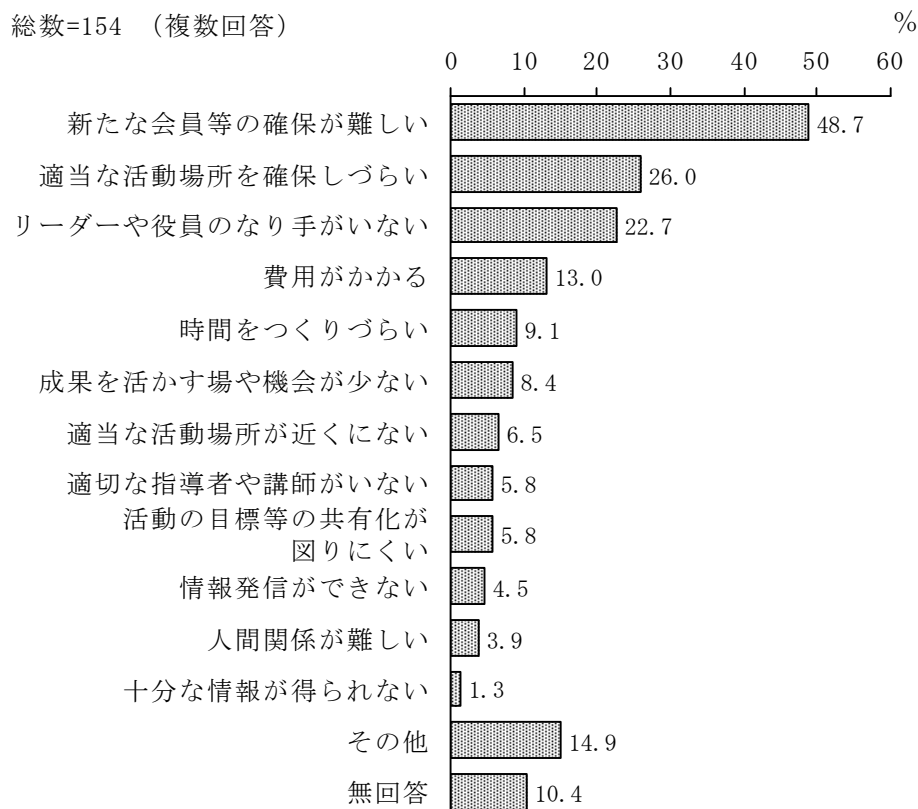
生涯学習をつうじて身につけたことや活動成果の活かし方について、「会員の人生をより豊かにしている」(72.1%) が最も高く、「会員の健康の維持・増進に役立っている」(46.1%) などを含め、会員個人の人生を充実したものとしていくために活動成果を活かす傾向が高いことがみてとれる。

また、「日常生活や地域での活動に活かしている」(30.5%) や「学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしている」(19.5%)、「ボランティア活動に活かしている」(18.2%) などのように、地域活動やボランティア活動をおこなったり、活動成果を指導や普及促進に活かすなど、直接会員自身ではなく、社会に働きかけることについても一定程度の割合があることがうかがえる。

## (6) 活動をおこなううえで困っていること

問6 あなたが所属している団体が、生涯学習に関する活動をおこなううえで困っていることはありますか。次のなかから、あてはまることを選びください。 **(あてはまるものすべてに○)**

### ■問6 活動をおこなううえで困っていること



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
新たな会員等の確保が難しい	75	48.7
適当な活動場所を確保しづらい	40	26.0
リーダーや役員のなり手がいない	35	22.7
費用がかかる	20	13.0
時間をつくりづらい	14	9.1
成果を活かす場や機会が少ない	13	8.4
適当な活動場所が近くにない	10	6.5
適切な指導者や講師がいない	9	5.8
活動の目標等の共有化が 図りにくい	9	5.8
情報発信ができない	7	4.5
人間関係が難しい	6	3.9
十分な情報が得られない	2	1.3
その他	23	14.9
無回答	16	10.4

生涯学習活動をおこなううえで困っていることは、「新たな会員等の確保が難しい」が48.7%と最も高く5割弱となっている。

これ以外の選択肢の項目を【人】【場所】【費用】【時間】【機会】【情報】の視点から分類整理してみると、【人】に関することは、「リーダーや役員のなり手がいない」(22.7%)、「適切な指導者や講師がいない」(5.8%)、「活動の目標等の共有化が図りにくい」(5.8%)、「人間関係が難しい」(3.9%)があげられる。

【場所】に関しては、「適当な活動場所を確保しづらい」(26.0%)と「適当な活動場所が近くにならない」(6.5%)である。

【費用】に関することでは、「費用がかかる」(13.0%)、【時間】に関することは、「時間をつくりづらい」(9.1%)、【機会】に関することは、「成果を活かす場や機会が少ない」(8.4%)があげられる。

【情報】に関することでは、「情報発信ができない」(4.5%)と「十分な情報が得られない」(1.3%)である。

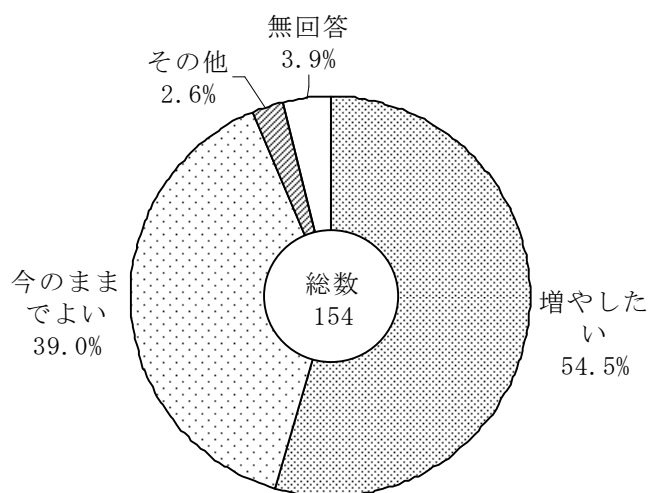
### 3 今後のニーズなど

#### (1) 今後の生涯学習に関する活動（会員数・活動の内容・活動の地域）

問7 あなたが所属している団体が、今後、生涯学習に関する活動をおこなううえで考えていることについて、次のなかから、それぞれあてはまることを選びください。 (〇はそれぞれ1つずつ)

##### ①団体の会員数

■問7 生涯学習活動をおこなううえで「①団体の会員数」

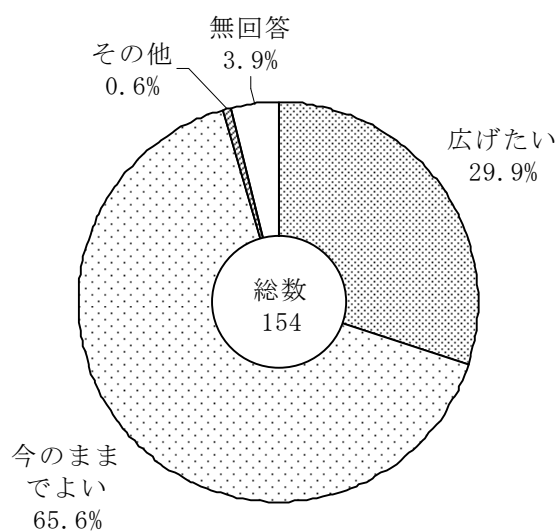


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
増やしたい	84	54.5
今のままでよい	60	39.0
その他	4	2.6
無回答	6	3.9

今後の団体の会員数については、「増やしたい」（54.5%）が全体の5割以上で、「今のままでよい」は、4割弱となっている。

②活動の内容（領域）

■問7 生涯学習活動をおこなううえで「②活動の内容（領域）」

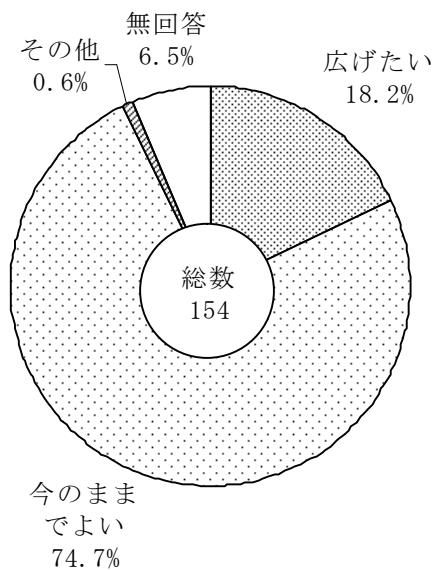


項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
広げたい	46	29.9
今のままでよい	101	65.6
その他	1	0.6
無回答	6	3.9

今後の団体の活動の内容（領域）について、「今のままでよい」（65.6%）が最も高く、全体の6割以上で、「広げたい」は、3割程度を占めている。

③活動の地域（エリア）

■問7 生涯学習活動をおこなううえで「③活動の地域（エリア）」



項目名	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
広げたい	28	18.2
今のままでよい	115	74.7
その他	1	0.6
無回答	10	6.5

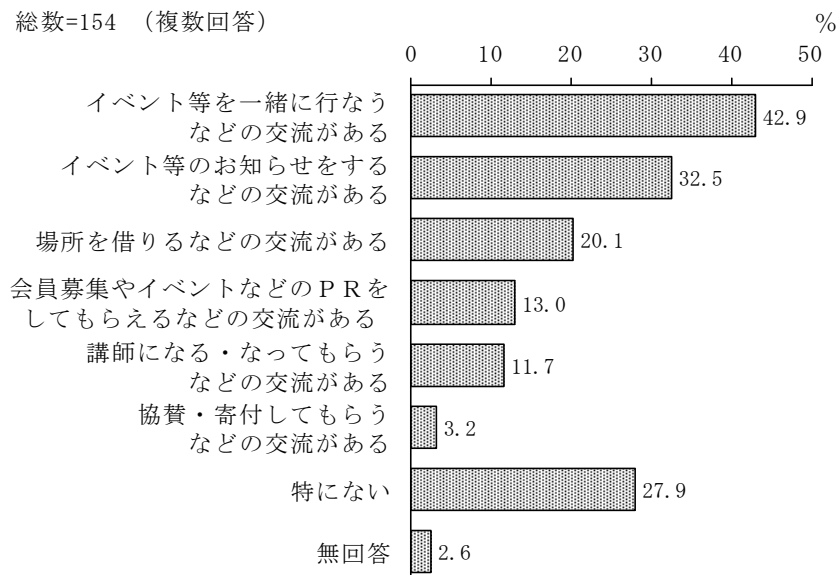
今後の団体の活動の地域（エリア）について、「今のままでよい」（74.7%）が最も高く、全体の7割以上で、「広げたい」は、2割弱となっている。

## (2) 地域の他の団体や個人との交流

問8 あなたが所属している団体は、地域の他の団体（他の社会教育団体、PTA、商店会など）や個人との交流がありますか。次のなかから、あてはまることをお選びください。  
**（あてはまるものすべてに○）**

### ■問8 地域の他の団体や個人との交流

総数=154（複数回答）



項目名 【6つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
イベント等と一緒に行動などの交流がある	66	42.9
イベント等のお知らせをするなどの交流がある	50	32.5
場所を借りるなどの交流がある	31	20.1
会員募集やイベントなどのPRをしてもらえるなどの交流がある	20	13.0
講師になる・なってもらなどの交流がある	18	11.7
協賛・寄付してもらなどの交流がある	5	3.2
特にない	43	27.9
無回答	4	2.6

現在の地域の他の団体や個人との交流について、「特にない」（27.9%）と「無回答」（2.6%）を除いた7割程度は地域との関わりがあることがみてとれる。また、「イベント等と一緒に行動などの交流がある」が42.9%と最も高い割合を示している。

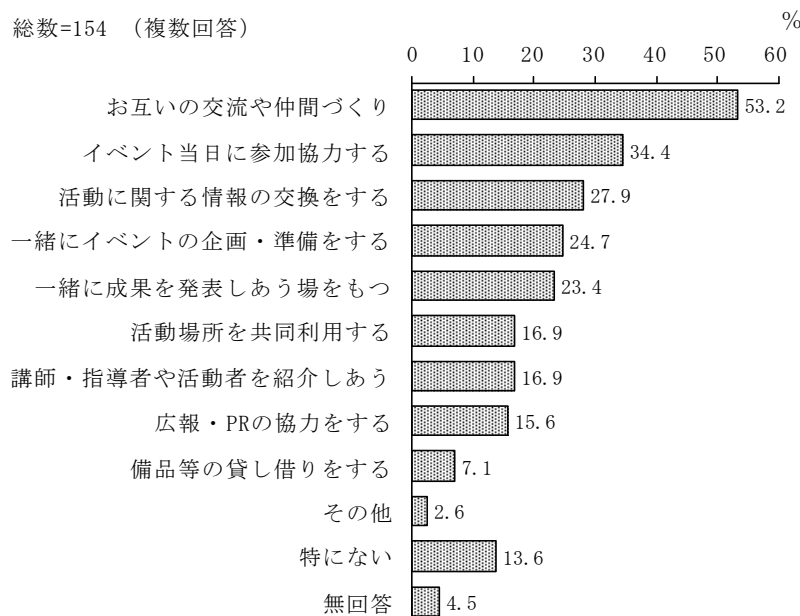
これ以外の選択肢の項目を【情報】【場所】【人】【費用】の視点から分類整理してみると、【情報】に関することは、「イベント等のお知らせをするなどの交流がある」（32.5%）と「会員募集やイベントなどのPRをしてもらえるなどの交流がある」（13.0%）があげられる。【場所】に関しては、「場所を借りるなどの交流がある」（20.1%）、【人】に関しては、「講師になる・なってもらなどの交流がある」（11.7%）、【費用】に関することでは、「協賛・寄付してもらなどの交流がある」（3.2%）である。



### (3) 地域の団体等と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動

問9 今後、地域の他の団体や個人と協力（協働）しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいですか。また、できると思いますか。 **（あてはまるものすべてに○）**

#### ■問9 地域の団体等と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
お互いの交流や仲間づくり	82	53.2
イベント当日に参加協力する	53	34.4
活動に関する情報の交換をする	43	27.9
一緒にイベントの企画・準備をする	38	24.7
一緒に成果を発表しあう場をもつ	36	23.4
活動場所を共同利用する	26	16.9
講師・指導者や活動者を紹介しあう	26	16.9
広報・PRの協力をする	24	15.6
備品等の貸し借りをする	11	7.1
その他	4	2.6
特にない	21	13.6
無回答	7	4.5

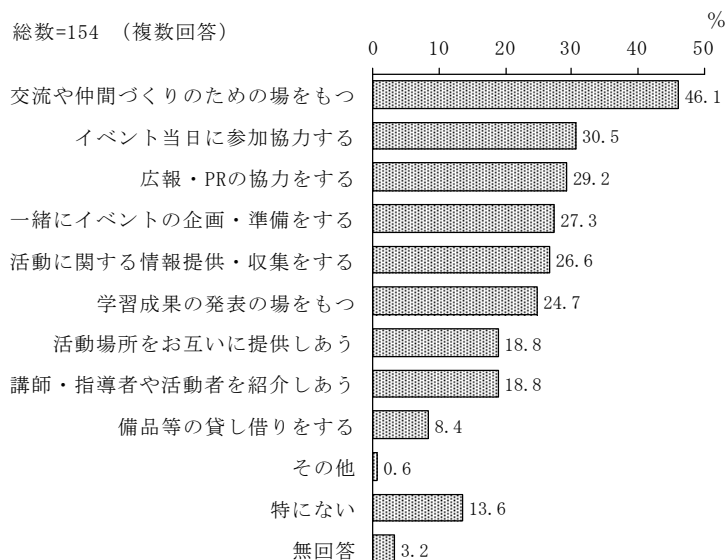
今後、地域の他の団体や個人と協力したいことについて、「特にない」（13.6%）と「無回答」（4.5%）を除く8割以上の回答者が何らかの形で他の団体や個人と協働したいと考えていることがみとれる。そのうち、「お互いの交流や仲間づくり」（53.2%）が最も高い割合を示している。

これ以外の選択肢の項目を【イベント】【情報】【人・交流】【場所】の視点から分類整理してみると、【イベント】に関することは、「イベント当日に参加協力する」（34.4%）と「一緒にイベントの企画・準備をする」（24.7%）があげられる。【情報】に関しては、「活動に関する情報の交換をする」（27.9%）と「広報・PRの協力をする」（15.6%）である。【人・交流】に関しては、「一緒に成果を発表しあう場をもつ」（23.4%）と「講師・指導者や活動者を紹介しあう」（16.9%）があげられる。【場所】に関することでは、「活動場所を共同利用する」（16.9%）である。

#### (4) 市と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動

問10 市と協力（協働）しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいです。また、できるといいますか。 **（あてはまるものすべてに○）**

##### ■問10 市と協力（協働）しながら、してみたい生涯学習に関する活動



項目名 【10個までの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
交流や仲間づくりのための場をもつ	71	46.1
イベント当日に参加協力する	47	30.5
広報・PRの協力をする	45	29.2
一緒にイベントの企画・準備をする	42	27.3
活動に関する情報提供・収集をする	41	26.6
学習成果の発表の場をもつ	38	24.7
活動場所をお互いに提供しあう	29	18.8
講師・指導者や活動者を紹介しあう	29	18.8
備品等の貸し借りをする	13	8.4
その他	1	0.6
特にない	21	13.6
無回答	5	3.2

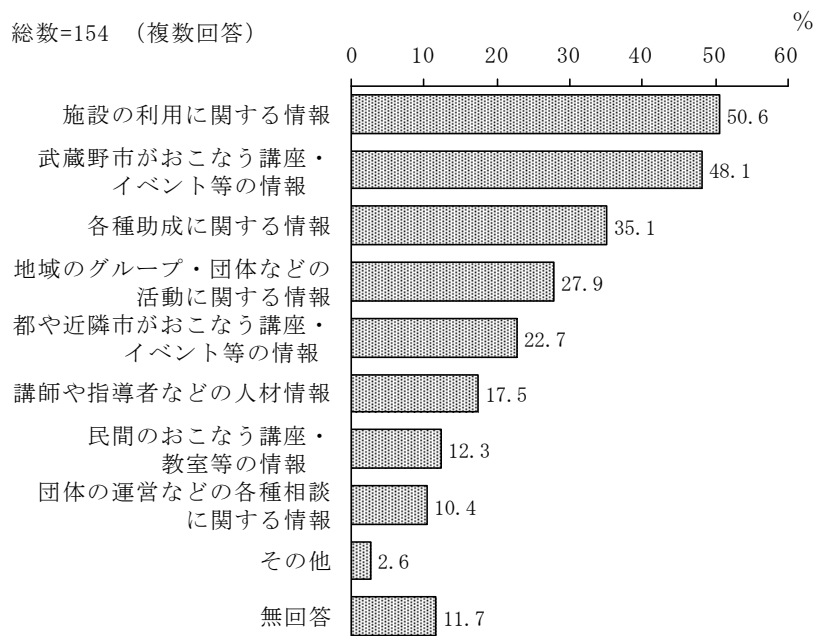
今後、市と協力（協働）しながらしてみたいことについて、「特にない」（13.6%）と「無回答」（3.2%）を除く8割以上の回答者が何らかの形で市と協働したいと考えていることがみてとれる。そのうち、「交流や仲間づくりのための場をもつ」（46.1%）が最も高い割合を示しており、これ以外では、3割台から1割台で占めている。1割未満の「備品等の貸し借りをする」（8.4%）も含め、問9「地域の団体等と協力（協働）」と全体的にも同じような傾向にあることがうかがえる。

「広報・PRの協力をする」（29.2%）は3番目に高く、問9では、15.6%と8番目であったことから、市との協力については、情報などに関するものが高いことがみてとれる。

(5) 生涯学習を進めていくために必要な情報

問12 あなたが所属する団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

■問12 生涯学習を進めていくために必要な情報



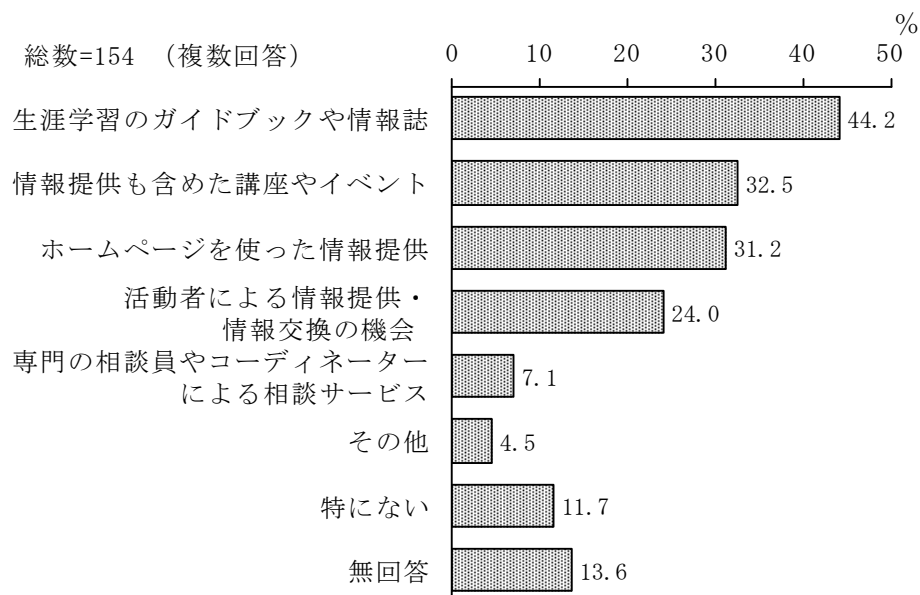
項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
施設の利用に関する情報	78	50.6
武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報	74	48.1
各種助成に関する情報	54	35.1
地域のグループ・団体などの活動に関する情報	43	27.9
都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報	35	22.7
講師や指導者などの人材情報	27	17.5
民間のおこなう講座・教室等の情報	19	12.3
団体の運営などの各種相談に関する情報	16	10.4
その他	4	2.6
無回答	18	11.7

生涯学習を進めていくために必要な情報は、「施設の利用に関する情報」(50.6%)が5割を超えており、次いで、「武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報」(48.1%)となっている。また、「各種助成に関する情報」(35.1%)や「団体の運営などの各種相談に関する情報」(10.4%)といった団体への支援に関する情報、「地域のグループ・団体などの活動に関する情報」(27.9%)や「講師や指導者などの人材情報」(17.5%)などの地域の団体や人材といった人に関する情報も求められていることがみてとれる。これら以外では、「都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報」(22.7%)、「民間のおこなう講座・教室等の情報」(12.3%)などの市外や民間の情報に関するニーズもあることがうかがえる。

## (6) 生涯学習に関する情報の入手方法

問13 あなたが所属する団体が、生涯学習に関する情報を入手するためには、どのようなものがあるとよいと思いますか。 **(あてはまるものすべてに○)**

### ■問13 生涯学習に関する情報の入手方法



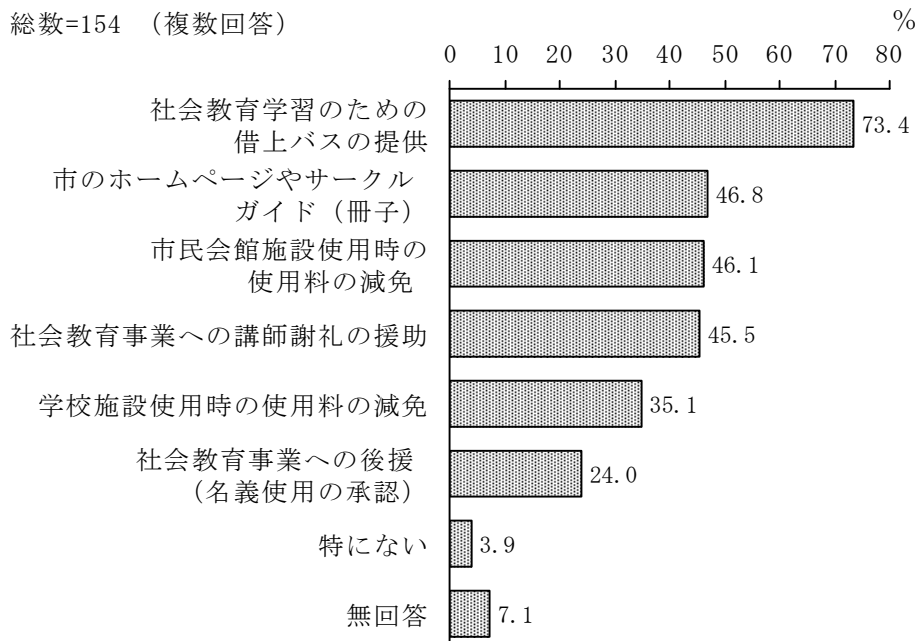
項目名 【6つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
生涯学習のガイドブックや情報誌	68	44.2
情報提供も含めた講座やイベント	50	32.5
ホームページを使った情報提供	48	31.2
活動者による情報提供・情報交換の機会	37	24.0
専門の相談員やコーディネーターによる相談サービス	11	7.1
その他	7	4.5
特にない	18	11.7
無回答	21	13.6

生涯学習に関する情報の入手方法は、「生涯学習のガイドブックや情報誌」(44.2%)が最も割合が高くニーズが高い。「情報提供も含めた講座やイベント」(32.5%)などのイベント時を活用した情報の入手方法や、「ホームページを使った情報提供」(31.2%)などの入手方法についても高い傾向がうかがえる。「活動者による情報提供・情報交換の機会」(24.0%)や「専門の相談員やコーディネーターによる相談サービス」(7.1%)などを含めて、人をつうじた直接的な情報提供または情報交換の機会に関するニーズもあることがうかがえる。

(7) 市の支援で、知っているもの、または利用したことがあるもの

問14 市では、現在、市に登録のある社会教育関係団体の活動に対する支援をおこなっています。次のうち、知っているもの、または利用したことがあるものをお選びください。  
**(あてはまるものすべてに○)**

■問14 市の支援で、知っているもの、または利用したことがあるもの



項目名 【6つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
社会教育学習のための借上バスの提供	113	73.4
市のホームページやサークルガイド(冊子)	72	46.8
市民会館施設使用時の使用料の減免	71	46.1
社会教育事業への講師謝礼の援助	70	45.5
学校施設使用時の使用料の減免	54	35.1
社会教育事業への後援(名義使用の承認)	37	24.0
特にない	6	3.9
無回答	11	7.1

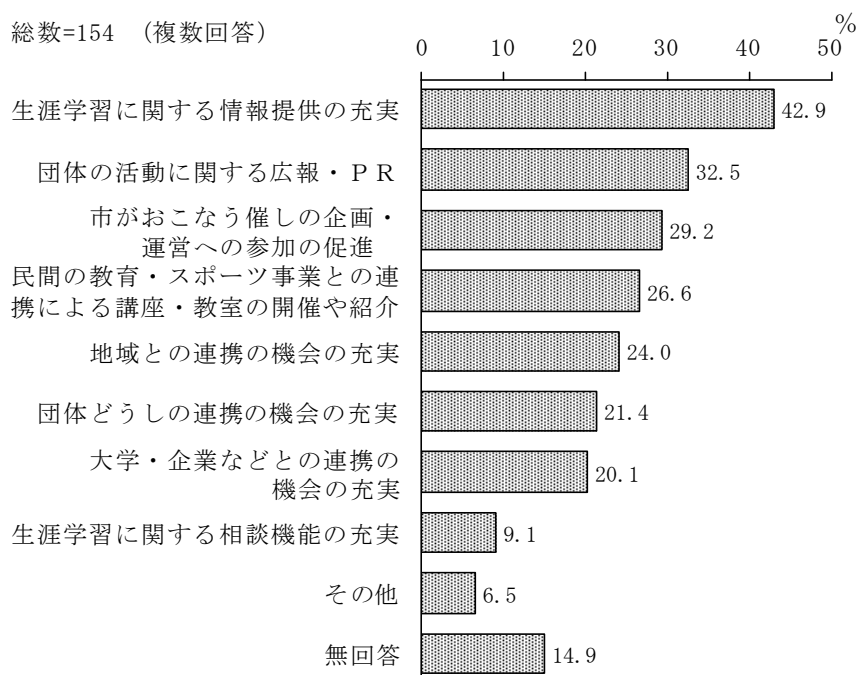
市の支援で知っているもの、利用したことがあるものについて、「特にない」(3.9%)と「無回答」(7.1%)を除いた9割以上の回答者が何らかの市の支援について知っていることがみてとれる。「社会教育学習のための借上バスの提供」(73.4%)が最も割合が高く、「市のホームページやサークルガイド(冊子)」(46.8%)、「市民会館施設使用時の使用料の減免」(46.1%)、「社会教育事業への講師謝礼の援助」(45.5%)は、いずれも4割台となっている。これら以外では、「学校施設使用時の使用料の減免」(35.1%)や「社会教育事業への後援(名義使用の承認)」(24.0%)があげられる。

## 4 市に望む取組

### (1) 生涯学習を活発にするために市に望む取組

問15 今後、生涯学習に関する活動を活発にするために、市にどのような取組を望みますか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

#### ■問15 生涯学習活動を活発にするために市に望む取組



項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	154	100.0
生涯学習に関する情報提供の充実	66	42.9
団体の活動に関する広報・PR	50	32.5
市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進	45	29.2
民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	41	26.6
地域との連携の機会の充実	37	24.0
団体どうしの連携の機会の充実	33	21.4
大学・企業などとの連携の機会の充実	31	20.1
生涯学習に関する相談機能の充実	14	9.1
その他	10	6.5
無回答	23	14.9

生涯学習に関する活動を活発にするために市に望む取組については、「生涯学習に関する情報提供の充実」(42.9%)が最も高く4割以上を占めており、4割台から1割程度で幅広いニーズがあることがうかがえる。

3割台のものは、「団体の活動に関する広報・PR」(32.5%)があげられ、2割台のものは、「市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進」(29.2%)、「民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介」(26.6%)、「地域との連携の機会の充実」(24.0%)、「団体どうしの連携の機会の充実」(21.4%)、「大学・企業などとの連携の機会の充実」(20.1%)があげられる。

1割未満のものは、「生涯学習に関する相談機能の充実」(9.1%)である。

また、選択肢の項目を【情報】【民間や大学等との連携の機会】【地域や団体との連携の機会】【イベント】の視点から分類整理してみると、【情報】に関することは、「生涯学習に関する情報提供の充実」(42.9%)や「団体の活動に関する広報・PR」(32.5%)があげられる。

【民間や大学等との連携の機会】に関しては、「民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介」(26.6%)と「大学・企業などとの連携の機会の充実」(20.1%)である。

【地域や団体との連携の機会】に関することでは、「地域との連携の機会の充実」(24.0%)と「団体どうしの連携の機会の充実」(21.4%)があげられる。

【イベント】に関することでは、「市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進」(29.2%)である。





## IV 自由意見



## IV 自由意見

### 1 「武蔵野らしさ」のイメージ

一般市民からの回答は275件、団体からは、65件の回答が寄せられた。寄せられた回答の中から、内容ごとに分類をおこない、主な意見を整理すると以下のとおりである。

#### (1) 教育・文化に関するイメージ 【一般：57件 団体：16件】

分類	内容	属性	年齢
生涯学習・教育	武蔵野市は学習意欲が高い。	一般	16～19歳
	参加しやすい。生きがいづくり。豊かな心・精神。充実感。心通う人間関係・仲間。	一般	60～69歳
	「学習の選択肢が多く、意欲があれば何でも学べる環境」が武蔵野らしさのイメージです。その意味では現状に満足しています。	一般	70～79歳
	「生涯青春」という心で年齢を重ねても若々しく様々な活動に取り組んでいくイメージです。	団体	—
	誰でも気軽に参加できる、窓口の広い、またサポートもしっかりしている生涯学習の場があるのが、武蔵野市らしいスタイルかなあとと思います。	一般	30～39歳
	武蔵野市は、乳幼児・高齢者にとっては住みやすいまちだと言われています。働き盛りの40代とその子ども達が、気軽に参加できる生涯学習があればいいと思います。『誰もが住みやすく、生き生きと暮らせる武蔵野』みたいな感じ。	一般	40～49歳
	アルテの会も武蔵野らしいし、コミュニティセンターを使えるのも市らしいと思います。並んだりはしますが、無料ですので、大変ありがたいと思います。武蔵野市はインテリが多いところですが、大学の講座も公開されますし、学びたい方はそういう場所で学習すればよいし、そうでない方々は老人会の集まりで楽しんでいらっしゃるようですので、ふたつに分かれても、それぞれの層の人々が自由選択して楽しく会話が出来、そんな形で良いと思います。ただ色々理由付けしても、参加していない方々が気にはなりますが、皆さんが参加すると良いですね。	一般	70～79歳
	「都市の環境」「自然の環境」の両方を生かした学習。	一般	16～19歳
	豊かな自然、恵まれた学習環境、楽しく学ぼう。	団体	—
	①武蔵野の自然を生かした社会教育項目（ex、探鳥会、花木観察会、俳句吟行、写真コンクール）②市役所的な枠にとられない豊富な選択肢の用意（初歩から大学程度のレベルまで）③カルチャーにおける市民の人材登録。	一般	60～69歳
武蔵野4大学（5大学？）を活用した高レベルの講座。例えば、生命科学、地球科学などの最新の発見などを判りやすく紹介する等。	一般	60～69歳	

分類	内容	属性	年齢
文化や教養	武蔵野市は知識・文化人が多く定住し、若者にも人気が高く、また、市の財政も健全で教育・医療・福祉を含め、住みやすい環境にあると思います。生涯学習は「市民の絆を高め、生き甲斐と文化をはぐくむ武蔵野」であるかと思っています。	一般	70～79歳
	誰もが気兼ねなく参加できる文化活動、教養の向上を図りながらもゆっくりとしたペースの学習。	団体	—
	文化・芸術が身近にある街。	一般	30～39歳
	文化的、知的なイメージです（文化人が多く住んでいるので、生活レベルが高く、教養のある人が住む街という印象があります）。	団体	—
	市の講座などに参加したいなあと思いますが、土曜日が殆ど（あるいは平日昼間）で土曜日は仕事なので無理。結局「土日休み」を前提としているのだなあ。夜の講座があれば…といつも残念に思います。地元の吉祥寺が大好きなのですが、市外で仕事をしている人間には、地元で交流を持つことは不可能ですか。「武蔵野らしさ」はやはり「文学」「芸術」でしょう。「おとなが楽しめるワンランク上の教養」です。	一般	40～49歳
	芸術の街、音楽、アニメ、文学。	一般	50～59歳
	武蔵野市周辺の歴史を知る。森林を大事にする（創り出す）。在市大学との協働と発展。まちづくりへの参加。	団体	—
	ジャズを楽しめる街、というイメージ。もっとジャズの講座（演奏活動も含めて）があるといいかも。	一般	30～39歳
	緑もある文化都市。	一般	30～39歳
	自然もあるが都会。文化的な要素が揃っている。	一般	20～29歳
老若男女、古くからの文化と最新の文化。	一般	40～49歳	

(2) 自然・環境に関するイメージ 【一般：48件 団体：5件】

分類	内容	属性	年齢
自然やみどり	緑、自然。	一般	50～59歳
	緑の共存共栄。	団体	—
	緑と共存。	一般	50～59歳
	緑、自然をいかしたもの、学校（大学）が多いのでそれとの協力、公園を活用する。	一般	40～49歳
	「みどりの風」。	団体	—
やさしい環境に	自然やエコ、リサイクル活動。	一般	16～19歳
	緑。地産地消。	一般	30～39歳
	地球環境との調和、特に緑。	団体	—

(3) 福祉・健康に関するイメージ 【一般：15件 団体：2件】

分類	内容	属性	年齢
福祉・健康	福祉の整った優しい地域というイメージです。	一般	50～59歳
	誰でも生き生き、生きることができる街。	一般	40～49歳
	一般的に「高齢者に優しい」イメージですが、今後という意味で「子供(家族)」に優しい町であるべきかと思います。	一般	40～49歳
	健康、安全、快適。ひとりひとりが健康で安全なまちに住み快適に過ごすこと。	一般	60～69歳
	教養、文化、スポーツなど福祉が充実しているイメージ。	一般	30～39歳
	緑が多く、交通機関が充実していて、医療施設、公共機関などがあり、商店会もあり……。日本で一番住みよい町だと聞きました。その為、様々なADLの方がこの市に集まってきていると思いますが、例えば障害を持つ方々のスポーツなど、ADLの高さ、低さに関係なく“うちこめる生涯学習のテーマ(QOLの面で)をえらべる”というイメージがあります。	団体	—

(4) まちのイメージ 【一般：80件 団体：12件】

分類	内容	属性	年齢
バランス・調和・共生	都会に近く知的な街づくり。自然が残りゆったりとしてのびやかな街づくり。落ち着いた学習環境がある中での教育、老人と子どもが安心して住める街とその交流。	一般	50～59歳
	自然と都会が融合していると思うので、それをいかした活動がいい。子どもが少ないので、子どもと地域の大人が触れ合える活動があると良いと思う。	一般	20～29歳
	・緑と街の共生 ・流行と文化の共生 ・自由が丘や代官山のような雰囲気なのですが、もう少し生活感があってのんびりしたイメージ。	一般	30～39歳
	緑豊かな芸術文化と福祉の街。	団体	—
	自然を守る、文化都市。	団体	—
	大学、緑、こじんまりした感じ。	一般	30～39歳
	最先端ではないが、バランスがとれ落ち着いたイメージ。比較的教養が高い。	一般	30～39歳
	四季折々に美しく、かつ刺激の多い、楽しめる町。	一般	50～59歳
	優良な居住地域としての武蔵野市と観光スポットとしての武蔵野市の共存。	一般	40～49歳
	○エコロジーを進めている、進んでいる市であるということ。○緑、公園の多い市であるということ。○吉祥寺駅周辺など、多くの人(日本人でなくても外国の人も多い)が集う場があるということ。	一般	30～39歳
	地産地消(人材も含めて)、住みよい文化都市。	団体	—
	緑が多い。動物共存共生のまち。庶民的。便利。学生街。こども。老人。ドラマ・映画の舞台。自転車置き場がない。路駐多い。	一般	16～19歳
ほどよくおしゃれ。	一般	40～49歳	
成熟・ゆとり・豊かさ	いきいきと個性に応じて、一人一人が豊である。	一般	60～69歳
	品格。品位。教養のレベルの高さ。落ち着いた住環境。豊かな心。自然。	一般	40～49歳
	落ち着いた大人の街。	団体	—
	①高齢者の元気なイメージ。②緑豊かなイメージ。③人に優しいイメージ。④活気あるイメージ。	一般	40～49歳
	緑が多く文化的なまち。市民も文化的意識が高く積極的。	一般	30～39歳
	緑化、福祉、国際交流、環境、ボランティア、リサイクル。	一般	50～59歳
新たな可能性を模索し、常に先進的な取り組みを行う点が「武蔵野らしさ」であると思います。また、緑が多いことや生活のしやすさも武蔵野の良いところであると思います。	団体	—	

分類	内容	属性	年齢
住みやすさ・暮らしやすさ	緑の多さ。生活水準が高い。	一般	40～49歳
	緑多い町。若者の町。都心に近い。住みたい町NO1	一般	20～29歳
	緑豊かな町、ゆったり過ごせる町、高齢者に優しい街。	団体	—
	緑多く、空気のきれいな、雑木林が残っているまち。お年寄りが安心して、暮らしているまち。	一般	50～59歳
	雑木林に公園、畑などたくさんの自然に囲まれた住宅地。子育て世代、高齢者ともに住みやすい進んだ行政。	一般	30～39歳
	「文化」「緑」「住みやすい町」。	一般	30～39歳
	・緑が豊か。・暮らしやすい。・綺麗な町。・子育てしやすい環境。・治安がよい。・便利。・文学の町。	一般	30～39歳
	教育・文化・福祉などが充実しているというイメージがあるので、これからも伸ばして行って欲しいと思います。	一般	20～29歳
	・現代的。・便利。・住宅街のモデルケース。・買えないものはないほどの豊富な出店数。	一般	20～29歳
	”人で支える住み良い街” ”来てよし、聞いてよし、住んでよし” ”くらしに理想をめざす街”。	一般	30～39歳
思いやり、心のふれあい、爽やかさ、水が美味しい、住みやすい。産まれてから今まで、武蔵野市から出たことはありません。武蔵野が一番。「我、町、武蔵野」を誇りに思っています。	団体	—	

(5) 市民や身近な地域のイメージ 【一般：23件 団体：10件】

分類	内容	属性	年齢
市民性や地域性	自主自立。	一般	60～69歳
	1. 自立 2. 心豊かな人生作り。	団体	—
	市民が協力的で支え合っている。	一般	16～19歳
	チャレンジ、制約を極力少なく、自由、フレンドリー。	一般	60～69歳
	自然発生 (←市民からの意志による)、自由参加。	団体	—
	市政に市民の声が反映される。市民がポリシーを持っていて、地域を良くしていこうとしている。緑のある、自然と共存していける地域。23区の隣で都会と田舎を合わせたいいとこ取り。お年寄り若者と子どもがいられた町。	一般	30～39歳
	「武蔵野らしさ」は外して考えたい。しかし、あえて「武蔵野らしさ」というならば、武蔵野という地域に根ざし、市民が共に学び合うことによって、より主体的な市民として、暮らしやすい町を作る、人作り、まちづくりの学びを「武蔵野らしさ」として作り出したい。	団体	—
子ども、若者など	古いものと新しいものがバランス良く入り、混じっているのが学べることは沢山あると思います。若者に負けないくらい元気なお年寄りが沢山住んでいる町。	一般	40～49歳
	幅の広い年齢層が活動できる (している)。	団体	—

(6) 交流・協働に関するイメージ 【一般：29件 団体：14件】

分類	内容	属性	年齢
市民活動や地域活動	市民が主体となる。市内にある人材を活かす。それにより各々が充実感を得ることが出来たり、相互交流が一層進むことが期待できる。生涯学習システムを創り上げる。	団体	—
	何かをしたいと思った時、気軽に始められる（場所、費用など）。	一般	60～69歳
	自主、独立、自由な参加、企画。	団体	—
	神戸市から約2年前に引っ越してきましたが、武蔵野市は先輩の方がイキイキと自分の活力の場を見つけて活躍しているイメージがあります。地域の活動は強制ではまったくなく、自主的にやりたい事を時間のある人がやっている。市が貴重な税金を有意義に使用している。他の市とは全てにおいて視点が前向きなイメージが強いです。とても魅力的だ。	一般	30～39歳
	コミセン。	団体	—
	武蔵野市では、以前に住んだ市町村に比べ、「コミュニティセンター」が身近であり、いろんな活動の拠点になっていると思う。コミセンの活動全般について、コミセン地域の住民が中心にはなっているが、他地域からの参加者も受け入れる、緩やかな地域のつながりが特徴的だと思う。外から来た人も「武蔵野人」として受け入れる、懐の深さが武蔵野らしさかも。	一般	40～49歳
	地域の交流が出来るイベント（会場共に）をもっと増やし、自然に人が集まり、なごめる一時の機会をもっと作って欲しい。もちつきとかスイカ割りとか、盆踊りも広い所で踊れる事がなくなったので寂しい。季節の楽しみを、遠くに行かなくても市内で、地域で盛り上げたい。	一般	40～49歳
田舎と都会が共用する町。もっと地域の人口と関われる機会が欲しい。2008年1月1日、東町コミュニティセンターでの餅つき大会に参加した際、もっと、地域の人とつながりたいと思った。只、仕事がカレンダー通りでないのになかなか難しい。	一般	20～29歳	
様々な交流、連携	種々雑多、色々な世代が住んでいる街だと思います。年齢や職業など、垣根を取って交流できたら素敵だと思います。年を取るにつれ、仲間をつくるのが下手になります。参加したいとは思っても、なかなか入っていきません。世代を越えた交流を若い人々に引っ張り出して欲しいです。	一般	50～59歳
	イメージとしては、井の頭公園に集う人々のように、年齢層は若い人から年配の方まで幅広く、様々な知識や興味を持った人達が、協力し合って進めていくようなこと。	一般	40～49歳
	市民による企画、発案、運営。市は一定レベルの知識、技能等を有する指導者の紹介や場の提供などの支援。企業大学などを含めた民間の人材、施設等の活用。	一般	50～59歳
	武蔵野地域自由大学は、多数の市民と五大学とを結び、独自のセンターを持ち、寄付講座の実績を誇っています。これを核として、市民のニーズを吸い上げることが、「武蔵野らしさ」へのアクセスとなる。しかも、年々変化しつつあります。市民協働センターを、NPOやボランティア活動の拠点として、さらに活発にする、“VOLUNTEER ACTIVITIES”。	団体	—
	学習しようとする人にとってのチャンスが多い。例えば自由大学など、各大学の協力も大きいと思う。	団体	—
	国際色豊か、オープン。	一般	40～49歳

(7) その他 【一般：23件 団体：6件】

分類	内容	属性	年齢
その他	只今武蔵野大学の聴講生として6年間学ばせていただいています。本当にありがとうございます。あまり肩に力を入れず、ゆったりと人生の晩年を過ごせませす事に感謝申し上げます。	一般	60～69歳
	私は今公立中学校の教員です。残念ながら今は国分寺の学校に勤めています。もし来年4月から武蔵野市の中学校で勤務できるようになったらの話ですが、武蔵野市の市民の方とすごく顔広くスポーツクラブ等を通してお付き合いしておりますので、学校の教員ではありますが全面協力いたします。よろしく願いいたします。	一般	50～59歳
	30年ぶりに生まれた地に戻りはや一年。あまりの吉祥寺の変わり様に驚くと同時に「武蔵野らしさ」が無くなり、ちょっぴり淋しい思いがしております。でも、元気で明るいイメージも大切に。どこかで「武蔵野らしさ」を残せたら…。	一般	50～59歳
	個性的。	一般	40～49歳
	きらっと生きよう武蔵野から。	団体	—



## 2 武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望

一般市民からの回答は110件、団体からは、55件の回答が寄せられた。寄せられた回答の中から、内容ごとに分類をおこない、主な意見を整理すると以下のとおりである。

### (1) 参加の機会や活動の場 【一般：52件 団体：23件】

分類	内容	属性	年齢
参加の機会	市の主催する講座は、魅力的なものが多いが、日程や時間帯が合わず参加できない。多様なニーズに応えうる日程づくりにも期待したい。	一般	20～29歳
	講座の時間、曜日など平日が多いが、これからは勤務者のためにも夜間や曜日を工夫し、年齢層にあった講座を増やして欲しい。	一般	40～49歳
	万人が参加しやすいようにして欲しい。一人だと参加しづらい印象がある。	一般	16～19歳
	・もうちょっと気軽、自由に学び合う雰囲気欲しい。・講演会なども柔らかいテーマも時には良いのでは。・活動費などの助成の充実を是非。・子連れ世代が気軽に出入りできる施設、雰囲気が欲しい。	団体	—
	年輩の方の参加が多いと、20代・30代の参加がしづらいと思います。健康・パソコンの基礎等ではなく、若者にとって意義のある講座が必要だと思います。	一般	20～29歳
	若い世代も参加しやすい生涯学習の機会があるといいなと思います。市の主催する生涯学習はお年寄りの方が多いイメージがあるので…。	一般	30～39歳
	忙しい若い世代の人でも参加できる様な講座があれば楽しいと思うし、地域の活性化がなされると思います。頑張ってください。	一般	30～39歳
	中高齢者を対象とした生涯学習に力を注いでいただくことは有り難いですが、それに税金を沢山使うより、これから日本を支える子ども達への教育に力を注いでほしいと思います。	一般	50～59歳
	子育て中の母親達が参加しやすい環境を整えてほしいです。主に、託児。市報を見て情報を得ている人達が多いと思うので、掲載していただければいいと思います。	一般	30～39歳
	子育て中にも、色々生涯学習に取り組める環境整備。	一般	40～49歳
	武蔵野市の提供する生涯学習に参加する人は、どうしても高齢者が中心になると思うので、健康増進のためのスポーツ講座を実施するのが一番多くの人に喜ばれると思う。芸術・教養系はそれぞれの施設や大学の公開講座に譲れば良いと思う。	一般	16～19歳
	スポーツに関する講座の多くは高齢者向けが多いとの印象です。可能であれば、平日夜間や土日の非高齢者向けの講座を設けてもらえるとうれしいです。	一般	40～49歳
	60歳を超えてからの生活を支える経済面の活動と生涯学習の環境の変化に対応した進め方を考える必要性有。高齢者の意識の変化に対する対応も必要。老人という名でひとまとめにしないこと。	団体	—
	折角、様々な店が吉祥寺駅周辺等に出店しているので、物価や相場の決まり方、効率的、合理的な消費方法など、学問と日常生活を連携させたような講座とかやると、面白いかもしれません。	一般	20～29歳
	積極的にボランティア活動をする働きかけをしても良い。	団体	—
ボランティアの活動を市でやってほしいと思います。団体に入ってしまうと、ずっとやらなければいけなくなってしまい、時間がとれない時など非常に不便であると感じますので、夏休みに2～3日で泊まりがけで海（山）のゴミ拾いなどをしてほしいと思います。	一般	16～19歳	

分類	内容	属性	年齢
参加の機会	公の果たす役割は大きい。武蔵野自由大学はそれとして素晴らしい。一方武蔵野という町に目を向け、社会に目を向け、課題の発見、解決に向けて取り組む学習。市民が共に学び、努力しあって町を作る主体者として力をつけていく学習。そのような社会教育学習を展開して欲しい。	団体	—
活動の場	一人で暮らす方も増え、より人との交流が大切な時代になっていくと思いますので、多種多様な参加場所が必要になると思います。そうなれば運営も市民参加が必要だし、有意義です。	一般	50～59歳
	生涯学習の基本は己から学ぶ「自習」だと思います。市はそれの出来る環境を提供すべきです。机を並べるだけではだめです。個人が学習するためには隣との間については必須です。電子辞書の使用は認めるべきです。グループ活動のための大中小のスペースも必要です。まずは個人が自由に並べる場所を提供して欲しい。	一般	60～69歳

(2) 人材の確保 【一般：4件 団体：3件】

分類	内容	属性	年齢
講師や人材の確保	生涯学習は一生の宝であるので、良い、やる気のある先生を見つける（少し金をかけてもよい）ことが大切。	一般	70～79歳
	太宰ばかりでなく、森鷗外、茉莉も禅林寺に眠っておられます。ぜひ取り上げてください。文学・芸術に関わっている先生方がたくさんお住まいの地域です。ご協力を仰いでは。	一般	40～49歳
	各社会教育団体とも高齢化が進み、会員数の減少、活動範囲・内容が縮小され不活発になりつつある。各団体を整理統合し、若い会員が積極的に参入、参加できるようにシステムを変え、内容の充実を図りたい。	団体	—
	子育て期間中武蔵野市に住み、子育て終了後、近郊の市に住む方が多くなっています。武蔵野市在住の会員が減っているのに困っています。	団体	—

(3) 情報に関して 【一般：14件 団体：6件】

分類	内容	属性	年齢
広報・PRの充実	市がどんな取り組みをされているのか、もう少し広く公報されてもいいかと思 います。	一般	40～49歳
	あらゆる手段でマメに広報されていると良いと思います。駅周辺の店舗にポ スターが貼ってあるとか。受動的な方法がよいと思います。インターネットはと てもよく使いますが、自分から情報を取りに行かないといけないので気づけま せん。	一般	20～29歳
	「まなびー」のようなタイトルで生涯学習関連の情報をまとめた機関誌（紙）の 発行。	一般	60～69歳
	一人でも参加しやすいようなPR。	団体	—
	孤立しがちな高齢者への実効性あるPR、動機付けによい方法が欲しい。	団体	—
情報の内容	趣味や特技もなく、仕事に追われる生活なので、地域やその他の生涯学習な どの活動には興味がある。会社以外の交友関係も全くなく、そういうものも広 げていきたい。ただ実際には、力を入れてやっていけるのは、定年になったあ たりかとも思う。	一般	40～49歳
	市が主催する講座やコミセンでの講座の情報がまとまって閲覧できるように してほしい。できればホームページで。今はどこで何をやっているのかよくわ からない。	一般	30～39歳
	活動支援をしていることをもっとPRするべきである。 PR活動をもっと。知名度のある人を講師として招くなど、イメージ戦略も。	団体 一般	— 30～39歳

(4) 交流・協働・連携 【一般：14件 団体：11件】

分類	内容	属性	年齢
様々な交流、連携	様々な講座に参加したいと思っています。特に今は小学生の息子と一緒に参加できるものに参加していますが、小学生も中学生も一緒に参加できるものが多いといいなと感じたことがあります。よろしくお願いします。	一般	40～49歳
	自然が多いことを活かして、親子参加のイベント等があると良いと思う。少子化うんぬんの前に、親子間のコミュニケーションが欠落していると、最近のニュースを見て思う。そして、そこから市内のコミュニケーションを深めていければいいと思う。頑張ってください。	一般	20～29歳
	杉並区小6の孫娘から学校の宿題「戦争体験」について依頼を受け、私の戦中戦後に至る災禍、食糧難などの話をした。驚きながらも興味を持って聞いてくれた。高齢者/小学生間で戦争体験、昔遊び、遊び歌など、語り継げる機会の場が持ちにくい、今、ご当局のお力添えをいただくことも大切ではないでしょうか？	団体	—
	気軽に参加できる講座から、専門性の高い講座まで幅広く開催して欲しい。サイエンスに参加したかったけど、子ども向けで出来なかった。大人にも楽しむ機会を作って欲しい。全年齢が交流しながら学べる機会を作って欲しい。昼間、平日に行われる講座には、働いている人は殆ど参加できないと思う。働く人にも機会を与えて欲しい。	一般	30～39歳
	学校も地域と協力してというのが新しい課題になってきております。実現できたらと思っております。	一般	50～59歳
	市内団体への委託や協働により、市民の要望に沿った内容の企画を立案し、活発で魅力のあるものにして欲しい。	団体	—
	私は民間で講演や講習を企画しており、武蔵野市の主催で講演をしたこともあり、手伝いを度々している。武蔵野市は良いことをやっている。やっているが、市のお世話になってあきれるのは、広報の手段がろくになく、手法も限られ、素人の企画同然だということだ。職員の能力が低いと言っているのではない。マーケティングのノウハウにまるで触れていない、トレーニングされていないのである。なぜ、市職員に企画、広報のプロを育てないのか。職員は部署をまわしてキャリアアップして、行政のプロにはなれるだろうが、世間に働きかける手法を知らないままだ。もし内部で育てられないなら、民間へ研修に出向くか、外部からプロを招くべき段階に至っているのではないか。	一般	40～49歳
支援	恵まれた武蔵野市の現在ある制度の十分な活用。	団体	—
	なるべく低価格でやりたい。	一般	16～19歳

(5) 市への期待 【一般：9件 団体：8件】

分類	内容	属性	年齢
市への期待	武蔵野市以外に住んでいる方が「武蔵野市に住んでみたい」と思うような素晴らしい活動を期待します。	一般	30～39歳
	本年6月末に中野区から引っ越してまいりました。緑が多く、環境がよいと思います。既に充実しているように感じます。この高い水準を、今後も維持して下さい。	一般	30～39歳
	今後ますます高齢化（障害者も増える）時代に向かい孤立化や疎外感のない、連帯感を持てる地域社会を築き、福祉を実感でき、使命感を持てるような方向へと自治体としてのイニシアティブを期待します。	団体	—

(6) その他 【一般：17件 団体：4件】

分類	内容	属性	年齢
その他	現状に満足している。過ぎたるは及ばざるに等しいと言いますから。	一般	70～79歳
	市民として前向きに協力しなければならぬと考えています。今後ともよろしく。	団体	—
	団体が多いようですから、一つにまとめることは不可能。それぞれのグループでの意見交換性が必要でしょうか？	団体	—



## V 調査票





## 1 一般の調査票

あなたご自身のことについてうかがいます。

F1 あなたの年齢をお答えください。 **(○は1つだけ)** [平成20年11月1日現在]

- |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 16歳～19歳 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 | 4. 40歳～49歳 |
| 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 | 7. 70歳～79歳 | 8. 80歳以上   |

F2 あなたの性別をお答えください。 **(○は1つだけ)**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F3 現在お住まいの地区は、次のうちどれですか。 **(○は1つだけ)**

- |          |          |        |          |          |
|----------|----------|--------|----------|----------|
| 1. 吉祥寺東町 | 2. 吉祥寺南町 | 3. 御殿山 | 4. 吉祥寺本町 | 5. 吉祥寺北町 |
| 6. 中町    | 7. 西久保   | 8. 緑町  | 9. 八幡町   | 10. 関前   |
| 11. 境    | 12. 境南町  | 13. 桜堤 |          |          |

F4 武蔵野市に住み始めてからの年数をお答えください。 **(○は1つだけ)**

- |                |                |               |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上～5年未満   | 3. 5年以上～10年未満 |
| 4. 10年以上～15年未満 | 5. 15年以上～20年未満 | 6. 20年以上      |

F5 どちらかへ通勤、通学をされていますか。通勤、通学をされている場合、あなたの従業地・通学地をお答えください。 **(○は1つだけ)**

- |                |            |          |         |
|----------------|------------|----------|---------|
| 1. 武蔵野市内       | 2. 都内の他市町村 | 3. 都内23区 | 4. 東京都外 |
| 5. 通勤・通学はしていない |            |          |         |

問1 「生涯学習」という言葉をこれまで聞いたことがありますか。 (○は1つだけ)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 聞いたことがあります内容も理解している | 2. 聞いたことがあるが内容はよくわからない |
| 3. 聞いたことがない            |                        |

問2 「生涯学習」と聞いて、あなたが思い浮かぶイメージについて、お答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 幼児期から高齢期まで、生涯をつうじて学ぶこと | 6. 自分の住んでいるまちや地域について知ること |
| 2. 趣味・教養を高めること            | 7. 講座や教室等の学習活動への参加       |
| 3. 職業上必要な知識・技能を身につけること    | 8. 健康・体力づくりをすること         |
| 4. 生きがいを充実すること            | 9. その他( )                |
| 5. 生活を楽しみ、心を豊かにすること       |                          |

◆「生涯学習」のおおまかな定義

生涯学習とは、市民が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選んで学ぶことを言い、その成果が生かされるような豊かな社会を築いていくことを目指しています。  
生涯学習には、学校教育、社会教育、芸術・文化、地域やまちづくり、スポーツ、ボランティアなどの活動も含まれます。

問3 あなたは現在、下記のような生涯学習のうち、どのような活動をおこなっていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 武蔵野市がおこなう講座や教室                          | 6. 個人指導者による教室や習いごと       |
| 2. コミュニティセンターでの趣味や学習の講座                    | 7. テレビ講座・ラジオ講座           |
| 3. 民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど<br>民間の講座や教室       | 8. 通信教育                  |
| 4. 学校(高等学校、専修学校、各種学校、大学、<br>大学院など)の公開講座や教室 | 9. eラーニングなどのインターネットによる講座 |
| 5. 市民グループ・団体などが自主的におこなう<br>芸術、スポーツなどの講座や活動 | 10. その他の生涯学習<br>( )      |
|  | 11. 現在、生涯学習をおこなっていない     |

\* 問3で、「11. 現在、生涯学習をおこなっていない」と回答された方は、問4にお進みください。

\* 問3で、選択肢「1.～10.」に○をつけられた方は、問5～問8にお進みください。

問3で、「11. 現在、生涯学習をおこなっていない」と回答された方にうかがいます。

問4 現在、生涯学習をおこなっていない方にうかがいます。生涯学習をしていない理由を選んでください。(あてはまるものすべてに○)

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 費用がかかる             | 7. 一緒に学習や活動する仲間がない      |
| 2. 仕事や家事が忙しくて時間がない    | 8. 子どもや親等の世話をしてくれる人がいない |
| 3. 自分の希望する種類の講座や教室がない | 9. 家族や職場など周囲の理解を得にくい    |
| 4. 自分の希望に開催時期・時間が合わない | 10. 必要な情報が入手しづらい        |
| 5. 活動場所が近くにない         | 11. その他( )              |
| 6. 適当な指導者がいない         | 12. 特に必要がない             |

\* 問9にお進みください。

問3で、選択肢「1.~10.」に○をつけられた方(何らかの生涯学習をしている方)にうかがいます。

問5 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。月平均でどのくらいおこなっていますか。  
複数の学習をおこなっている方は、合計した回数をお答えください。  
また、主な活動場所はどこですか。 **(○は1つずつ)**

頻度:	1. 月に1回以下	2. 月に2・3回程度	3. 月に4・5回程度	4. 月に6回以上
場所:	1. 武蔵野市内	2. 都内の他市町村	3. 都内23区	4. 東京都外

問6 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。あなたが生涯学習をおこなうようになったきっかけは何ですか。 **(○は1つだけ)**

1. 知人・友人に誘われて	6. フリーペーパーなどの地域情報誌を見て
2. 武蔵野市の市報を見て	7. 新聞・雑誌を見て
3. 武蔵野市のホームページを見て	8. インターネットから
4. 地域のFM放送・ケーブルテレビから	9. 別の講座で紹介された
5. 施設に置いてあるチラシやポスター等を見て	10. その他( )

問7 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。生涯学習をしている理由、目的は何ですか。  
**(あてはまるものすべてに○)**

1. 趣味を豊かにするため	7. 健康・体力づくりのため
2. 教養を高めるため	8. 家庭・日常生活を良くするため
3. 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	9. 日常生活や人生を有意義にするため
4. 現在の仕事や将来の就職等に役立てるため	10. 地域を良くするため
5. 広く世の中のことを知るため	11. その他( )
6. 自由時間を有効に活用するため	

問8 現在、生涯学習をおこなっている方にうかがいます。生涯学習をおこなううえで困っていることがありますか。次のなかから、あてはまることをお選びください。  
**(あてはまるものすべてに○)**

1. 費用がかかる	7. 一緒に学習する仲間が少ない
2. 時間をつくりづらい	8. 人間関係が難しい
3. 適切な指導者や講師がない	9. 周囲の理解を得にくい
4. 適当な活動場所が近くにない	10. 十分な情報が得られない
5. 適当な活動場所を確保しづらい	11. その他( )
6. 成果を活かす場や機会が少ない	

今後の生涯学習に関する活動へのご要望等について、全ての方にかかっています。

問9 市では、現在、生涯学習に関する事業を主催または他団体等との共催でおこなっています。  
次のうち、知っているもの、または参加・利用したことがあるものをお選びください。

(あてはまるものすべてに○)

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 初心者IT講習会              | 10. 中近東文化センターの企画展や寄付講座 |
| 2. 夏休み体験講座(中近東文化センター)    | 11. 市民会館の講座            |
| 3. 子育て中の方のためのモーニング・コンサート | 12. 16ミリ発声映写機操作講習会     |
| 4. 老壮セミナー・老壮シニア講座        | 13. 市民文化祭・芸文講座         |
| 5. 土曜学校                  | 14. 古文書解読講座・文化財の展示     |
| 6. 聴力障害者教養講座             | 15. むさしのサイエンスフェスタ      |
| 7. 遠野市家族ふれあい自然体験         | 16. その他( )             |
| 8. 夏休み親子講座「オルガンワンダーランド」  | 17. 特にない               |
| 9. 武蔵野地域自由大学の講座や各大学の講座   |                        |

問10 今後、生涯学習をする場合、どのようなことに興味がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                                   |                         |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1. 文化・芸術鑑賞(音楽、美術、映画などの鑑賞)         | 11. 福祉                  |
| 2. 文化・芸術活動(音楽、茶道、舞踊などの活動)         | 12. まちづくり               |
| 3. 教養的なもの(文学、歴史、自然科学など)           | 13. 緑化・環境問題・リサイクルなど     |
| 4. 地域の伝統文化・郷土史                    | 14. 健康・医学・食育            |
| 5. パソコン・インターネット                   | 15. 自然体験・野外活動、農業体験など    |
| 6. スポーツ(ジョギング、水泳、太極拳など)           | 16. 国際交流・異文化交流          |
| 7. 家庭生活に役立つ技能(料理、洋裁、和裁、<br>編み物など) | 17. 社会科見学(工場・産業)・観光     |
| 8. 園芸・ガーデニング                      | 18. 仕事に関係ある知識の習得や資格取得など |
| 9. ボランティア活動                       | 19. 時事問題・社会問題           |
| 10. 子育て・教育                        | 20. その他( )              |
|                                   | 21. 特にない                |

問11 今後、生涯学習をする場合、おこなう理由・目的はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 趣味を豊かにするため           | 7. 健康・体力づくりのため      |
| 2. 教養を高めるため             | 8. 家庭・日常生活を良くするため   |
| 3. 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため | 9. 日常生活や人生を有意義にするため |
| 4. 現在の仕事や将来の就職等に役立てるため  | 10. 地域を良くするため       |
| 5. 広く世の中のことを知るため        | 11. その他( )          |
| 6. 自由時間を有効に活用するため       | 12. 特にない            |

問12 今後、生涯学習をする場合、どのような機会を利用したいですか。

**(あてはまるものすべてに○)**

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| 1. 武蔵野市が主催する講座や教室                          | 6. 個人指導者による教室や習いごと        |
| 2. コミュニティセンターでの趣味や学習の講座                    | 7. テレビ講座・ラジオ講座            |
| 3. 民間カルチャーセンター、スポーツクラブなど<br>民間の講座や教室       | 8. 通信教育                   |
| 4. 学校(高等学校、専修学校、各種学校、大学、<br>大学院など)の公開講座や教室 | 9. eラーニングなどインターネットを使用した講座 |
| 5. 市民グループ・団体などが自主的におこなう<br>芸術、スポーツなどの講座や活動 | 10. その他( )                |
|  | 11. 特にない                  |

問13 生涯学習をするために、どのような情報が必要だと思いませんか。

**(あてはまるものすべてに○)**

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報  | 6. 施設の利用に関する情報       |
| 2. 都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報 | 7. 学習方法や資格の取得方法などの情報 |
| 3. 民間のおこなう講座・教室等の情報      | 8. その他( )            |
| 4. 地域のグループ・団体などの活動に関する情報 | 9. 特にない              |
| 5. 講師や指導者などの人材情報         |                      |

問14 生涯学習に関する情報を入手するためには、どのようなものがあるとよいと思いませんか。

**(あてはまるものすべてに○)**

- |                                   |                       |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 生涯学習のガイドブックや情報誌                | 4. 情報提供も含めた講座やイベント    |
| 2. ホームページを使った情報提供                 | 5. 活動者による情報提供・情報交換の機会 |
| 3. 専門の相談員やコーディネーターによる<br>学習相談サービス | 6. その他( )             |
|                                   | 7. 特にない               |

問15 生涯学習をつうじて身につけたことをどのように活かしたいですか。

**(あてはまるものすべてに○)**

- |                      |                                     |
|----------------------|-------------------------------------|
| 1. 自分の人生をより豊かにしていきたい | 6. ボランティア活動に活かしたい                   |
| 2. 自分の健康の維持・増進に役立てたい | 7. 学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、<br>指導に活かしたい |
| 3. 仕事や就職、学校生活に活かしたい  | 8. その他( )                           |
| 4. 資格取得に役立てたい        | 9. 特にない                             |
| 5. 日常生活や地域での活動に活かしたい |                                     |

問16 生涯学習に関する活動をつうじて、市民どうして協力（協働）しながら、どのようなことをしてみたいですか。また、できると思いますか。 **（あてはまるものすべてに○）**

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. お互いの交流や仲間づくり     | 7. イベント当日に参加協力する  |
| 2. 一緒に成果を発表しあう場をもつ  | 8. 活動に関する情報の交換をする |
| 3. 活動場所を共同利用する      | 9. 広報・PRの協力をする    |
| 4. 講師・指導者や活動者を紹介しあう | 10. その他( )        |
| 5. 備品等の貸し借りをする      | 11. 特にない          |
| 6. 一緒にイベントの企画・準備をする |                   |

問17 生涯学習に関する活動をつうじて、市と協力（協働）しながら、どのようなことをしてみたいですか。また、できると思いますか。 **（あてはまるものすべてに○）**

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 交流や仲間づくりのための場をもつ | 7. イベント当日に参加協力する    |
| 2. 学習成果の発表の場をもつ     | 8. 活動に関する情報提供・収集をする |
| 3. 活動場所をお互いに提供しあう   | 9. 広報・PRの協力をする      |
| 4. 講師・指導者や活動者を紹介しあう | 10. その他( )          |
| 5. 備品等の貸し借りをする      | 11. 特にない            |
| 6. 一緒にイベントの企画・準備をする |                     |

問18 市では武蔵野らしい生涯学習を進めていきたいと考えています。あなたが考える「武蔵野らしさ」とはどのようなイメージですか。キーワードなどお書きください。 **（自由記入）**

中学生以下のお子さんのいらっしゃる方にうかがいます。  
 お子さんが複数いらっしゃる方は、該当する一番年長のお子さんについてお答えください。

問19 お子さんの年齢と性別について、それぞれお答えください。 **(○は1つずつ)**

1. 乳幼児(0～2歳)	2. 就学前(3～5歳)		1. 男性	2. 女性
3. 小学生(低学年)	4. 小学生(高学年)	5. 中学生		

問20 お子さんにとってあると良いと思う生涯学習の機会についてうかがいます。

**(あてはまるものすべてに○)**

1. 音楽・絵画等の芸術文化にふれる機会	9. 地元の郷土芸能やお祭への参加
2. 茶道など伝統文化にふれる機会	10. 地域でのボランティア活動の機会
3. 緑や自然などの環境学習の機会	11. 国際交流(外国人とのホームパーティー等)
4. 科学に親しむ機会	12. 友好都市など他地域との交流(遠野市等)
5. 自然体験などの野外活動の機会	13. 仕事や職業について学ぶ機会
6. 生きものや動物とふれあう機会	14. 親子や子どもどうしが交流する機会
7. 本や読書に親しむ機会	15. 家事など生活能力を学べる機会
8. 水泳教室やスポーツクラブ等の運動の機会	16. その他( )

最後に、全ての方に、その他のご意見等うかがいます。

問21 今後、生涯学習に関する活動を活発にするために、市にどのような取り組みを望みますか。

**(あてはまるものすべてに○)**

1. 講座などのメニューの豊富化	6. 武蔵野市がおこなう催しの企画・運営などへの市民の参加の促進・拡大
2. 地域について学ぶ機会の提供	7. インターネットやケーブルテレビによる情報や学習機会の提供
3. 身近・便利な場所での講座の開催	8. 生涯学習に関する情報提供の充実
4. 大学・企業などによる専門的な学習機会の提供	9. 生涯学習に関する相談機能の充実
5. 民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	10. その他( )

問22 その他、武蔵野市の生涯学習に関するご意見・ご要望をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入していただいた調査票は、同封しました返信用封筒に入れて12月10日までに投函してください。  
 (切手を貼る必要はありません。)



## 2 団体の調査票

あなたが所属している団体のことについてうかがいます。

F 1 あなたが所属している団体の活動年数をお答えください。 (○は1つだけ)

[平成21年1月1日現在]

- |                |                |               |
|----------------|----------------|---------------|
| 1. 1年未満        | 2. 1年以上～5年未満   | 3. 5年以上～10年未満 |
| 4. 10年以上～15年未満 | 5. 15年以上～20年未満 | 6. 20年以上      |

F 2 あなたが所属している団体の会員には、おおよそどの年代の方が多いですか。 (○は1つだけ)

- |         |         |         |           |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代   |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳代以上 |

F 3 あなたが所属している団体の会員数は、現在、次のうちどのくらいですか。 (○は1つだけ)

- |                 |                  |                  |
|-----------------|------------------|------------------|
| 1. 10名未満        | 2. 10名以上～20名未満   | 3. 20名以上～30名未満   |
| 4. 30名以上～40名未満  | 5. 40名以上～50名未満   | 6. 50名以上～70名未満   |
| 7. 70名以上～100名未満 | 8. 100名以上～200名未満 | 9. 200名以上～300名未満 |
| 10. 300名以上      |                  |                  |

F 4 あなたが所属する団体は、次のように分類した場合、最も多く活動をしているテーマ(分野)はなんですか。 (○は1つだけ)

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| 1. 文化・芸術鑑賞(音楽、美術、映画などの鑑賞) | 7. 語学            |
| 2. 文化・芸術活動(音楽、茶道、舞踊などの活動) | 8. 国際交流・異文化交流    |
| 3. 教養的なもの(文学、歴史、自然科学など)   | 9. 同期・同業者等による学習会 |
| 4. スポーツ                   | 10. 子育て・親子活動     |
| 5. 家庭生活に役立つ技能(料理、和・洋裁など)  | 11. その他( )       |
| 6. 福祉・環境・防災などの地域活動        |                  |



問1 あなたが所属する団体ができたきっかけは何ですか。 **(○は1つだけ)**

1. 同じ趣味や関心のある人が集まった	5. 既存の団体から発展してできた(支部など)
2. 講座などの修了生が集まった	6. 学生時代のつながりから
3. 地域の人が集まった	7. PTAや保育園など子どもを通じたつながりから
4. イベントやワークショップに参加した人たちによって結成された	8. 仕事や職場のつながりから
	9. その他( )

問2 あなたが所属する団体は、現在、主にどのような形態や方法で活動をおこなっていますか。

**(あてはまるものすべてに○)**

1. 外部講師を呼んでの学習	6. 発表会・展示会などの企画や参加
2. 会員どうしによる自主学習	7. 試合・大会などの企画や参加
3. 一般市民も対象とした公開講座・公演会の開催	8. 地域のイベントへの企画や参加
4. 技術習得・向上のための練習・稽古	9. 会員どうしの交流・懇親や情報交換
5. 鑑賞や見学	10. その他( )

問3 あなたが所属する団体は、下記の活動について、それぞれどのような場所で、どのくらい活動をおこなっていますか。 **(○はそれぞれ1つずつ)**

① 日常的な活動 (練習、イベントの準備など)	頻度	1. 月に1回以内	2. 月に2・3回	3. 月に4・5回	4. 月に6回以上
	時間帯	1. 平日(午前) 4. 土曜(午前) 7. 日曜・祝日(午前)	2. 平日(午後) 5. 土曜(午後) 8. 日曜・祝日(午後)	3. 平日(夜間) 6. 土曜(夜間) 9. 日曜・祝日(夜間)	
	場所	1. 市内のコミュニティセンター 4. 市内の文化施設(市民文化会館・公会堂・美術館など) 6. 総合体育館・グラウンド 9. 市内個人宅	2. 市内の小中学校 7. 市内の大学施設 10. その他( )	3. 市民会館 5. 商工会館 8. 公園	
② イベント的な活動 (発表会・大会など)	頻度	1. 年に1回以内	2. 年に2・3回	3. 年に4・5回	4. 年に6回以上
	時間帯	1. 平日(午前) 4. 土曜(午前) 7. 日曜・祝日(午前)	2. 平日(午後) 5. 土曜(午後) 8. 日曜・祝日(午後)	3. 平日(夜間) 6. 土曜(夜間) 9. 日曜・祝日(夜間)	
	場所	1. 市内のコミュニティセンター 4. 市内の文化施設(市民文化会館・公会堂・美術館など) 6. 総合体育館・グラウンド 9. 市内個人宅	2. 市内の小中学校 7. 市内の大学施設 10. その他( )	3. 市民会館 5. 商工会館 8. 公園	

◆「生涯学習」のおおまかな定義

生涯学習とは、市民が生涯にわたり、いつでも自由に学習機会を選んで学ぶことを言い、その成果が生かされるような豊かな社会を築いていくことを目指しています。  
生涯学習には、学校教育、社会教育、芸術・文化、地域やまちづくり、スポーツ、ボランティアなどの活動も含まれます。

問4 あなたが所属している団体が、生涯学習をしている一番の目的は何ですか。 (○は1つだけ)

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 趣味を豊かにするため           | 7. 健康・体力づくりのため      |
| 2. 教養を高めるため             | 8. 家庭・日常生活を良くするため   |
| 3. 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため | 9. 日常生活や人生を有意義にするため |
| 4. 現在の仕事や将来の就職等に役立てるため  | 10. 地域を良くするため       |
| 5. 広く世の中のことを知るため        | 11. その他( )          |
| 6. 自由時間を有効に活用するため       |                     |

問5 あなたが所属する団体は、生涯学習をつうじて身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。 (あてはまるものすべてに○)

- |                       |                                  |
|-----------------------|----------------------------------|
| 1. 会員の人生をより豊かにしている    | 6. ボランティア活動に活かしている               |
| 2. 会員の健康の維持・増進に役立っている | 7. 学習やスポーツ、文化活動などを広めたり、指導に活かしている |
| 3. 仕事や就職、学校生活に活かしている  | 8. その他( )                        |
| 4. 資格取得に役立っている        |                                  |
| 5. 日常生活や地域での活動に活かしている |                                  |

問6 あなたが所属している団体が、生涯学習に関する活動をおこなううえで困っていることはありますか。次のなかから、あてはまることを選びください。 (あてはまるものすべてに○)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 費用がかかる         | 8. リーダーや役員のなり手がいない   |
| 2. 時間をつくりづらい      | 9. 人間関係が難しい          |
| 3. 適切な指導者や講師がいない  | 10. 活動の目標等の共有化が図りにくい |
| 4. 適当な活動場所が近くにない  | 11. 十分な情報が得られない      |
| 5. 適当な活動場所を確保しづらい | 12. 情報発信ができない        |
| 6. 成果を活かす場や機会が少ない | 13. その他( )           |
| 7. 新たな会員等の確保が難しい  |                      |

問7 あなたが所属している団体が、今後、生涯学習に関する活動をおこなううえで考えていることについて、次のなかから、それぞれあてはまることを選びください。 (○はそれぞれ1つずつ)

- |             |          |            |           |
|-------------|----------|------------|-----------|
| ①団体の会員数     | 1. 増やしたい | 2. 今のままでよい | 3. その他( ) |
| ②活動の内容(領域)  | 1. 広げたい  | 2. 今のままでよい | 3. その他( ) |
| ③活動の地域(エリア) | 1. 広げたい  | 2. 今のままでよい | 3. その他( ) |

問8 あなたが所属している団体は、地域の他の団体（他の社会教育団体、PTA、商店会など）や個人との交流がありますか。次のなかから、あてはまることを選びください。

**（あてはまるものすべてに○）**

- |                                  |                         |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. イベント等を一緒に行なうなどの交流がある          | 4. 場所を借りるなどの交流がある       |
| 2. イベント等のお知らせをするなどの交流がある         | 5. 講師になる・なってもらうなどの交流がある |
| 3. 会員募集やイベントなどのPRをしてもらえるなどの交流がある | 6. 協賛・寄付してもらうなどの交流がある   |
|                                  | 7. 特にない                 |

問9 今後、地域の他の団体や個人と協力（協働）しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいですか。また、できると思いますか。 **（あてはまるものすべてに○）**

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. お互いの交流や仲間づくり     | 7. イベント当日に参加協力する  |
| 2. 一緒に成果を発表しあう場をもつ  | 8. 活動に関する情報の交換をする |
| 3. 活動場所を共同利用する      | 9. 広報・PRの協力をする    |
| 4. 講師・指導者や活動者を紹介しあう | 10. その他( )        |
| 5. 備品等の貸し借りをする      | 11. 特にない          |
| 6. 一緒にイベントの企画・準備をする |                   |

問10 市と協力（協働）しながら、どのような生涯学習に関する活動をしてみたいですか。また、できると思いますか。 **（あてはまるものすべてに○）**

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 交流や仲間づくりのための場をもつ | 7. イベント当日に参加協力する    |
| 2. 学習成果の発表の場をもつ     | 8. 活動に関する情報提供・収集をする |
| 3. 活動場所をお互いに提供しあう   | 9. 広報・PRの協力をする      |
| 4. 講師・指導者や活動者を紹介しあう | 10. その他( )          |
| 5. 備品等の貸し借りをする      | 11. 特にない            |
| 6. 一緒にイベントの企画・準備をする |                     |

問11 市では武蔵野らしい生涯学習を進めていきたいと考えています。「武蔵野らしさ」とはどのようなイメージですか。キーワードなどがあればお書きください。 **（自由記入）**

問12 あなたが所属する団体が、生涯学習を進めていくためには、どのような情報が必要だと思いますか。**(あてはまるものすべてに○)**

1. 武蔵野市がおこなう講座・イベント等の情報	6. 施設の利用に関する情報
2. 都や近隣市がおこなう講座・イベント等の情報	7. 各種助成に関する情報
3. 民間のおこなう講座・教室等の情報	8. 団体の運営などの各種相談に関する情報
4. 地域のグループ・団体などの活動に関する情報	9. その他( )
5. 講師や指導者などの人材情報	

問13 あなたが所属する団体が、生涯学習に関する情報を入手するためには、どのようなものがあるか、とよいと思いますか。**(あてはまるものすべてに○)**

1. 生涯学習のガイドブックや情報誌	4. 情報提供も含めた講座やイベント
2. ホームページを使った情報提供	5. 活動者による情報提供・情報交換の機会
3. 専門の相談員やコーディネーターによる相談サービス	6. その他( )
	7. 特にない

問14 市では、現在、市に登録のある社会教育関係団体の活動に対する支援をおこなっています。次のうち、知っているもの、または利用したことがあるものをお選びください。

**(あてはまるものすべてに○)**

1. 社会教育事業への講師謝礼の援助	団体が公開で(一般市民の参加を受け入れて)おこなう自主的事业に対し、講師謝礼の一部を援助します。
2. 社会教育事業への後援(名義使用の承認)	団体が公開で(一般市民の参加を受け入れて)おこなう自主的事业に対し、教育委員会が後援します。
3. 社会教育学習のための借上バスの提供	団体が行なう事業で学習活動に必要な場合、借上げバスを提供します。
4. 学校施設使用時の使用料の減免	市内小中学校施設を使用する場合の利用料を減免します。
5. 市民会館施設使用時の使用料の減免	市民会館を使用する場合の利用料を減免します。
6. 市のホームページやサークルガイド(冊子)による団体紹介	団体の情報を市のホームページやサークルガイド(冊子)に掲載し、市民に情報提供します。
7. 特にない	

問15 今後、生涯学習に関する活動を活発にするために、市にどのような取り組みを望みますか。

**(あてはまるものすべてに○)**

1. 団体どうしの連携の機会の充実	5. 団体の活動に関する広報・PR
2. 地域との連携の機会の充実	6. 市がおこなう催しの企画・運営への参加の促進
3. 大学・企業などとの連携の機会の充実	7. 生涯学習に関する情報提供の充実
4. 民間の教育・スポーツ事業との連携による講座・教室の開催や紹介	8. 生涯学習に関する相談機能の充実
	9. その他( )

問16 その他、武蔵野市の生涯学習に関するご意見をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

武蔵野市生涯学習市民意識調査

報告書

平成21年3月

発行 武蔵野市教育委員会 教育部 生涯学習スポーツ課  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号  
電話 0422-60-1902 (直通)

